

目次

(1)	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	……	p. 1
	①学生の確保の見通し	……	p. 1
	②学生確保に向けた具体的な取組状況	……	p. 10
(2)	人材需要の動向等社会の要請	……	p. 12
	①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	……	p. 12
	②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な証拠	……	p. 13

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

入学定員設定の考え方

本学情報学部は、既設の地域経営学部とは異なる工学分野で多面的に情報学を学ぶ学部として、新たに設置を構想しているものである。本学部は、演習系科目である「地域情報 PBL」を全学年に配置し、それを核として教育課程を編成している。その「地域情報 PBL」は 1 名を除くほぼ全員の専任教員が指導にあたるが、本学部には所属する専任教員数は 18 名（うち 1 名は教養科目担当）で計画しており、設置基準上の最低必要な専任教員数 14 名を 4 名上回っている。これは構想している入学定員 100 名で PBL 科目の担当予定者の 17 名で計算すると「地域情報 PBL」1 クラス当たりの受講人数が各学年 6 名程度となり、充実した「地域情報 PBL」の実現のためには十分な専任教員数である。

また、京都府北部地域（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）と兵庫県北部（豊岡市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、香美町、新温泉町）から構成される北近畿地域（以降、北近畿地域とはこの市町をいう）に本拠を置く 4 年制大学は本学以外に存在せず、平成 31 年 3 月時点では、新たな 4 年制大学の設置構想は平成 33 年度設置構想中の専門職大学を除き、見られない。

北近畿地域では大学への進学が基本的に自宅外の進学となってしまうこともあり、経済的な負担等からも、大学への進学率が京都府全体及び兵庫県全体のそれと比べて 10%以上低い。こうした現状の中で、新学部を新たに設置するという構想は、当該地域における大学進学の実現を拡大し、大学進学率を上昇させ、同時に知識基盤社会の基礎を整えるものである。

福知山公立大学における新学部の設置は、情報系学部の新設という形で構想された。学生確保の見通しを把握するため、平成 29 年度、平成 30 年度の 2 回の高校生アンケート調査及び高等学校教員へのアンケート調査を実施している。

このアンケート調査結果や本調査で示された産業界からの要望、本学の既設学部の地域経営学部の入学定員も総合的に勘案し、情報学部の入学定員は 100 名で構想することとした。この入学定員 100 名の設置構想の実現性については、以下にその妥当性と客観性を持たせつつ、データによる根拠を明確にしながら詳述する。

1) 平成 29 年度に実施した「福知山公立大学における新学部設置構想に関するアンケート調査（高校生）結果」（一般財団法人日本開発構想研究所に集計を委託）

本学が福知山市と共同で策定した『『知の拠点』整備構想』において掲げた、平成 33 年度を目途に設置する情報系学部への関心度を調査することを目的として、平成 29 年 11 月に北近畿地域及びその周辺地域 3 府県 42 校の高校 2 年生を対象としたアンケート調査を実施した（回答者数：4,921 名、一般財団法人日本開発構想研究所に集計を委託）。（資料 1）

本アンケート調査の結果、希望する進学先の分野として、「情報科学（コンピュータ）関係」を希望した者が、第 1 希望で 230 名（5.6%）、第 2 希望 221 名（5.4%）、第 3 希望 188 名（4.6%）となり、第 3 志望まで含めると 639 名が情報学分野に興味を示した。北近畿地域の高校生にとって、情報学分野は有力な進学希望先の一つであることがうかがえた。

また、情報学分野のどの部門に対して関心があるかとの問いには、人工知能（AI）、ウェブデザイン等に関する回答が多く、本結果は本学情報学部の構想の基礎資料となった。

なお、この時点で福知山公立大学情報科学部（仮称）への進学を希望するかとの問いには、「進学を希望する」と「進学を検討する」があわせて 153 名（3.8%）となり、学部の詳細等が決まっていないにも関わらず、情報系学部に関する地元北近畿地域のニーズが一定程度存在することが確認できた。

また、1) の高校生へのアンケートと平成 29 年度の同時期に実施した後述する事業所等への人材需要に関するアンケート調査においても、コンピュータ知識を身に付けた技術者の必要性を感じる事業所が、回答した事業所数の 61.5%と人材需要が高いことが確認できた。

2) 平成 30 年度に実施した平成 32 年度設置構想中の「福知山公立大学情報学部情報学科（仮称）設置構想に関するアンケート調査」（高校生）結果（一般財団法人日本開発構想研究所に集計を委託）

平成 30 年 11 月に本学が構想する情報学部の具体的な学修内容や特色等を提示したチラシを作成した上で、本学部への関心度を調査することを目的に、北近畿地域及びその周辺地域 3 府県 63 校の高等学校 2 年生を対象としてアンケート調査を実施した（回答者数：6,381 名、一般財団法人日本開発構想研究所に集計を委託）。（資料 2）

本アンケート調査の結果、進学したいと考えている分野として、「情報学関係」を希望した者が、第 1 志望で 265 名（5.0%）、第 2 志望 230 名（4.4%）、第 3 志望 281 名（5.3%）となり、第 3 志望まで含めると 776 名が情報学関係の進学を希望した。前年度に実施したアンケート調査結果に引き続き、地元地域において、情報学分野が有力な進学希望分野であることが改めて認識できた。

また、将来社会で活躍するために情報学を学修する必要性を問うたところ、「必要と思う」が 2,088 名（39.6%）、「ある程度必要と思う」が 2,648 名（50.3%）となり、実に 4,736 名（89.9%）が情報学を学修する必要性を認識していることが読み取れる。Society5.0 という社会変革への対応としての情報知識の必要性や、各大学の情報関連学部の好調な志願動向等を考慮すると、継続的な学生確保について、大きな期待を持つことができる結果と言える。

る。

福知山公立大学情報学部への進学を希望するかを問うと、「進学を希望する」が 209 名 (4.0%) となり、本学情報学部の入学定員 100 名を大きく上回る結果となった。さらに、「進学先の候補として検討したい」と回答した 412 名 (7.8%) とあわせて、621 名 (11.8%) が本学部の高い関心を寄せている結果となっている。今回のアンケートの調査対象は北近畿地域とその周辺地域に限定したものであるが、全国各地からの志願者を獲得している既設の地域経営学部の志願動向を考慮すると、本学情報学部においても全国からの志願者が多数予測される。以上により本学部の入学定員は十分に満たすことが可能と判断できる。

3) 「平成 30 年度に実施した平成 32 年度設置構想中の福知山公立大学情報学部情報学科に関する高等学校教員へのアンケート調査結果」(資料 3)

本学では例年志願者に対してアンケート調査を実施しており、その結果、受験校決定のキーマンは高等学校の教員であることが明確に表れている。そのため、本学では学生募集において、高等学校教員の意見や動向を特に重視している。このような経緯から、高等学校教員に対して本学情報学部に関する意向のアンケート調査を実施した。

本アンケート調査は、以下の(ア)～(エ)の計 1,043 校の進路指導部の教員を対象として平成 30 年 11 月に実施し、332 校(回収率 31.8%)から回答を得た。

- (ア) 地元北近畿地域とその周辺地域の高等学校(既述の平成 30 年 11 月の高校生アンケート調査の対象高等学校)
- (イ) 上記(ア)を除く京都府内の高等学校
- (ウ) 過去 2 年間の本学志願実績校
- (エ) 国公立大学で同系統の情報系学部を設置する以下の 4 県にあり、その県内で四年制大学への進学実績の高い高等学校
 - ・静岡県(静岡大学 情報学部を設置)
 - ・滋賀県(滋賀大学 データサイエンス学部を設置)
 - ・兵庫県(兵庫県立大学 社会情報学部を設置予定)
 - ・広島県(広島大学 情報科学部を設置)

本アンケートの結果、本学情報学部を進学先の候補の一つとしてすすめたいと思うかとの問いに、「すすめたい」が 83 名 (25.1%)、「すすめることを考える」が 196 名 (59.2%) の回答があり、本学部をすすめたいと考える高校教員の回答があわせて 279 名 (84.3%) となった。高等学校教員が受験校決定に及ぼす受験者への影響力を考慮すると、当結果は本学部の学生確保についても、効果が期待できるものであると言える。

また、本学部をすすめる理由については、「公立大学である」や「学費が安い」という公立大学特有の項目を除けば、「生徒にニーズのある分野だから」が最多となり、「情報人材の育成が必要だから」といった回答も多く見られた。この結果、本学部が生徒のニーズに応えられるものであることや、情報人材の養成が必要であることを高等学校教員が認識してい

ることが読み取れる。

その他「地域への貢献に期待が持てるから」、「実践教育に期待が持てるから」「立地（京都府や福知山市）が良いから」など、特に本学の特色に該当する回答が多く、本学の情報学部は、高等学校教員の進路の選択肢の一つとして期待を得ていることが確認できる。

なお、本学の教育上の特色である地域での実践的な教育手法について意義があるかとの問いに対しては、「意義がある」が218名(65.5%)、「ある程度意義がある」が104名(31.4%)と、実に322名(97.0%)が回答をしており、地域での実践的な取り組みに対して肯定的な意見をもっていることが読み取れる。

上記の結果から、受験校決定時に最も重要な意見をもつ高等学校教員が、本学情報学部の特色に一定程度の魅力を感じ、生徒に本学部をすすめたいという意向が感じられた。この結果、本学情報学部は学生確保のための最も重要な支持を得ていると言える。

4) 人口動態調査からの予測

総務省による「平成30年1月1日の住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）」から北近畿地域の平成32年度の15歳～19歳の人口は男女計で29,739人であり、そこから18歳人口は男女計で5,900人余り（京都府北部地域3,000人余り、兵庫県北部地域2,900人余り）と推測することができる。（資料4）

現在の本地域の大学等への進学率は、京都府北部地域においては、京都府学校基本統計速報より平成30年3月時点で50.7%となっている。これは、京都府全体の大学等への進学率が全体で65.9%であることと比較すると15.2%低くなっている。（資料5）

また、兵庫県北部地域においては、兵庫県学校基本調査では平成30年3月時点の大学等への進学率が43.6%となっている。これは、兵庫県全体の大学等への進学率が56.0%であることと比較すると、やはり12.4%低くなっている。（資料6）

北近畿地域の大学進学率は、京都府及び兵庫県全体のそれと比べて、地域の交通網や経済力を加味しても、今後数%程度は大学進学率が高くなる余地があるといえる。このような状況下で、北近畿地域の交通の要衝でもある福知山市に、本学情報学部が新たに設置されれば、北近畿地域内の大学進学率の上昇を促進することが考えられ、人口動態調査からの予測として、本学部入学定員の充足の見込みは十分にあるといえる。

5) 情報学分野への入学志願動向及び類似学科・競合学科の志願者動向

中央教育審議会大学分科会『今後の高等教育の将来像の提示に向けた論点整理』（平成29年12月28日）での「分野を超えて専門知や技能を組み合わせる実践力の育成や新たなリテラシーとしての数理・データサイエンティストの学修が求められる」に関連し、近年は国公立大学を中心に情報系学部が新設されており、志願状況についても上昇傾向にある。

本学部と同系統に分類されると想定される他の国公立大学の情報系学部数及び志願倍率は、平成28年度は7学部3.44倍、平成29年度は9学部3.12倍、平成30年度に11学部

3.52倍と、学部数は増加傾向にあるにもかかわらず、志願倍率がおおよそ3倍強で推移していることは、情報系学部の志願者数が年々増加していることを示している。平成31年度には隣県の兵庫県立大学にも情報系学部を新設される見込みであり、本学周辺地域においてもより一層の情報系学部への注目が高まると予想される。(資料7)

なお、同様に関西の私立大学で同じ情報系統に分類される4大学の志願者数は平成28年度7,627名、平成29年度は7,513名、平成30年度に8,170名と志願者が近年増加している。

このような状況を考慮すると本学情報学部における入学定員の充足は可能な状況下にあるといえる。

6) 既設学部の定員充足状況

既設学部である地域経営学部の入学定員の充足率は、平成26年度～平成30年度の過去5年間で、98.5%である。なお、平成26年度～平成28年度の3年間は公立化以前の私立大学時の実績であり、この間は入学定員の充足率が30.0%の状況にあった。

しかし公立化後、志願倍率は平成29年度に7.72倍、平成30年度は6.34倍となり、2年間の入学定員の充足率は110.8%となった。過去2年間の志願状況等を考慮すると、入学定員の充足状況は逐次改善される見込みである。

情報学部においても学生確保の取り組みを計画通りに履行し、志願倍率を確保することで、入学定員の充足が可能と考えられる。なお、2018年5月1日現在の在学生数は366名(収容定員354名)であり、適正な定員管理を行っている。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

1) 平成29年度に実施した福知山公立大学における新学部設置構想に関するアンケート調査(高校生)

・調査目的

平成29年度において、本学が福知山市と共同で策定した『「知の拠点」整備構想』の基本構想での平成33年度に情報系の新学部を設置するという構想に関して、北近畿地域及びその周辺地域(京都府中北部、兵庫県中部、福井県嶺南地方)の高校生の情報系学部への関心の度合いを測定するために高校生に対してアンケート調査を行い、42校4,921名の回答を得た。

・調査時期

平成29年11月上旬から12月下旬

・調査結果の概要

調査結果の詳細については既に「ア. 定員充足の見込み」において前述しているが、以下に概要をまとめる。

内容	回答数
有効回答数 4,086 名のうち、進学したいと考えている分野に との問いについて	
①「情報科学（コンピュータ関係）」を第1希望と回答した数	①230名（5.6%）
②「情報科学（コンピュータ関係）」を第2希望と回答した数	②221名（5.4%）
③「情報科学（コンピュータ関係）」を第3希望と回答した数	③188名（4.6%）
有効回答数 4,086 名のうち、情報科学（コンピュータ）で最 も興味のある分野との問いについて（第1希望のみ）	
①「情報通信（ICT・IoT）」と回答した数	①399名（9.8%）
②「ソフトウェア開発（SE）」と回答した数	②505名（12.4%）
③「データ分析・解析」と回答した数	③242名（5.9%）
④「人工知能（AI）」と回答した数	④1,250名（30.6%）
⑤「情報セキュリティ」と回答した数	⑤242名（5.9%）
⑥「ウェブデザイン（ウェブサイトの作成・設計）」と回答した数	⑥761名（18.6%）
⑦「情報処理全般」と回答した数	⑦133名（3.3%）
⑧「無回答」の数	⑧554名（13.6%）
有効回答数 4,086 名のうち、福知山公立大学情報科学部（仮 称）への進学を希望するかとの問いについて	
①「進学を希望する」と回答した数	①52名（1.3%）
②「進学を検討する」と回答した数	②101名（2.5%）

2) 平成30年度に実施した平成32年度設置構想中の「福知山公立大学情報学部情報学科（仮称）に関する高等学校生へのアンケート調査」

・調査目的

北近畿地域の高等学校生及びその周辺地域（京都府中北部、兵庫県中部、福井県嶺南地方）の高等学校生に対して本学情報学部への入学希望者数を把握すること及び情報学の分野への関心を確認することを目的として調査を行い、63校6,381名の回答を得た。

・調査時期

平成30年11月上旬から12月下旬まで

・調査結果の概要

調査結果の詳細については既に「ア. 定員充足の見込み」において前述しているが、以下に概要をまとめる。

有効回答数 5,268 名のうち、進学したいと考えている分野との問いについて ①「情報学関係」を第 1 希望として回答した数 ②「情報学関係」を第 2 希望として回答した数 ③「情報学関係」を第 3 希望として回答した数	①265 名 (5.0%) ②230 名 (4.4%) ③281 名 (5.3%)
有効回答数 5,268 名のうち、将来社会で活躍するために情報学を学修する必要があるかとの問いについて ①「必要と思う」と回答した数 ②「ある程度必要と思う」と回答した数	①2,088 名 (39.6%) ②2,648 名 (50.3%)
有効回答数 5,268 名のうち、福知山公立大学情報学部へ進学したいと思うかとの問いについて ①「進学したい」と回答した数 ②「進学先の候補として検討したい」と回答した数	①209 名 (4.0%) ②412 名 (7.8%)

3) 高等学校教員へのアンケート調査

・調査目的

受験校の指導に大きな影響力を持つ高等学校教員へ対して、本学情報学部への進学希望者の見込みや進路指導に関する調査を行った。以下の①～④の区分の計 1,043 校の進路指導部の教員を対象として依頼を行い、322 校から回答を得た。

- (ア) 北近畿地域とその周辺地域の高等学校（既述の平成 30 年 11 月の地元高校生を中心としたアンケート調査の対象高等学校と同一校）
- (イ) (ア) を除く京都府内全高等学校
- (ウ) 過去 2 年間の全国の本学志願実績校
- (エ) 国公立大学で同系統の情報系学部を設置する以下の 4 県にあり、その県内で四年制大学への進学実績の高い高等学校
 - ・静岡県（静岡大学 情報学部を設置）
 - ・滋賀県（滋賀大学 データサイエンス学部を設置）
 - ・兵庫県（兵庫県立大学 社会情報学部を設置予定）
 - ・広島県（広島大学 情報科学部を設置）

・調査時期

平成 30 年 11 月上旬から 12 月下旬

・調査結果の概要

調査結果の詳細については既に「ア. 定員充足の見込み」において前述しているが、以下に概要をまとめる。

有効回答数 322 名のうち、福知山公立大学を進学先の候補の としてすすめたいかとの問いについて ①「すすめたい」と回答した数 ②「すすめることを考える」と回答した数	①83名 (25.1%) ②196名 (59.2%)
有効回答数 322 名のうち、福知山公立大学情報学部をすすめる 理由について（複数回答を合計した上位 5 位） ①1位「公立大学だから」と回答した数 ②2位「生徒にニーズのある分野だから」と回答した数 ③3位「情報人材の育成が必要だから」と回答した数 ④4位「地域への貢献に期待が持てるから」と回答した数 ⑤5位「実践教育に期待が持てるから」と回答した数	①193名 ②127名 ③116名 ④87名 ⑤78名
有効回答数 322 名のうち、地域課題の解決プロセスと理論を 理解するための実践的な教育手法に意義があるかとの問いに ついて ①「意義がある」と回答した数 ②「ある程度意義がある」と回答した数	①218名 (65.9%) ②104名 (31.4%)

4) その他

・人口動態調査からの予測

人口動態調査から北近畿地域では、平成 30 年の数値より推測すると平成 32 年度の本学情報学部情報学科の開設年度にむけて大学を受験する平成 31 年度 18 歳人口は北近畿地域で 5,948 人程度と推測される。（内訳は京都府北部 3,015 人程度、兵庫県北 2,933 人程度）大学進学率については、京都府北部地域では、大学進学率が京都府で府全体より 15.2%低く、兵庫県で県全体の大学進学率より 12.4%低い。これを基に北近畿地域での 18 歳人口のうち、大学進学者は平成 30 年度の大学進学率で 2,806 人程度（京都府北部の平成 31 年度の 18 歳人口 3,015 人に平成 30 年度の京都府北部の大学進学率 50.7%を掛けた人数 1,528 人と兵庫県北部の平成 31 年度の 18 歳人口 2,933 人に平成 30 年度の兵庫県北部の大学進学率 43.6%を掛けた人数 1,278 人を合計したもの）と推測される。これに大学進学率が京都府もしくは兵庫県全体での大学進学率を適用するとさらに 822 人程度増えて合計 3,628 人程度となる。

この 2,806 人に第 1 希望での情報系希望者の割合（5.0%）を掛けると 140 人となり、大学進学率の上昇が仮に京都府及び兵庫県全体の大学進学率にまで上がると仮定すると 181 人となる。さらに他地域からの進学者も加えると平成 30 年度の人口動態で本学情報学部の入学定員の 100 名は十分充足の見込みがあるといえる客観的な数字である。

・情報学分野への入学志願動向及び類似学科・競合学科の志願者動向

情報学部の類似学科・競合学科の志願者動向の分析では、国公立大学では情報系の学部数が増加する中で志願倍率が高くなる傾向（平成 28～30 年度入試において実質 3 倍以上で推移）であり、関西地域での情報系学部は私立大学を含めて高い志願倍率で推移している（概ね 2 倍以上の志願倍率で推移し、大学によっては 5 倍を超えている）。この中で平成 31 年度に兵庫県立大学に社会情報学部の新設がみられるが、関西地方には公立の情報系学部が大阪府立大学と兵庫県立大学の 2 大学のみしかなく、また関西地方は西日本の中心的な地域として募集力の強い地域であることなどから、入学定員の 100 名は充足が可能な客観的な数字である。

・既設学部の定員充足状況

既設の地域経営学部は、平成 30 年度入試で公立化以後 2 年目の入試となったが、その 2 年間に於いて、5 倍以上の志願倍率を維持している。これは、公立化による地元以外の全国的な知名度の進展、公立化による低廉な学費の影響を受けている状況ではあるが、新学部の設置も同様の影響が生じることが客観的に見て予測できるといえる。

これまでに、本学情報学部が入学定員 100 名で設置された際の入学定員充足の見込みについて、1) 及び 2) 高校生へのアンケート調査、3) 高等学校教員へのアンケート調査、4) 人口動態調査、5) 情報学分野への入学志願動向及び類似学科・競合学科の志願者動向、6) 既設学部の定員充足状況などについて、その客観的なデータの概要を述べてきた。これらの調査や使用したデータは客観的なものであり、そこで用いた調査票も別添資料として提示しているが、これらには特定の回答を誘導するような内容は含まれず、全ての点においてその客観性は証明されているといえる。

ウ 学生納付金の設定の考え方

本学の既設学部の学生納付金は、国立大学等の授業料その他費用に関する省令の定める額と同額としている。本学情報学部においても、同様の考えに基づき学納金の設定を行う。

入学検定料	入学金	授業料※
17,000 円	282,000 円	535,800 円

※ 年額

なお、既設学部では本学の特色である地域協働型実践教育の研究費用に充てるため、上記の入学金と授業料以外に、演習科目である「地域経営演習」に係る費用として、実践教育実習費 40,000 円を毎年度徴収している。情報学部においても同様に演習科目である「地域情報 PBL」に係る費用として同額を実践・実習教育費等として徴収する。

ただし、社会経済環境の変化に伴い前述した国立大学等の授業料その他費用に関する省

令の定める額や他の国公立大学の動向に大きな変動があった場合、必要に応じて変更することがある。

参考までに 同系統の公立大学の学納付金は次の通りである。

【参考】同系統の公立大学の学生納付金の例

- 1) 横浜市立大学データサイエンス学部〔入学金 141,000 円（区域内）、282,000 円（区域外）、授業料 557,400 円〕
- 2) 大阪府立大学現代システム科学域〔入学金 282,000 円（区域内）、382,000 円（区域外）、授業料 535,800 円〕
- 3) 高知工科大学情報学群〔入学金 150,000 円（区域内）、300,000 円（区域外）、授業料 535,800 円〕

なお、本学では福知山市からの入学者に限ることなく広く全国から学生を募るために、学納金における区域内外の差異は設けていない。ただし、福知山市による福知山市出身者及び経済的理由により学修が困難な者を支援するための給付型の入学支援金制度（最大で入学金全額）や、給付型奨学金制度（最大で年額区域内 24 万円、区域外 12 万円）を運用している。（平成 30 年度現在）

②学生確保に向けた具体的な取組状況

本学は平成 28 年度の公立化以降、積極的な学生確保の取り組みを展開してきた。

平成 29 年度入試においては入学定員 120 名に対して志願者 926 名（7.72 倍）、平成 30 年度は志願者 761 名（6.34 倍）となり、全国の公立大学の一般入試における平成 29 年度の平均倍率 6.4 倍、平成 30 年度の同倍率 6.3 倍を上回っている。

本学で保有する個人の名簿数は平成 28 年度末の 4,336 件に対して、平成 29 年度末では 5,854 件と 1.35 倍となり、オープンキャンパス、大学見学や資料請求などを通じた本学への接触者も増加傾向にある。これは本学の学生確保の取り組みにより認知度が向上してきた証拠といえる。

本学では主に 2 つのターゲットに対して学生確保に向けた活動を行っている。

1 つは受験者に対し本学の認知度を高め、本学接触者数を増やすための広報活動（以下、接触者広報とする）であり、もう 1 つが受験者の受験指導に大きな影響をもつ高等学校教員や塾・予備校教員を対象とした進路指導担当者への広報活動（以下、教員広報とする）である。

接触者広報としては、主に以下 1) ～6) の取り組みを行う。

1) 受験者向け広報媒体の活用

従来は大学入試センター試験前後の期間における受験者向けの広報媒体を特に活用してきた。今後は本学情報学部に対する受験者の認知度向上を目的として、年度早期の広告出稿や各広報媒体の新学部専用企画へ広告を出稿する。

2) オープンキャンパスでの模擬授業の実施

平成 30 年度はオープンキャンパスを 2 回実施し、計 323 名が参加した。次年度以降は、本学情報学部に関する模擬授業をはじめ、平成 30 年度のオープンキャンパスにおいて参加者からのアンケートにより好評を得た体験型模擬授業を実施し、また参加者の質問・疑問に答える交流の場を設定し、本学部への興味関心を喚起することに努める。

3) 高等学校での出張講義対応

高等学校での進学相談会や出張講義に対応しており、平成 30 年度は延べ 60 校、約 1,600 名に対して講義や大学説明を行った。今後、情報学分野の教員を加えた大学教員紹介冊子を活用し、出張講義を獲得し、本学部の認知度の向上を目指す。

4) 高校生対象の説明会・相談会への参加

従来から高等学校で開催される進学説明会や相談会に参加してきた。今後も地元の北近畿地域をはじめ、志願実績の高い地域の説明会や相談会に積極的に参加し、高校生に直接情報学部の学修内容や魅力を訴えかける機会を増やしていく。

5) 大学見学の受け入れ

本学に来学し、学内施設や図書館、授業等を見学できる機会を積極的に設ける。

6) ホームページを通じた情報発信

本学情報学部に関する詳細事項が決定した場合は、本学ホームページや各種広報物を通じて正確な情報の伝達を随時行い、新聞取材対応等にも積極的に対応する。また情報学部の学びがより明確に伝わるよう、模擬講義などを本学ホームページに掲載し、動画を活用した取り組みも行う。

次に、教員広報である。受験指導の際には高等学校教員が非常に重要な役割を担うことから、教員広報が非常に重要なものであるという認識の下、主に 1) ～5) の取り組みを実施し、教員への認知度向上を目指す。

1) 広範囲にわたる高等学校訪問

公立化以降、本学では東海、北陸（一部関東甲信越を含む）から九州にかけての広範囲にわたる高等学校訪問を行い、平成 30 年度にはのべ 1,160 校を訪問した。

今後の訪問においても、引き続き志願実績の高い府県の高等学校への訪問や、推薦入試の専門学科枠に該当する高等学校への訪問をはじめ、情報学に関する理解が高いと考えられる、他の国公立大学で同系統の情報系学部を設置している県の高等学校を重点的に訪問することで、他大学との比較の中で本学の情報学部をアピールする。なお高等学校訪問の際は、大学教員紹介冊子を活用して出張講義の紹介を行い、出張講義を通じて高等学校との関係を強化していく。

2) 福知山市による高等学校訪問

本学の学生確保の取り組みとして最も特徴的なものとして本法人の設置団体である福知山市による学生募集活動が挙げられ、本学を活用した福知山市の地方創生施策への理解を求めため、市職員による北近畿地域並びに全国の高等学校への継続的な訪問活動を行っている（毎年度のべ約 200 校を訪問）。そのほか、市の広報誌、ホームページ、各種パンフレット類などを用いて、市内外の生徒、さらにはその保護者や高等学校関係者等への広報活動を一貫して行っている。

3) 高等学校教員向け広報媒体の活用

従来から出稿している高等学校教員向けの広報媒体をさらに活用することで高等学校教員への認知度向上に努める。

4) 在学生による母校訪問の実施

本学は夏期休暇期間中の在学生による母校訪問を推奨している。平成 29 年度は訪問実績校 25 校のうち 12 校から志願があり、母校訪問に一定の効果が見られた。今後、母校訪問をより一層推奨するため、早期に母校訪問に関する案内を行い、訪問の際は本学情報学部の案内を持参し、高等学校教員への認知度を向上させる。

5) 教員対象入試説明会の実施

平成 30 年度の教員対象入試説明会では、志願実績の高い府県 7 会場で教員対象入試説明会を実施し、144 名の教員の参加申し込みがあった。今後は、特に国公立大学で情報系学部を設置する県（静岡県や広島県等）での教員対象入試説明会を新規で行い、本学の教育上の特徴を伝える。

以上、従来からの既設学部での学生確保の取り組みをさらに発展させた上で、既設学部での志願状況等も考慮すれば、本学部の学生確保については十分に可能であると考えられる。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

情報学部情報学科では、情報学の体系・知識・知見・技術を学び、地域の環境・経済・文化を理解し、情報学の知見等を地域の価値向上に応用・活用し、地域の人々が健康で安全に安心して暮らせるような、持続可能で活力ある地域社会に貢献できる多様な人材を養成することを目的としている。情報関係の分野での若い人材は近年ますます不足しているという状況の中で、情報学部では「情報機器を用いて情報に新たな価値を見出す人材」の養成に主眼を置いている。

地域社会に貢献できる多様な人材が想起されるものとは、東京をはじめとする海外を含む巨大都市の大企業で国際的に活躍する人材それだけではなく、むしろ、地域に根ざした地域の中堅企業を中心にその中堅として活躍する人材である。本学情報学部では、こうした人材

養成の目的を実現することを通して、地域社会に本学部・学科で学んだ情報学の知見等を生かし、地域社会に貢献すること及び地域貢献を多様な形で実現できる人財を養成することを教育研究上の目的としている。なお、本学では、人材を代わりの利かない「だから」としての人、人を育てるという意図を含めて考えており、「人財」の語を用いているため、一部表現では「人財」という語を用いることがある。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な証拠

現在は産業の「長期停滞」が見られる中で、それを打破し、中長期的な成長を実現していく鍵となる第4次産業革命（IoT、ビッグデータ、人工知能（AI）、ロボット、シェアリングエコノミー等）のイノベーションを取り入れることにより、様々な社会課題を解決することにおいて活躍する人材が社会から要請される局面が予測される。しかし、現在の日本ではこうした内閣府が提唱している『Society5.0』のような新しい社会に必要とされる人材の不足、それも深刻な不足が予測されている。こうした日本におけるIT人材の不足感は国際的な競争の中でますます高まる傾向となっている。（資料8）（資料9）

このような時代の潮流を鑑みると、本学が設置を構想している情報学部情報学科の養成する人材である従来型の工学教育、技術者教育の枠を越えた人材は、社会における必要性が高くなってきているといえよう。特に、カリキュラム上の特色である「データサイエンス」、「ICT」、「人間・社会情報学」の3つのトラックに必要な科目を配した教育課程は、単なる技術者に留まらない第4次産業革命の中堅となる人材を養成するものであり、社会の要請に応えることができるものである。

本学では、情報学部情報学科の設置構想を具体化していく過程で平成29年11月～12月にかけて、情報系学部（その際の学部名は「情報科学部（仮称）」）の卒業者の採用意向など人材需要の見通しについて、外部機関（一般社団法人日本開発構想研究所）に委託して事業所等にアンケート調査を実施した。その結果をもとに、情報学部卒業者への人材需要の見通しについて以下にまとめる。（資料10）

今回の平成29年11月～12月にかけて5都道府県の合計595事業所を選定し、郵送にて添付のアンケート用紙（資料：アンケート用紙）を配付し、実施した。回収数は205事業所であり、回収率は34.5%である。アンケート調査の回収に協力のあった事業所の所在地の地域別の割合は、北近畿地域とその周辺地域を中心に送付する事業所を選定したこともあり、京都府が62.9%、兵庫県が34.1%となっている。（アンケート集計結果、問3）は事業所の業種は製造業が回収数69、回収数全体の33.7%を占めており、一番多い。（資料：アンケート集計結果、問1）

次に卸売業・小売業の17.1%であり、情報通信業12.7%、建設業11.7%と続いている。このことは、製造業、卸売業・小売業、情報通信業、建設業といった業種で情報系学部への

関心が高いことを示している。アンケート調査で回答された事業所の正規職員数は31人～50人の割合が一番多く26.3%、次に11人～20人と21人～30人の事業所が同数で15.1%、次いで51～100人が14.6%となっている。非正規職員数では、1人～5人32.2%が一番多く次いで0人が16.6%、101人以上が13.2%、6人～10人が10.2%と続いている。少なくとも正規職員数からみると回答した事業所の多くは比較的小規模であることが認められる。

職員の採用に関する全般的内容の設問（問5）への回答では、回答した事業所は比較的小規模のところが多かったことから、正規職員の新卒採用数についての設問（問5）で平成27年度、28年度、29年度の新卒採用者数を尋ねたところ、どの年度も0人が一番多かったが、毎年度、回答事業所のうち5～6割程度が新卒者を正規職員として採用している。

事業所に特に必要とされている能力について尋ねた設問（問6）では、「協働性がある」が76.6%でもっとも多く、次いで「主体性がある」76.1%、「コンピュータに関する基本的な技術・専門知識をもっている」58.0%と続いている。ここでは、一般的な特性である「協働性がある」や「主体性がある」について、「コンピュータに関する基本的な技術・専門知識をもっている」が5割超の事業所が特に必要とされる能力に挙げており、情報系学部で情報に係る能力を取得した人材が求められている。

次に必要とされるコンピュータに関する知識の分野（問7）とコンピュータに関する知識を身につけた人材の必要性を尋ねた（問8）。これらの質問では、情報処理全般が一番多く43.9%、情報通信（ICT・IoT等）が34.6%、情報システム・ソフトウェア開発（SE）が30.2%と続いている。また、コンピュータに関する知識を身につけた人材の必要性を尋ねた設問では、必要性を感じるが61.5%、少し必要性を感じる22.9%と回答率を合わせると84.4%となり、8割を超えている。これらの設問では、情報処理全般の知識を身につけることの必要性、特にコンピュータに関する知識を身につけた人材の必要性が極めて高く、本学情報学部の卒業生の人材需要については、極めて高いことが予想される。

最後の2つの設問では、福知山公立大学の情報系学部の卒業生の採用とその人数について尋ねた。その結果、本学情報系学部の卒業生の採用に関する設問（問9）では、本学情報系学部の卒業生を採用したいと回答した事業所は41箇所20.0%、採用を検討すると回答した事業所は66箇所32.2%と、この2つの回答を合計すると、全体の50%を超えている。本学情報系学部の卒業生への回答した事業所の関心と採用への意欲は非常に高い。その「採用したい」、「採用を検討する」と回答した事業所について毎年採用される人数を尋ねた設問（問10）では、1人が一番多く52.3%、2人がそれに次ぎ20.6%となっている。その中で複数名の採用を回答した事業所は32箇所29.9%に上り、アンケートに回答した事業所では本学情報系学部卒業生の採用に向けて非常に前向きになっていることが読み取れる。

以上、平成29年に実施した北近畿地域の事業所等に行った調査では、合計で205箇所の事業所等から回答を得た。その調査結果について設問別に述べてきたが、全体としての総括を以下にまとめる。

全体として、情報系の人材の必要性とその需要は高いということができ、本学において情

報系学部を設置した後の雇用についても、回答した事業所等では 50%を超える 107 箇所の事業所等で採用するもしくは採用を検討するとの回答が得られており、本学情報学部の卒業生の雇用に積極的であることを見て取ることができる。

また、このたび情報学部情報学科の設置認可申請を行うにあたって、地元北近畿の 29 箇所の事業所等から設置の要望書をいただいている。

上記のアンケート調査結果と事業所等からの要望書から、本学に情報学部を設置した場合には、就職、人材養成の面からも地域社会・地元産業界の大きな期待が寄せられており、「Society5.0」で謳われている新しい情報技術を社会に実装できる情報系人材の需要も高いといえる。

学生の確保の見通し等を記載した書類 資料目次

資料番号	資料名
1	福知山公立大学における新学部設置構想に関するアンケート調査（高校生）報告書 平成 29 年 12 月
2	福知山公立大学情報学部情報学科（仮称）設置構想に関するアンケート調査報告書 平成 31 年 2 月
3	平成 30 年度実施した平成 32 年度設置構想中の福知山公立大学情報学部情報学科に関する高等学校教員へのアンケート調査結果 平成 31 年 1 月
4	北近畿地域 15 歳～19 歳の人口
5	京都府高等学校卒業者の進路状況
6	兵庫県高等学校（全日制・定時制）の地域別・状況別卒業生数（平成 30 年 3 月）
7	情報系学部の入学志願動向
8	AI 時代に求められる人材の育成・活用
9	IT 人材の“量”と“質”の経年変化
10	福知山公立大学新学部設置構想に関するアンケート調査（事業所）報告書 平成 29 年 12 月

福知山公立大学における新学部設置構想に
関するアンケート調査（高校生）

報 告 書

平成 29 年 12 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

<アンケート調査概要>

1. アンケート調査の目的

福知山公立大学情報系新学部の設置の構想に関し、高校生の進学意向等を把握するために、京都府、兵庫県、福井県の高校を対象にアンケート調査を実施した。

2. 実施アンケート

「福知山公立大学新学部設置構想に関するアンケート調査」

3. 調査対象

京都府、兵庫県、福井県内に所在する48校（公立41校、私立7校）を選定し、各高等学校等に在籍する高校2年生を対象に、アンケート調査を実施した。

4. 調査実施

平成29年11月から12月にかけて調査を実施した。

5. 調査方法

福知山公立大学教職員が各高校を訪問し、アンケート調査の実施依頼及び調査票の配付を行い、調査票の回収・集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

6. 回収状況

回収率 87.5%（回答高校数42校÷配付高校数48校×100）

<アンケート調査票>

福知山公立大学新学部設置構想に関するアンケート調査票

福知山公立大学は、豊かな教養と幅広い人間性を身につけ地域と世界で活躍する人材を育成することを目的として、平成28年度に地域経営学部を有する大学として開学しました。このアンケート調査は、高校生の皆さんの高校卒業後の進路などについてお聞きし、新学部の設置構想を推進するための基礎資料とするものです。お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果はコンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。また、本アンケートは新学部への受験を約束させるものではありません。率直なご意見をおたずねします。

回答は設問の順に該当する番号等を回答欄に直接記入してください。

◆構想中の学部・学科 : 「情報科学部 (仮称)」

◆設置目的 : [情報科学部] 情報技術・通信等の基本的な知識並びに実践的な情報処理技術を身につけるとともに、情報社会の課題を自ら発見し解決する能力を持つ人材を育成する。

◆設置時期 : 平成33年度開学予定

◆場所 : 京都府福知山市字堀 3370

◆学費 : 公立大学の平均的な金額に準拠する予定です。

【参考】平成29年度の全国公立大学の平均学費

授業料 535,800円程度 入学料 282,000円程度

※上記の名称、内容は構想中であり、変更する場合があります。

問1 あなたの性別についておたずねします。

【回答欄】

- 1 男性
- 2 女性

問2 あなたがお住いの都道府県についておたずねします。次の中から**1つだけ**選んでください。

- 1 京都府
- 2 兵庫県
- 3 福井県
- 4 その他 ()

問3 あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を**1つだけ**選んでください。

- 1 大学進学
- 2 短期大学進学
- 3 専門学校進学
- 4 就職
- 5 その他 (具体的に)

1、2、3を選択された方は問4に進んでください

4、5を選択された方は問10に進んでください

問4 あなたはどのような学校に進学したいですか。次の中から**1つだけ**選んでください。

- 1 国立
- 2 公立 (県立・市立等)
- 3 私立
- 4 その他 (具体的に)
- 5 未定

(裏面に続く)

問5 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から**第3希望まで**選んでください。

- | | | |
|------------------|-----------------------|----------------------|
| 1 情報科学（コンピュータ）関係 | 10 家政学関係（被服・住居） | |
| 2 看護学関係 | 11 理学関係（生物、化学、地学、物理等） | 第1希望 |
| 3 国際関係（外国語含む） | 12 工学関係 | <input type="text"/> |
| 4 法学・政治学関係 | 13 農学関係 | 第2希望 |
| 5 商学・経済学・経営学関係 | 14 医学・歯学・薬学関係 | <input type="text"/> |
| 6 社会学・福祉学関係 | 15 教育学・保育学関係 | |
| 7 美術学・デザイン学関係 | 16 文学関係（史学・哲学含む） | 第3希望 |
| 8 音楽学関係 | 17 心理学関係 | <input type="text"/> |
| 9 食物学・栄養学関係 | 18 体育学・スポーツ関係 | |
| | 19 その他（具体的に |) |

問6 情報科学（コンピュータ）関係についておたずねします。最も興味のある分野を次の中から

第2希望まで選んでください。

- | | | |
|-----------------------|----------------|----------------------|
| 1 情報通信（ICT・IoT等） | 5 情報セキュリティ | 第1希望 |
| 2 情報システム・ソフトウェア開発（SE） | 6 ウェブデザイン | <input type="text"/> |
| 3 データ分析・解析 | (ウェブサイトの作成・設計) | 第2希望 |
| 4 人工知能（AI） | 7 情報処理全般 | <input type="text"/> |

※ICTとは、「Information and Communication Technology」の略称で、「情報伝達技術」と訳されます。ITとはほぼ同義ですが、ICTでは情報・知識の共有に焦点を当てている。

※IoTとは「Internet of Things」の略称で、「モノのインターネット」と訳されます。IoTは、PCやスマートフォンなどの従来型の通信機器を除いた、ありとあらゆる「モノ」がインターネットとつながる仕組みや技術のことを指します。

問7 あなたは「数学Ⅲ」を履修している、または履修することを考えていますか。次の中から

1つだけ選んでください。

- | | | |
|-------------|-------------|----------------------|
| 1 履修している | 4 履修する予定はない | <input type="text"/> |
| 2 履修する予定である | 5 未定である | |
| 3 履修していない | | |

問8 あなたが進学先を決定する際に重視することは何ですか。次の中から**3つまで**選んでください。

- | | | |
|----------------|-------------------|----------------------|
| 1 設置形態（国・公・私立） | 9 教員の充実度 | <input type="text"/> |
| 2 学部・学科の専攻分野 | 10 入試難易度・入試科目 | |
| 3 学校の所在地 | 11 担任や進路指導教員の意見 | |
| 4 資格を取得できる | 12 家族（親や兄弟）の意見 | <input type="text"/> |
| 5 就職実績 | 13 現役大学生や卒業生等の意見 | <input type="text"/> |
| 6 校舎・施設の充実度 | 14 特色ある教育研究 | |
| 7 学費（入学金・授業料） | 15 クラブ活動・学生生活の充実度 | |
| 8 大学の伝統・知名度 | 16 その他（具体的に |) |

問9 あなたは福知山公立大学情報科学部（仮称）への進学を希望しますか。**1つだけ**選んでください。

- | | | |
|-----------|------------|----------------------|
| 1 進学を希望する | 3 進学を希望しない | <input type="text"/> |
| 2 進学を検討する | 4 わからない | |

問10 福知山公立大学について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。

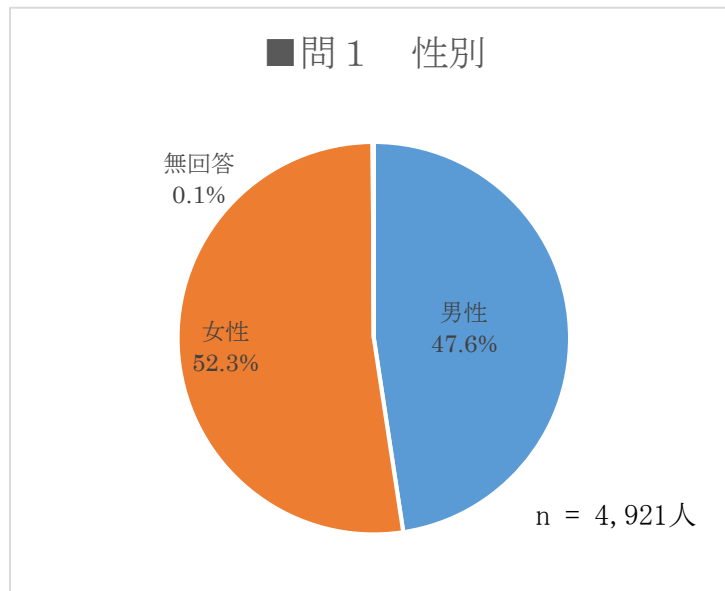
*** これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 ***

<アンケート集計結果>

[有効回答票：4,921票]

問1 あなたの性別についておたずねします。

回答者の男女比は男性2,343人(47.6%)、女性2,574人(52.3%)となっている。

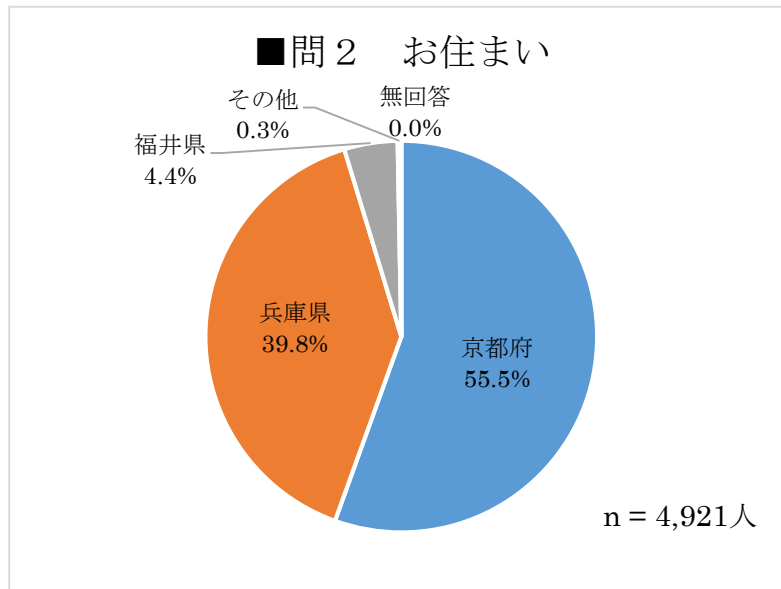


問1 性別

カテゴリ	件数	%
1 男性	2,343	47.6
2 女性	2,574	52.3
不明	4	0.1
N (% [^] -ス)		100.0

問2 あなたがお住いの都道府県についておたずねします。

「京都府」2,732人（55.5%）、「兵庫県」1,957人（39.8%）、「福井県」216人（4.4%）となっている。

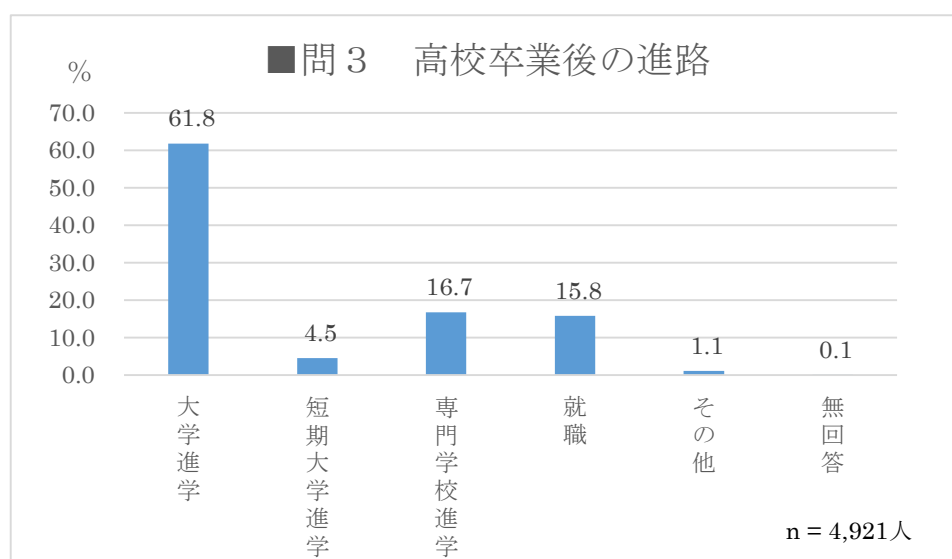


問2 お住まい

上段:人 下段:%	合計	1 京都府	2 兵庫県	3 福井県	4 その他	不明
全体	4921 100.0	2732 55.5	1957 39.8	216 4.4	15 0.3	1 -
男性	2343 100.0	1320 56.3	918 39.2	98 4.2	6 0.3	1 -
女性	2574 100.0	1409 54.7	1038 40.3	118 4.6	9 0.3	- -
不明	4 100.0	3 75.0	1 25.0	- -	- -	- -

問3 あなたの進路についておたずねします。あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。

- ・「大学進学」3,042人（61.8%）が最も多く、次いで「専門学校進学」821人（16.7%）、「就職」776人（15.8%）、「短期大学進学」223人（4.5%）となっている。
- ・回答者の83.0%が高等教育機関（大学、短大、専門学校）への進学を希望している。



問3 高校卒業後の進路

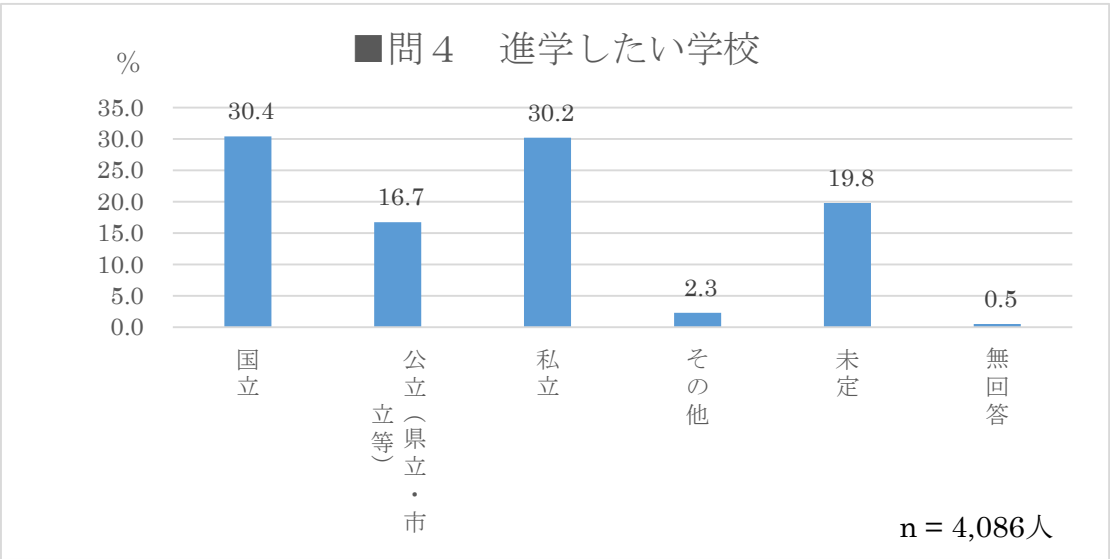
上段:人 下段:%	合計	1 大 学 進学	2 短期大学 進学	3 専門学校 進学	4 就 職	5 その他	不明
全体	4921 100.0	3042 61.8	223 4.5	821 16.7	776 15.8	54 1.1	5 0.1
男性	2343 100.0	1523 65.0	41 1.7	284 12.1	461 19.7	33 1.4	1 -
女性	2574 100.0	1518 59.0	182 7.1	536 20.8	313 12.2	21 0.8	4 0.2
不明	4 100.0	1 25.0	- -	1 25.0	2 50.0	- -	- -

(問4以降は、問3で「1 大学進学」「2 短期大学進学」「3 専門学校進学」のいずれかを選択した回答者

4,086人への設問)

問4 あなたはどのような学校に進学したいですか。

「国立」1,241人(30.4%)が最も多く、次いで「私立」1,236人(30.2%)、「未定」811人(19.8%)、「公立」684人(16.7%)、「その他」92人(2.3%)となっている。

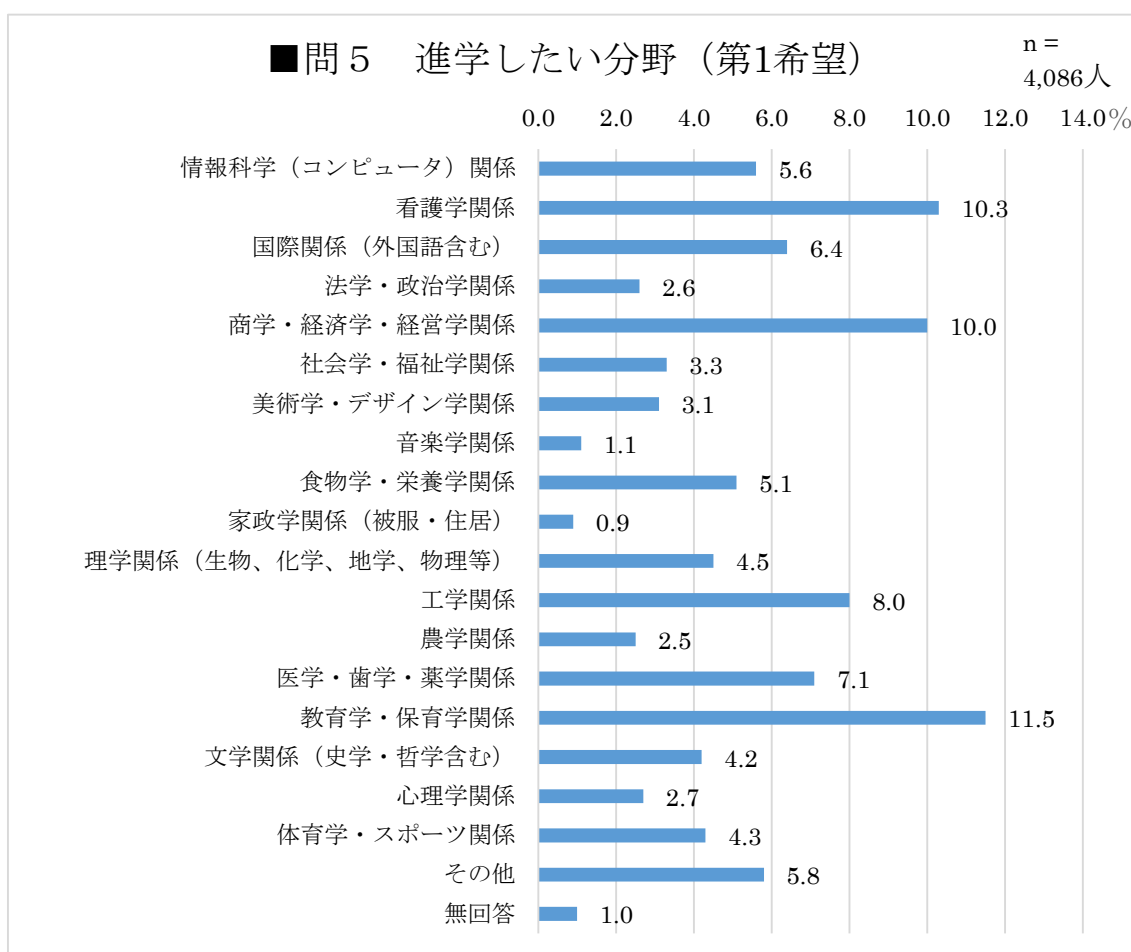


問4 進学したい学校

上段:人 下段:%	合計	1 国立	2 公立 (県立・市立等)	3 私立	4 その他	5 未定	不明
全体	4086 100.0	1241 30.4	684 16.7	1236 30.2	92 2.3	811 19.8	22 0.5
男性	1848 100.0	704 38.1	261 14.1	503 27.2	25 1.4	353 19.1	2 0.1
女性	2236 100.0	537 24.0	421 18.8	733 32.8	67 3.0	458 20.5	20 0.9
不明	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	-

問5 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。(第1希望)

- ・第1希望においては「教育学・保育学関係」471人(11.5%)が最も多く、次いで「看護学関係」420人(10.3%)、「商学・経済学・経営学関係」408人(10.0%)、「工学関係」328人(8.0%)と続いている。「情報科学(コンピュータ)関係」は230人(5.6%)となっている。
- ・男性回答者においては女性回答者と比較して「工学関係」(男性:15.5%、女性:1.8%)、「商学・経済学・経営学関係」(男性:13.1%、女性:7.4%)、「情報科学(コンピュータ)関係」(男性:10.1%、女性:2.0%)、「理学関係(生物、化学、地学、物理等)」(男性:7.0%、女性:2.3%)の回答率が高い。
- ・他方、女性回答者においては男性回答者と比較して「看護学関係」(女性:15.3%、男性:4.2%)、「教育学・保育学関係」(女性:15.1%、男性:7.2%)、「国際関係(外国語含む)」(女性:9.0%、男性:3.4%)、「食物学・栄養学関係」(女性:7.8%、男性:1.8%)の回答率が高い。

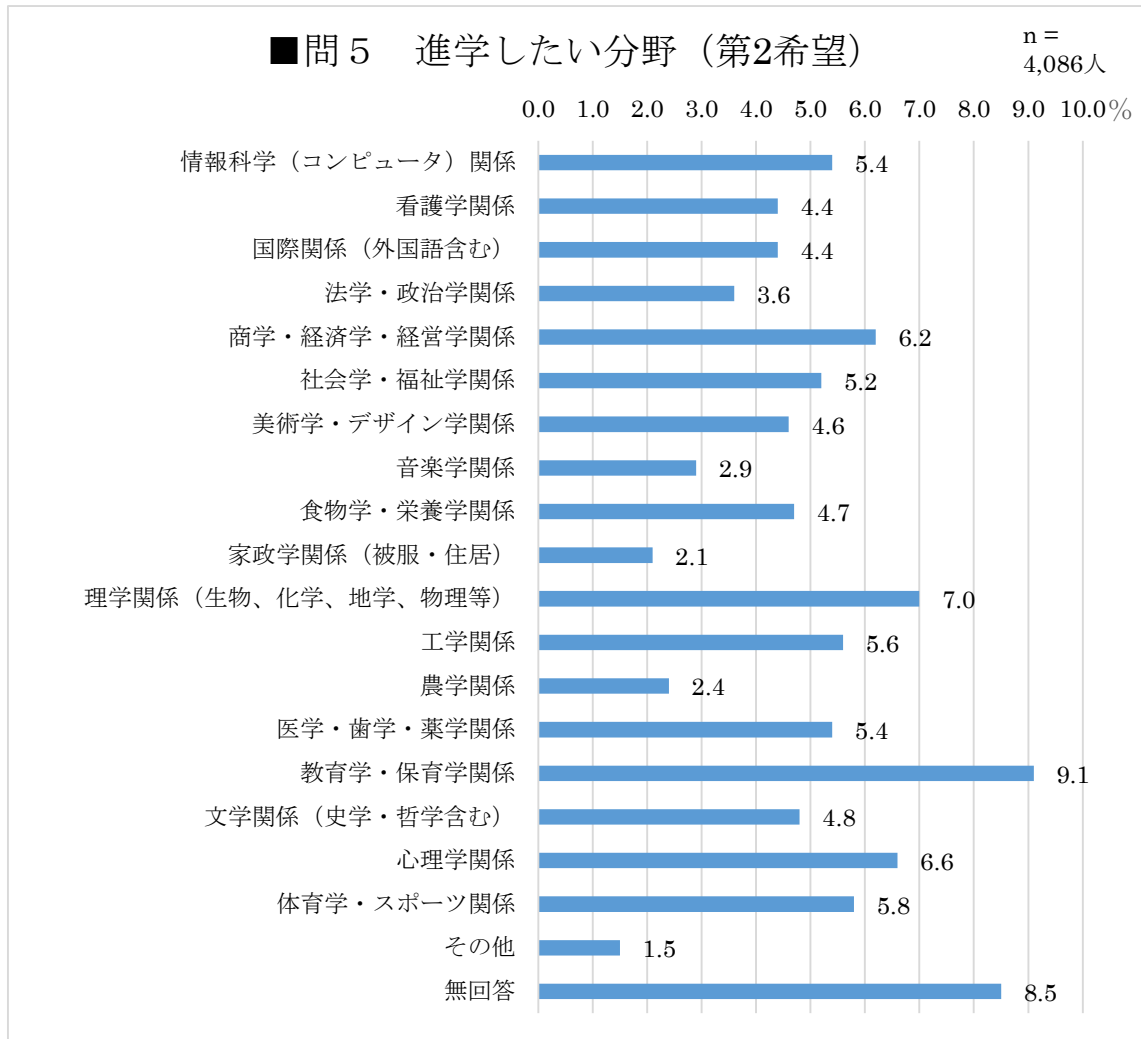


問5 進学したい分野（第1希望）

	第1希望			
	合計	男性	女性	不明
全 体	4086 100.0	1848 100.0	2236 100.0	2 100.0
1 情報科学（コンピュータ）関係	230 5.6	186 10.1	44 2.0	- -
2 看護学関係	420 10.3	77 4.2	342 15.3	1 50.0
3 国際関係（外国語含む）	263 6.4	62 3.4	201 9.0	- -
4 法学・政治学関係	105 2.6	80 4.3	25 1.1	- -
5 商学・経済学・経営学関係	408 10.0	242 13.1	166 7.4	- -
6 社会学・福祉学関係	133 3.3	54 2.9	79 3.5	- -
7 美術学・デザイン学関係	125 3.1	37 2.0	88 3.9	- -
8 音楽学関係	46 1.1	13 0.7	33 1.5	- -
9 食物学・栄養学関係	208 5.1	33 1.8	175 7.8	- -
10 家政学関係（被服・住居）	35 0.9	2 0.1	33 1.5	- -
11 理学関係（生物、化学、地学、物理等）	182 4.5	130 7.0	52 2.3	- -
12 工学関係	328 8.0	287 15.5	41 1.8	- -
13 農学関係	101 2.5	60 3.2	41 1.8	- -
14 医学・歯学・薬学関係	292 7.1	131 7.1	161 7.2	- -
15 教育学・保育学関係	471 11.5	133 7.2	338 15.1	- -
16 文学関係（史学・哲学含む）	173 4.2	69 3.7	103 4.6	1 50.0
17 心理学関係	112 2.7	33 1.8	79 3.5	- -
18 体育学・スポーツ関係	174 4.3	124 6.7	50 2.2	- -
19 その他	239 5.8	79 4.3	160 7.2	- -
不明	41 1.0	16 0.9	25 1.1	- -

※色のついている部分は各性別の上位3つ

問5 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。(第2希望)

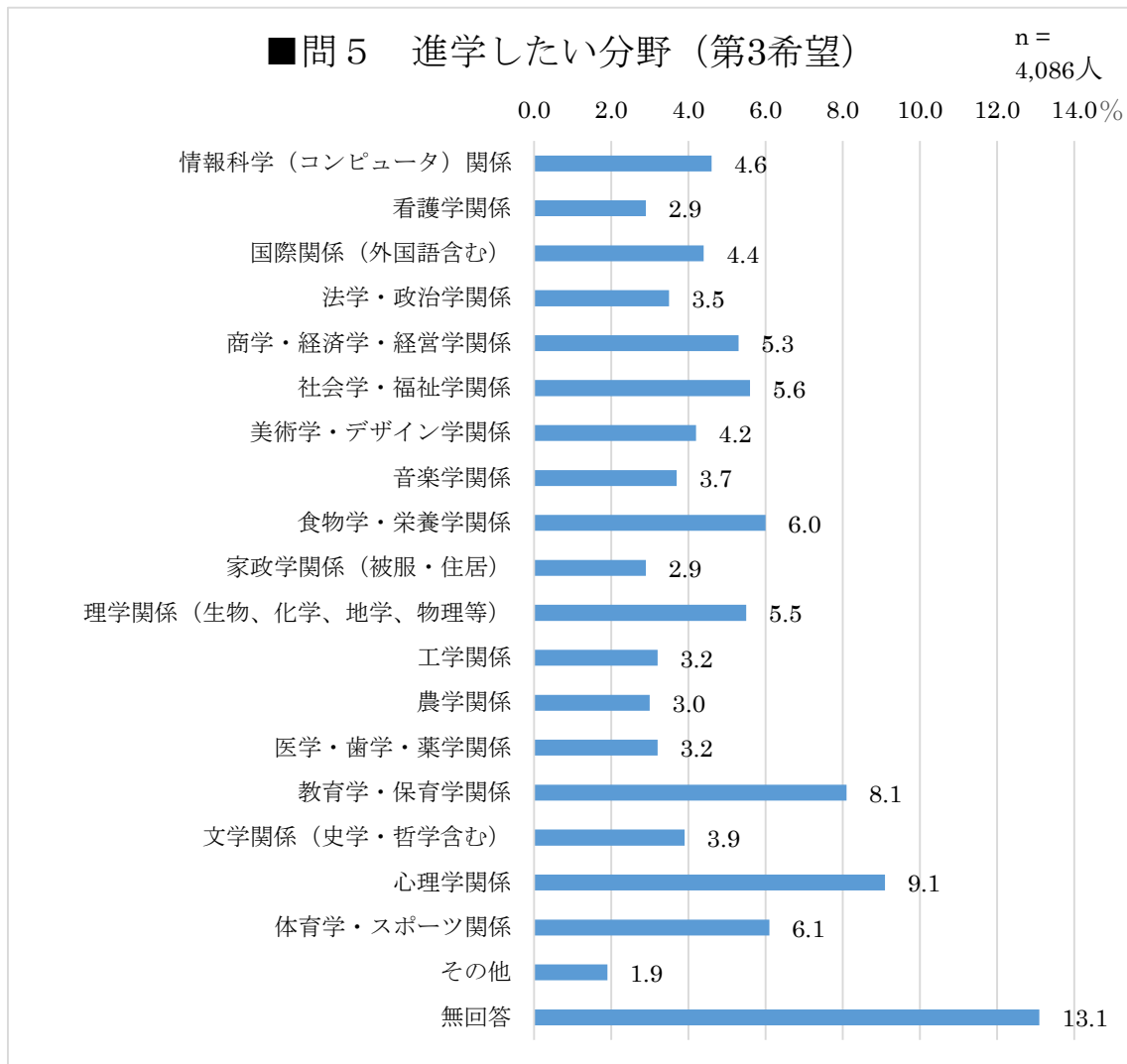


問5 進学したい分野（第2希望）

	第2希望			
	合計	男性	女性	不明
全体	4086 100.0	1848 100.0	2236 100.0	2 100.0
1 情報科学（コンピュータ）関係	221 5.4	174 9.4	47 2.1	- -
2 看護学関係	180 4.4	73 4.0	107 4.8	- -
3 国際関係（外国語含む）	178 4.4	51 2.8	127 5.7	- -
4 法学・政治学関係	146 3.6	99 5.4	47 2.1	- -
5 商学・経済学・経営学関係	255 6.2	138 7.5	117 5.2	- -
6 社会学・福祉学関係	212 5.2	85 4.6	126 5.6	1 50.0
7 美術学・デザイン学関係	186 4.6	72 3.9	114 5.1	- -
8 音楽学関係	119 2.9	33 1.8	86 3.8	- -
9 食物学・栄養学関係	191 4.7	34 1.8	157 7.0	- -
10 家政学関係（被服・住居）	86 2.1	6 0.3	80 3.6	- -
11 理学関係（生物、化学、地学、物理等）	288 7.0	212 11.5	76 3.4	- -
12 工学関係	227 5.6	193 10.4	34 1.5	- -
13 農学関係	98 2.4	54 2.9	44 2.0	- -
14 医学・歯学・薬学関係	221 5.4	73 4.0	148 6.6	- -
15 教育学・保育学関係	373 9.1	131 7.1	242 10.8	- -
16 文学関係（史学・哲学含む）	195 4.8	81 4.4	114 5.1	- -
17 心理学関係	269 6.6	69 3.7	199 8.9	1 50.0
18 体育学・スポーツ関係	235 5.8	140 7.6	95 4.2	- -
19 その他	60 1.5	28 1.5	32 1.4	- -
不明	346 8.5	102 5.5	244 10.9	- -

※色のついている部分は各性別の上位3つ

問5 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。(第3希望)



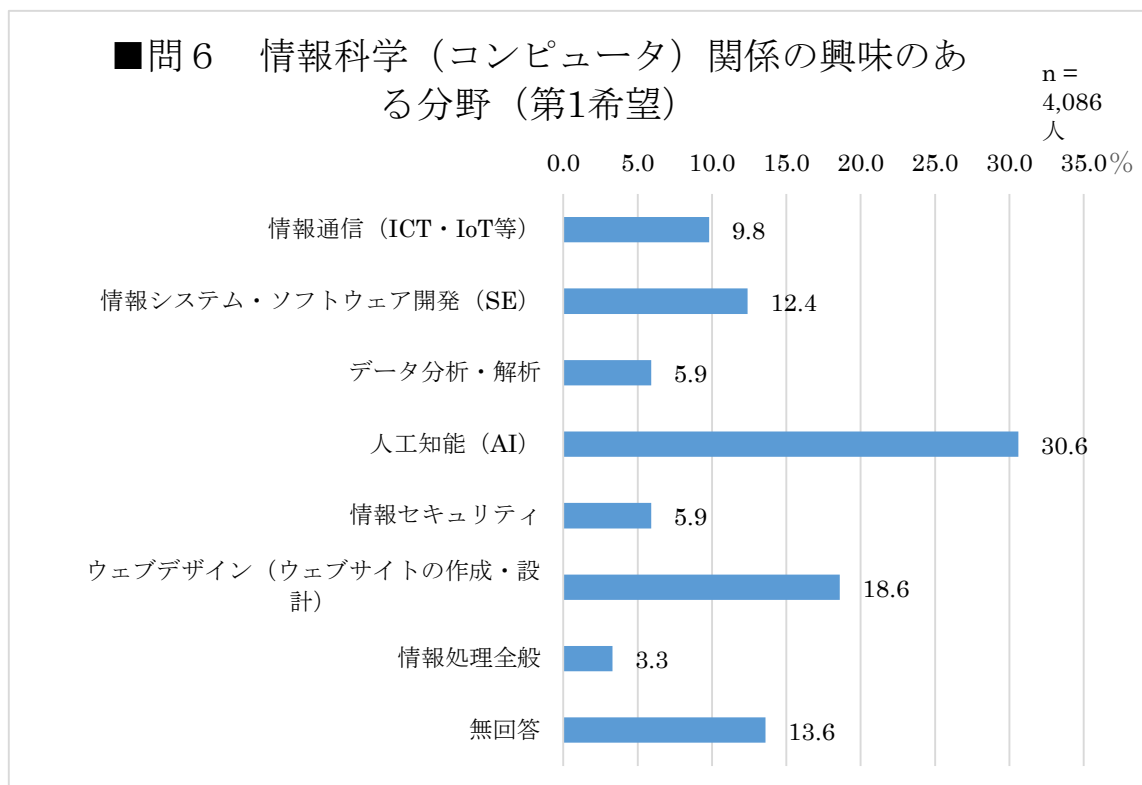
問5 進学したい分野（第3希望）

上段:人	第3希望			
	合計	男性	女性	不明
全 体	4086 100.0	1848 100.0	2236 100.0	2 100.0
1 情報科学（コンピュータ）関係	188 4.6	133 7.2	55 2.5	- -
2 看護学関係	118 2.9	42 2.3	76 3.4	- -
3 国際関係（外国語含む）	178 4.4	70 3.8	108 4.8	- -
4 法学・政治学関係	144 3.5	84 4.5	60 2.7	- -
5 商学・経済学・経営学関係	216 5.3	125 6.8	91 4.1	- -
6 社会学・福祉学関係	230 5.6	110 6.0	120 5.4	- -
7 美術学・デザイン学関係	171 4.2	64 3.5	105 4.7	2 100.0
8 音楽学関係	151 3.7	53 2.9	98 4.4	- -
9 食物学・栄養学関係	245 6.0	71 3.8	174 7.8	- -
10 家政学関係（被服・住居）	117 2.9	19 1.0	98 4.4	- -
11 理学関係（生物、化学、地学、物理等）	223 5.5	170 9.2	53 2.4	- -
12 工学関係	130 3.2	104 5.6	26 1.2	- -
13 農学関係	124 3.0	75 4.1	49 2.2	- -
14 医学・歯学・薬学関係	130 3.2	50 2.7	80 3.6	- -
15 教育学・保育学関係	329 8.1	132 7.1	197 8.8	- -
16 文学関係（史学・哲学含む）	161 3.9	68 3.7	93 4.2	- -
17 心理学関係	370 9.1	124 6.7	246 11.0	- -
18 体育学・スポーツ関係	250 6.1	140 7.6	110 4.9	- -
19 その他	76 1.9	37 2.0	39 1.7	- -
不明	535 13.1	177 9.6	358 16.0	- -

※色のついている部分は各性別の上位3つ

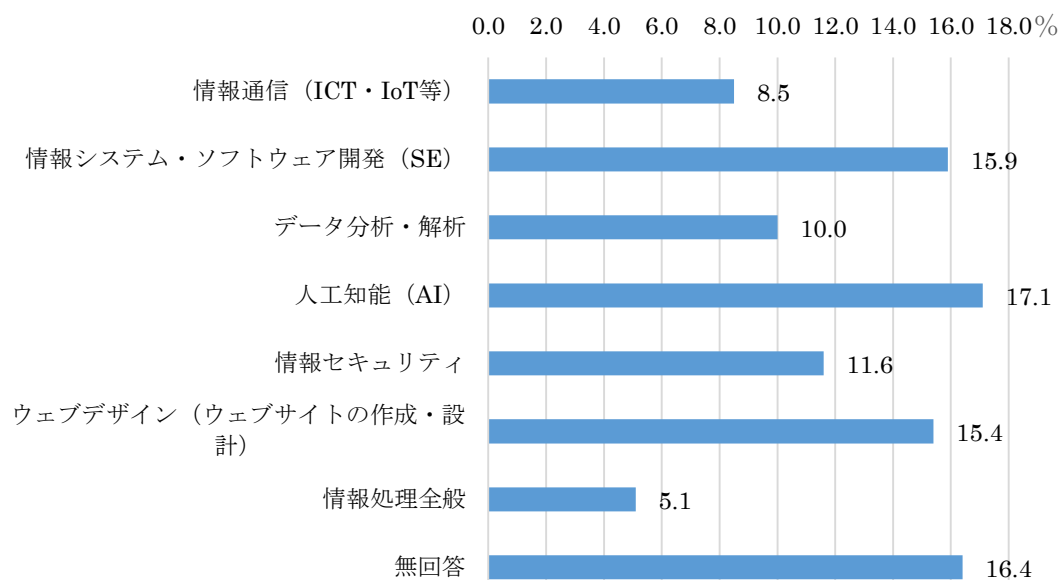
問6 情報科学（コンピュータ）関係についておたずねします。最も興味のある分野を第2希望まで選んで下さい。

- ・第1希望においては「人工知能（AI）」1,250人（30.6%）が最も多く、次いで「ウェブデザイン（ウェブサイトの作成・設計）」761人（18.6%）、「情報システム・ソフトウェア開発（SE）」505人（12.4%）、「情報通信（ICT・IoT等）」399人（9.8%）と続いている。
- ・「人工知能（AI）」1,250人（30.6%）は男女通じて回答率が高い（男性：33.3%、女性：28.4%）
- ・男性回答者においては女性回答者と比較して「情報システム・ソフトウェア開発（SE）」（男性：18.8%、女性：7.0%）、「情報通信（ICT・IoT等）」（男性：13.0%、女性：7.1%）の回答率が高い。
- ・他方、女性回答者においては男性回答者と比較して「ウェブデザイン（ウェブサイトの作成・設計）」（女性：26.5%、男性：9.1%）の回答率が高い。



■問6 情報科学（コンピュータ）関係の興味のある分野（第2希望）

n = 4,086人



問6 情報科学（コンピュータ）関係の興味ある分野

	第1希望				第2希望			
	合計	男性	女性	不明	合計	男性	女性	不明
全体	4086	1848	2236	2	4086	1848	2236	2
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1 情報通信 (ICT・IoT等)	399	240	159	-	348	191	157	-
	9.8	13.0	7.1	-	8.5	10.3	7.0	-
2 情報システム・ソフトウェア開発 (SE)	505	348	157	-	650	380	269	1
	12.4	18.8	7.0	-	15.9	20.6	12.0	50.0
3 データ分析・解析	242	124	118	-	408	194	214	-
	5.9	6.7	5.3	-	10.0	10.5	9.6	-
4 人工知能 (AI)	1250	615	635	-	700	318	382	-
	30.6	33.3	28.4	-	17.1	17.2	17.1	-
5 情報セキュリティ	242	112	130	-	473	245	228	-
	5.9	6.1	5.8	-	11.6	13.3	10.2	-
6 ウェブデザイン (ウェブサイトの作成・設計)	761	168	592	1	628	215	412	1
	18.6	9.1	26.5	50.0	15.4	11.6	18.4	50.0
7 情報処理全般	133	53	79	1	208	86	122	-
	3.3	2.9	3.5	50.0	5.1	4.7	5.5	-
不明	554	188	366	-	671	219	452	-
	13.6	10.2	16.4	-	16.4	11.9	20.2	-

※色のついている部分は各性別の上位3つ

【参考】問5で「情報科学(コンピュータ関係)」を第1希望とした者に限定した問6の回答結果

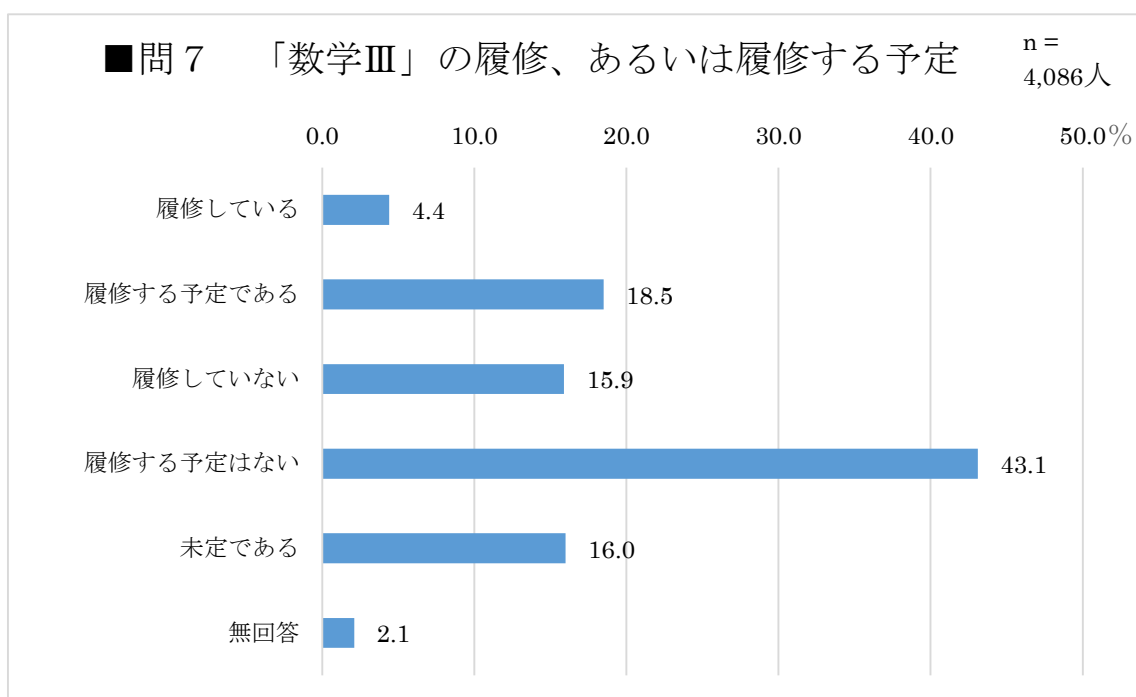
- ・問5で「情報科学(コンピュータ関係)」を第1希望とした回答者が問6においてどの分野に興味を示しているかにつき、回答率の高いほうから順に「情報システム・ソフトウェア開発 (SE) 」92人 (40.0%)、「情報通信 (ICT・IoT等) 」56人 (24.3%)、「人工知能 (AI) 」29人 (12.6%) となっている。
- ・回答者の4割が「情報システム・ソフトウェア開発 (SE) 」を選択している。

問5で第1希望が「情報科学(コンピュータ)関係」× 問6(第1希望)

問5 情報科学		上段:度数	合計	男性	女性
第1希望		下段:%			
問6 情報科学 (コンピュー タ)関係の興味 のある分野(第 1希望)	全体		230	186	44
			100.0	100.0	100.0
	情報通信 (ICT・IoT等)		56	47	9
			24.3	25.3	20.5
	情報システム・ソフトウェア開発 (SE)		92	80	12
			40.0	43.0	27.3
	データ分析・解析		6	4	2
			2.6	2.2	4.5
	人工知能 (AI)		29	24	5
			12.6	12.9	11.4
情報セキュリティ		9	7	2	
		3.9	3.8	4.5	
ウェブデザイン (ウェブサイトの作成・設計)		17	11	6	
		7.4	5.9	13.6	
情報処理全般		18	10	8	
		7.8	5.4	18.2	
不明		3	3	-	
		1.3	1.6	-	

問7 あなたは「数学Ⅲ」を履修している、または履修することを考えていますか。

「履修する予定はない」1,761人(43.1%)が最も多く、次いで「履修する予定である」754人(18.5%)、「未定である」655人(16.0%)、「履修していない」651人(15.9%)、「履修している」179人(4.4%)となっている。

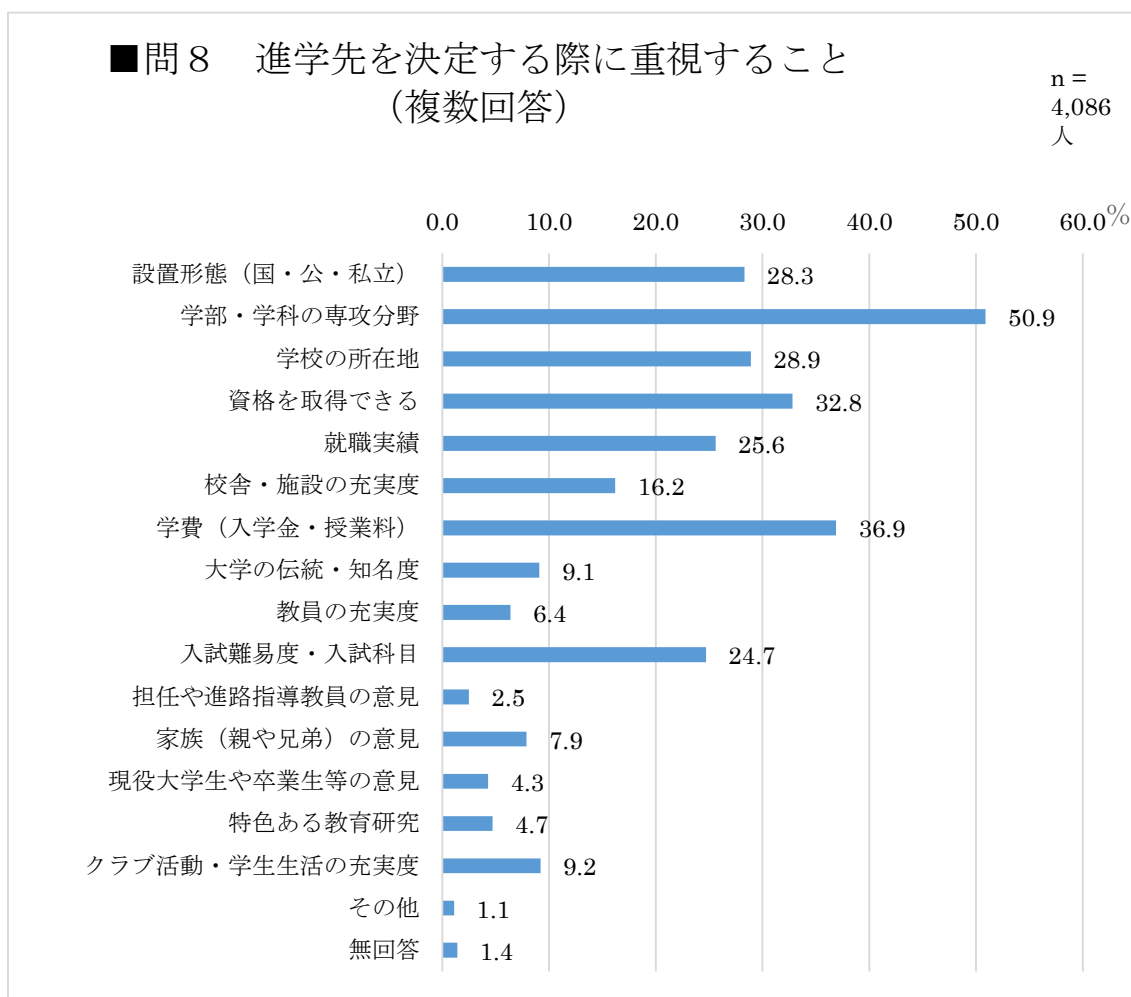


問7 「数学Ⅲ」の履修、あるいは履修する予定

上段:人 下段:%	合計	1 履修して いる	2 履修する 予定である	3 履修して いない	4 履修する 予定はない	5 未定である	不明
全体	4086 100.0	179 4.4	754 18.5	651 15.9	1761 43.1	655 16.0	86 2.1
男性	1848 100.0	111 6.0	523 28.3	272 14.7	603 32.6	316 17.1	23 1.2
女性	2236 100.0	68 3.0	231 10.3	379 16.9	1157 51.7	338 15.1	63 2.8
不明	2 100.0	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -

問8 あなたが進学先を決定する際に重視することは何ですか。(複数回答)

- ・「学部・学科の専攻分野」2,079人(50.9%)が最も多く、次いで「学費(入学金・授業料)」1,506人(36.9%)、「資格を取得できる」1,342人(32.8%)、「学校の所在地」1,181人(28.9%)、「設置形態(国・公・私立)」1,157人(28.3%)、「就職実績」1,047人(25.6%)となっている。
- ・「学部・学科の専攻分野」(男性：48.0%、女性：53.3%)、「学費(入学金・授業料)」(男性：33.3%、女性：39.8%)は男女通じて回答率が高い。
- ・男性回答者においては女性回答者と比較して「設置形態(国・公・私立)」(男性：33.5%、女性：24.0%)の回答率が高い。
- ・他方、女性回答者においては男性回答者と比較して「資格を取得できる」(女性：37.8%、男性：26.9%)の回答率が高い。



問8 進学先を決定する際に重視すること（複数回答）

	上段:人 下段:%	合計	男性	女性	不明
全 体		4086	1848	2236	2
		100.0	100.0	100.0	100.0
1 設置形態(国・公・私立)		1157	620	537	-
		28.3	33.5	24.0	-
2 学部・学科の専攻分野		2079	887	1191	1
		50.9	48.0	53.3	50.0
3 学校の所在地		1181	553	627	1
		28.9	29.9	28.0	50.0
4 資格を取得できる		1342	497	845	-
		32.8	26.9	37.8	-
5 就職実績		1047	451	596	-
		25.6	24.4	26.7	-
6 校舎・施設の充実度		663	281	382	-
		16.2	15.2	17.1	-
7 学費(入学金・授業料)		1506	615	890	1
		36.9	33.3	39.8	50.0
8 大学の伝統・知名度		372	215	157	-
		9.1	11.6	7.0	-
9 教員の充実度		261	145	116	-
		6.4	7.8	5.2	-
10 入試難易度・入試科目		1011	521	489	1
		24.7	28.2	21.9	50.0
11 担任や進路指導教員の意見		102	60	42	-
		2.5	3.2	1.9	-
12 家族(親や兄弟)の意見		323	141	181	1
		7.9	7.6	8.1	50.0
13 現役大学生や卒業生等の意見		174	66	107	1
		4.3	3.6	4.8	50.0
14 特色ある教育研究		193	100	93	-
		4.7	5.4	4.2	-
15 クラブ活動・学生生活の充実度		376	201	175	-
		9.2	10.9	7.8	-
16 その他		45	22	23	-
		1.1	1.2	1.0	-
不明		56	17	39	-
		1.4	0.9	1.7	-

※ 複数回答のため、合計は100%にならない

※ 色のついている部分は各性別の上位3つ

問9 あなたは福知山公立大学情報科学部（仮称）への進学を希望しますか。

- ・「進学を希望する」52人（1.3%）、「進学を検討する」101人（2.5%）、「進学を希望しない」2,917人（71.4%）、「わからない」972人（23.8%）となっている。
- ・「進学を希望する」を選択した52名のみでは実数において想定する入学定員100名を満たさないものの、「進学を検討する」101名と合計すると153名（入学定員の1.53倍）が新学部への進学に興味を示している。
- ・また、今回の調査は福知山市ほか北近畿を中心とした高等学校42校4,921名に限定した調査である。北近畿のみならず全国から学生が入学している貴学のこれまでの募集状況を勘案すると、北近畿以外の地域からも相当程度の入学者が見込まれる。

問9 福知山公立大学情報科学部（仮称）への進学希望

上段:人 下段:%	合計	1 進学を 希望する	2 進学を 検討する	3 進学を 希望しない	4 わからない	不明
全体	4086	52	101	2917	972	44
	100.0	1.3	2.5	71.4	23.8	1.1
男性	1848	37	65	1151	584	11
	100.0	2.0	3.5	62.3	31.6	0.6
女性	2236	15	36	1764	388	33
	100.0	0.7	1.6	78.9	17.4	1.5
不明	2	-	-	2	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-

福知山公立大学情報学部情報学科（仮称）
設置構想に関するアンケート調査

報 告 書

平成 3 1 年 2 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

<アンケート調査概要>

1. アンケート調査の目的

福知山公立大学情報学部情報学科（仮称）の設置構想に関し、高校生の進学意向等を把握するために、京都府、兵庫県、福井県の高校を対象にアンケート調査を実施した。

2. 実施アンケート

「福知山公立大学 情報学部 情報学科（仮称） 設置構想に関するアンケート調査」

3. 調査対象

京都府、兵庫県、福井県内に所在する 63 校を選定し、各高等学校に在籍する高校 2 年生を対象に、アンケート調査を実施した。

4. 調査実施

平成 30 年 11 月から 12 月にかけて調査を実施した。

5. 調査方法

福知山公立大学教職員が各高校を訪問し、アンケート調査の実施依頼及び調査票の配付を行い、調査票の回収・集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

6. 回収状況

回収率 79.4%（回答高校数 50 校 ÷ 配付高校数 63 校 × 100）。有効回答数 6,381。

<アンケート調査票>

(高校生対象)

福知山公立大学 情報学部 情報学科 (仮称) 設置構想に関するアンケート調査票

福知山公立大学は、地域に貢献する新しい情報学を学ぶ「情報学部 情報学科」の設置を2020年度に構想しています。このアンケート調査は、高校生の皆さんの進路等についてお聞きし、新学部の設置構想の基礎資料とするものです。お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。なお、このアンケートの結果はコンピュータにより処理され、文部科学省等へ提出する統計資料として用います。回答は設問の順に該当する番号等を回答欄に直接記入してください。なお名称、内容等は構想中であり、変更する場合があります。

◆設置の背景、養成する人材 キーワード：新しい経済社会「Society5.0」

日本政府が提唱する「Society5.0」は、IoT、AI（人工知能）、データサイエンス等の先端情報技術を、あらゆる産業や生活に取り入れ、必要なモノやサービスを、必要な時に必要なだけ提供することで、経済発展と社会的課題の解決を両立する経済社会を指し、現在この社会への移行が急速に進みつつあります。

この社会変化に対し、小学校時からの情報活用教育の拡充をはじめ、高校においては大学入試改革や文系・理系を問わない幅広い学びの推進等、情報人材の育成に向けた教育環境が大きく変化しつつあります。一方で、先端情報技術を活用できる情報人材は、10年後には約79万人が不足すると推測されており、日本の新しい経済社会の構築に向けた大きな課題となっています。

福知山公立大学では、この新しい経済社会「Society5.0」に対応できる情報学を学び、かつ北近畿地域に代表されるような人口減少や産業の衰退の激しい地域社会の中で、先端情報技術を活用して、地域に新しい価値を創造し、地域生活を豊かにするための人材育成を目指します。

◆学部・学科の概要 「情報学部 情報学科」(設置場所：京都府福知山市宇堀3370) 入学定員100名

- ・3つの専門領域(データサイエンス、ICT、人間・社会情報)を通じて先端情報技術を身につけます。
- ・地域での現地調査などを通して、理論との結びつきを理解する「地域協働型実践教育」を行います。
- ・学びの内容や卒業後の進路等については別紙のチラシ(A4版)をご参照ください。

◆学生納付金 入学金：282,000円、授業料等575,800円 (予定)

近畿地方内大学の情報系学部の学生納付金(2018年10月時点の各大学のホームページ掲載情報に基づく)

大学名・学部名	入学金	授業料等	合計
滋賀大学・データサイエンス学部	282,000円	535,800円	817,800円
同志社大学・文化情報学部	200,000円	1,072,000円	1,272,000円
京都産業大学・情報理工学部	270,000円	1,234,000円	1,504,000円
関西大学・総合情報学部	260,000円	1,213,000円	1,473,000円

【回答欄】

問1 あなたの性別についておたずねします。回答欄に記入してください。

問2 あなたがお住まいの都道府県についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 京都府 3 福井県 5 その他()
2 兵庫県 4 鳥取県

問3 あなたが在籍する高校の学科についておたずねします。次の中から在籍している学科を1つだけ選んでください。なお普通科の方は文系・理系も選択してください。

- 1 普通科・理系(理数科等を含む) 4 農業科 7 総合学科
2 普通科・文系 5 工業科 8 その他()
3 普通科・文理選択無し 6 商業科

問4 あなたの進路についておたずねします。あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。

- 1 四年制大学進学 4 専門学校進学
2 専門職大学進学 5 就職
3 短期大学進学 6 その他()

5、6を選択された方は問10に進んでください

(裏面に続く)

問5 あなたが進学したいと考えている分野は何ですか。次の中から**第3希望まで**選んでください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1 情報学関係 | 11 工学関係 (情報除く) |
| 2 経営学関係 | 12 理学関係 (生物、化学、地学、物理等) |
| 3 文学関係 (史学・哲学含む) | 13 農学関係 |
| 4 国際関係 (外国語含む) | 14 家政学関係 (被服・住居) |
| 5 法学・政治学関係 | 15 食物学・栄養学関係 |
| 6 経済学関係 | 16 医学・歯学・薬学関係 |
| 7 社会学・社会福祉学関係 | 17 看護・リハビリテーション学関係 |
| 8 心理学関係 | 18 体育学・スポーツ関係 |
| 9 教育学・保育学関係 | 19 その他 () |
| 10 美術学・音楽学関係 | |

第1希望

第2希望

第3希望

問6 あなたが進学先を決める場合に、学部・学科(内容)以外に重視するものを、次の中から**優先順位第3位まで**選んでください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1 学費が安い | 8 自宅から通学できる又は近い |
| 2 有名な先生がいる | 9 学校周辺の生活環境が良い (アパート等) |
| 3 希望する資格が取れる | 10 入試選抜方法や難易度が自分にあう |
| 4 就職の実績が良い | 11 先生、保護者、家族等の意見 |
| 5 地元地域との連携・交流が盛ん | 12 世間の評判が良い |
| 6 施設が充実している | 13 設置形態 (国立・公立・私立) |
| 7 クラブ活動等が充実している | 14 その他 () |

第1位

第2位

第3位

問7 情報学分野に関する質問です。今後の経済社会では、行政、医療、金融、観光、ものづくりなどあらゆる分野で情報技術やデータサイエンス、AI (人工知能) の活用が必要とされています。将来社会で活躍するために情報学を学修する必要があると思いますか。次の中から**1つだけ**選んでください。

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 必要と思う | 3 あまり必要性が無いと思う |
| 2 ある程度必要と思う | 4 必要ない |

問8 福知山公立大学情報学部は、文系・理系問わず、情報技術やデータサイエンスやAI (人工知能) に関する専門知識と、地域での現地調査等を通じて実践的な能力を身に付け、新しい価値を創造し地域に貢献する人材の育成を目指します。このような学部ができた場合、進学したいと思いますか。現在のお気持ちに一番近いものを次の中から**1つだけ**選んでください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 進学したい | 3 現時点ではまだわからない |
| 2 進学先の候補として検討したい | 4 進学を希望しない |

問9 問8において福知山公立大学情報学部を「1 進学したい」もしくは「2 進学先の候補として検討したい」を選んでいただいた方におたずねします。福知山公立大学情報学部を卒業後に①どのような進路を目指しますか、また②どの地域での就業や就学を希望されますか。**それぞれ1つだけ**選んでください。

①どのような進路を目指しますか。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 IT企業就職 (インターネット企業等) | 6 医療機関就職 |
| 2 製造業就職 (電機メーカー等) | 7 官公庁就職 (市役所 等) |
| 3 金融業就職 (銀行等) | 8 大学院進学 |
| 4 流通業就職 (商社等) | 9 その他 () |
| 5 サービス業就職 (広告会社等) | 10 わからない |

②どの地域での就業や就学を希望されますか。

- | | | |
|----------------|--------|-----------|
| 1 地元地域 | 3 大都市圏 | 5 決まっていない |
| 2 出身府県内やその隣接府県 | 4 海外 | |

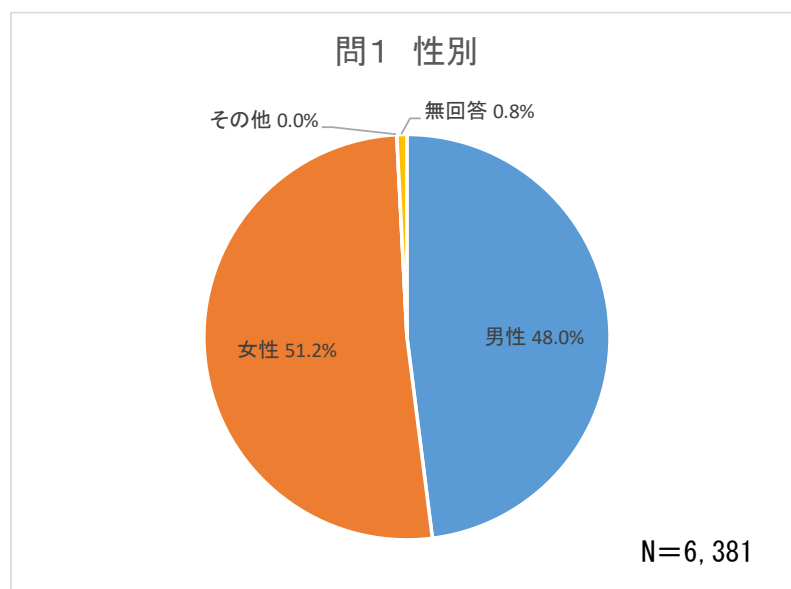
問10 福知山公立大学について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。

*** これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 ***

<アンケート集計結果>

問1 あなたの性別についておたずねします。

- ・回答者の男女比は男性 3,060 人 (48.0%)、女性 3,270 人 (51.2%) となっている。

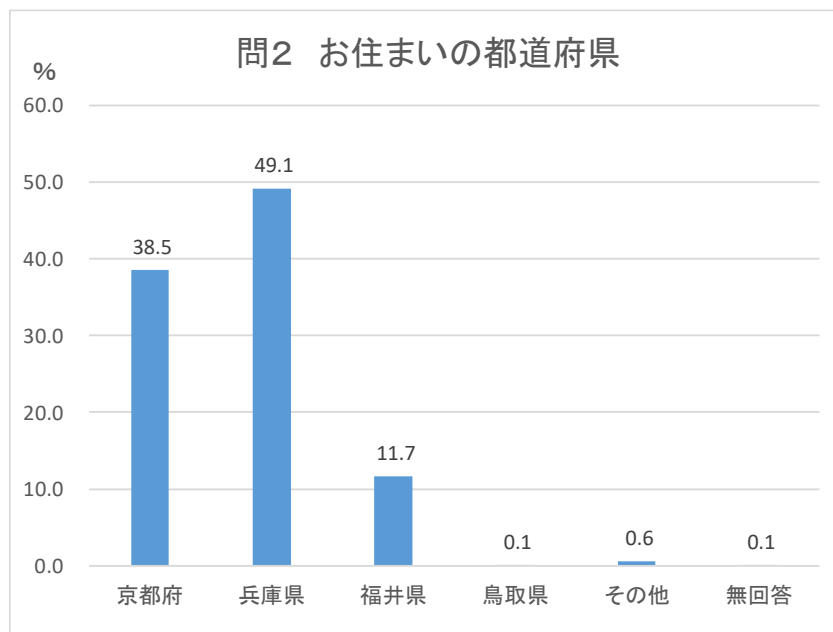


問1 性別

カテゴリ	件数	(全体)%
男性	3,060	48.0
女性	3,270	51.2
その他	0	0.0
無回答	51	0.8
N (%への-ス)	6,381	100

問2 あなたがお住まいの都道府県についておたずねします。

- ・「兵庫県」3,135人（49.1%）が最も多く、次いで「京都府」2,454人（38.5%）、「福井県」747人（11.7%）となっている。



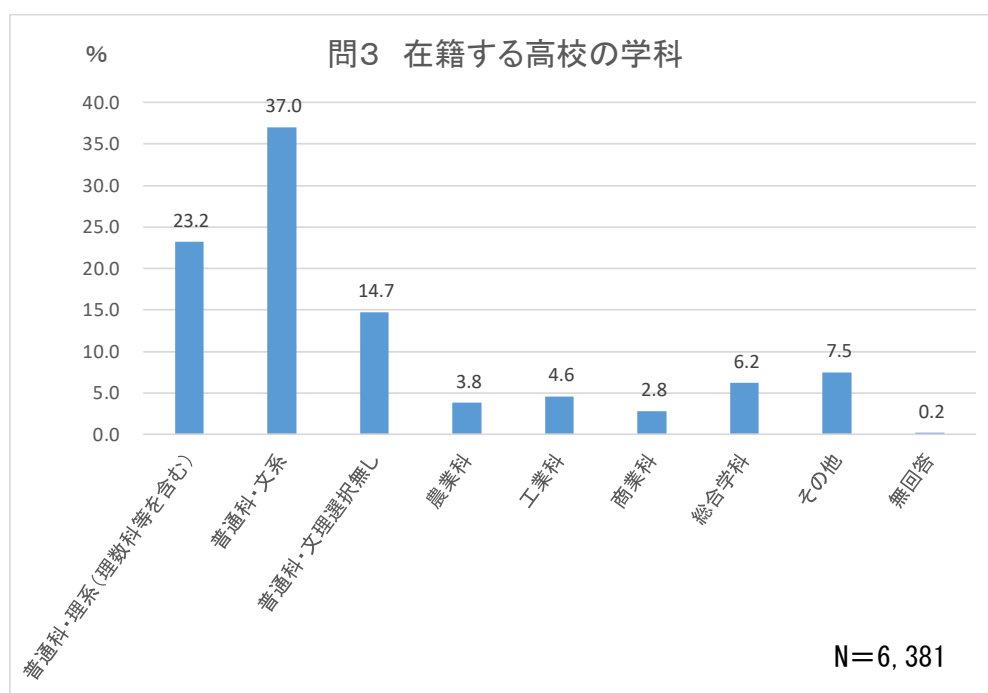
N=6,381

問2 お住まいの都道府県

上段:件数 下段:%	合計	京都府	兵庫県	福井県	鳥取県	その他	不明
全体	6,381 100.0	2,454 38.5	3,135 49.1	747 11.7	5 0.1	36 0.6	4 0.1
男性	3,060 100.0	1,250 40.8	1,407 46.0	374 12.2	1 -	26 0.8	2 0.1
女性	3,270 100.0	1,178 36.0	1,708 52.2	368 11.3	4 0.1	10 0.3	2 0.1
不明	51 100.0	26 51.0	20 39.2	5 9.8	0 -	0 -	0 -

問3 あなたが在籍する高校の学科についておたずねします。なお普通科の方は文系・理系も選択してください。

- ・「普通科・文系」2,358人(37.0%)が最も多く、次いで「普通科・理系(理数科等を含む)」1,482人(23.2%)、「普通科・文理選択無し」938人(14.7%)となっている。

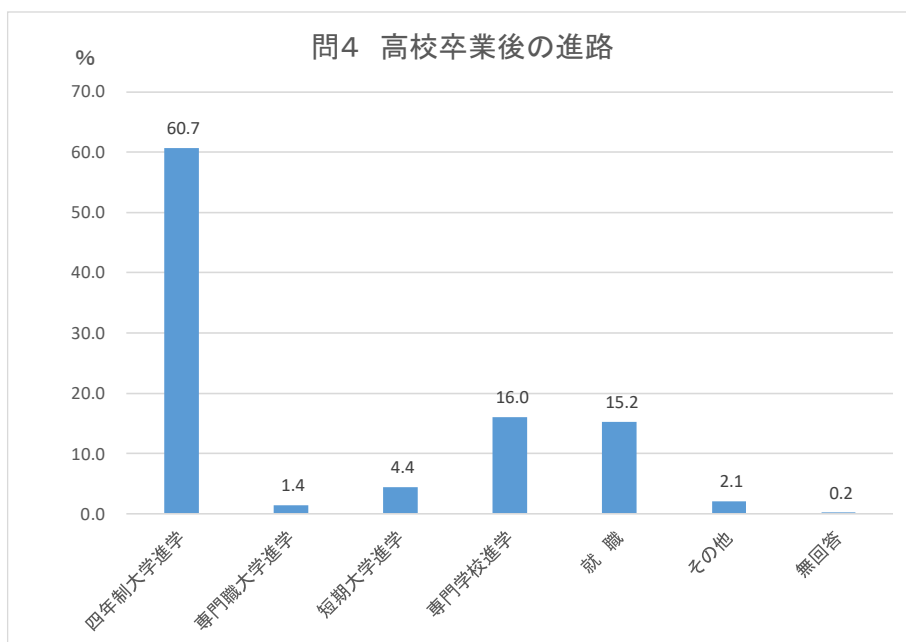


問3 在籍する高校の学科

上段: 件数 下段: %	合計	普通科・理系(理数科等を含む)	普通科・文系	普通科・文理選択無し	農業科	工業科	商業科	総合学科	その他	不明
全体	6,381	1,482	2,358	938	240	294	179	396	479	15
	100.0	23.2	37.0	14.7	3.8	4.6	2.8	6.2	7.5	0.2
男性	3,060	877	950	461	137	211	63	171	182	8
	100.0	28.7	31.0	15.1	4.5	6.9	2.1	5.6	5.9	0.3
女性	3,270	587	1,391	474	102	82	113	218	297	6
	100.0	18.0	42.5	14.5	3.1	2.5	3.5	6.7	9.1	0.2
不明	51	18	17	3	1	1	3	7	0	1
	100.0	35.3	33.3	5.9	2.0	2.0	5.9	13.7	-	2.0

問4 あなたの進路についておたずねします。あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。

- ・「四年制大学進学」3,876人(60.7%)が最も多く、次いで「専門学校進学」1,023人(16.0%)、「就職」968人(15.2%)、「短期大学進学」281人(4.4%)、「専門職大学進学」88人(1.4%)となっている。
- ・回答者の82.5%が高等教育機関(四年制大学、専門職大学、短大、専門学校)へ進学を希望している。



N=6,381

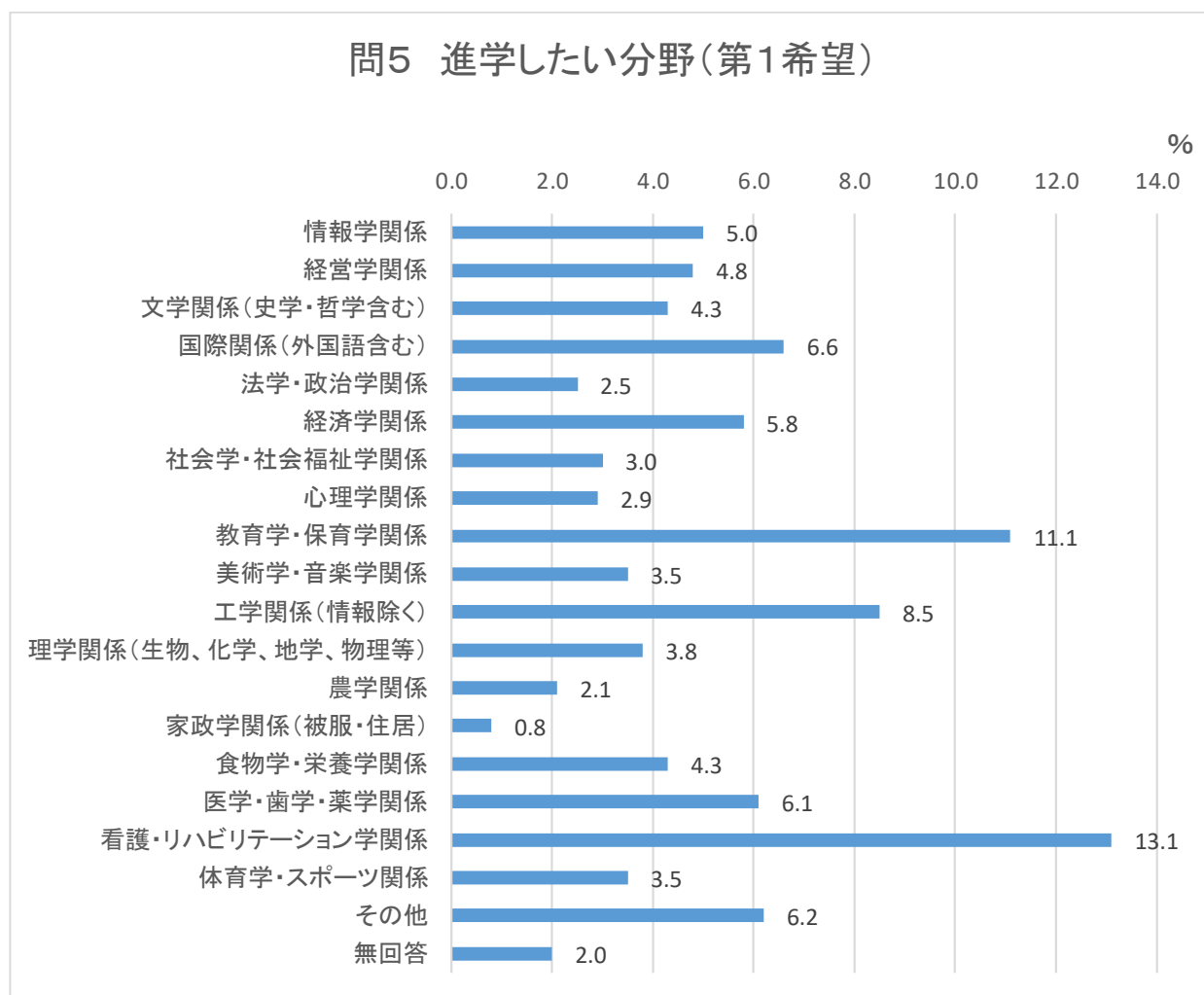
問4 高校卒業後の進路

上段:件数 下段:%	合計	四年制大学進学	専門職大学進学	短期大学進学	専門学校進学	就職	その他	不明
全体	6,381 100.0	3,876 60.7	88 1.4	281 4.4	1,023 16.0	968 15.2	134 2.1	11 0.2
男性	3,060 100.0	2,014 65.8	41 1.3	39 1.3	340 11.1	565 18.5	56 1.8	5 0.2
女性	3,270 100.0	1,831 56.0	46 1.4	241 7.4	677 20.7	396 12.1	75 2.3	4 0.1
不明	51 100.0	31 60.8	1 2.0	1 2.0	6 11.8	7 13.7	3 5.9	2 3.9

(問5以降は、問4で「1 四年制大学進学」「2 専門職大学進学」「3 短期大学進学」「4 専門学校進学」のいずれかを選択した回答者 5,268 人への設問)

問5 あなたが進学したいと考えている分野は何ですか。(第1希望)

- ・第1希望においては「看護・リハビリテーション学関係」691人(13.1%)が最も多く、次いで「教育学・保育学関係」585人(11.1%)、「工学関係(情報除く)」447人(8.5%)と続いている。「情報学関係」は265人(5.0%)となっている。



N=5,268

- ・男女別に見ると、男性回答者においては女性回答者と比較して「工学関係（情報除く）」（男性：16.3%、女性：1.7%）、「経済学関係」（男性：9.8%、女性：2.4%）、「情報学関係」（男性：9.4%、女性：1.2%）の回答率が高い。
- ・他方、女性回答者においては男性回答者と比較して「看護・リハビリテーション学関係」（女性：19.2%、男性：6.0%）、「教育学・保育学関係」（女性：14.7%、男性：7.0%）、「国際関係（外国語含む）」（女性：8.8%、男性：4.0%）の回答率が高い。

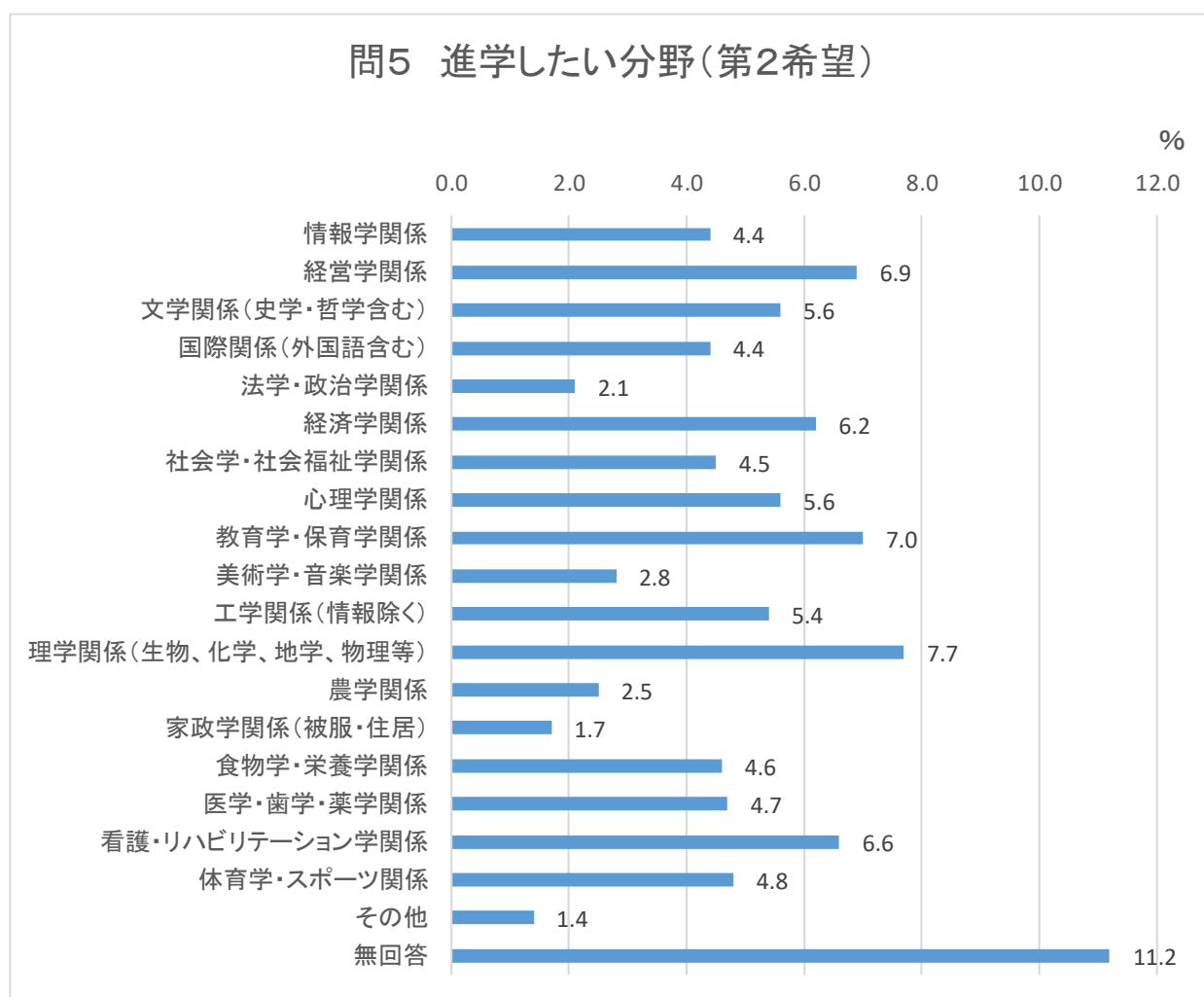
問5 進学したい分野（第1希望）

上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
全体	5,268 100.0	2,434 100.0	2,795 100.0	39 100.0
情報学関係	265 5.0	229 9.4	33 1.2	3 7.7
経営学関係	252 4.8	173 7.1	76 2.7	3 7.7
文学関係（史学・哲学含む）	227 4.3	83 3.4	142 5.1	2 5.1
国際関係（外国語含む）	347 6.6	98 4.0	246 8.8	3 7.7
法学・政治学関係	134 2.5	95 3.9	38 1.4	1 2.6
経済学関係	308 5.8	238 9.8	67 2.4	3 7.7
社会学・社会福祉学関係	158 3.0	69 2.8	88 3.1	1 2.6
心理学関係	151 2.9	35 1.4	116 4.2	0 -
教育学・保育学関係	585 11.1	170 7.0	412 14.7	3 7.7
美術学・音楽学関係	185 3.5	41 1.7	143 5.1	1 2.6
工学関係（情報除く）	447 8.5	397 16.3	48 1.7	2 5.1
理学関係（生物、化学、地学、物理等）	199 3.8	147 6.0	50 1.8	2 5.1
農学関係	109 2.1	60 2.5	49 1.8	0 -
家政学関係（被服・住居）	41 0.8	5 0.2	36 1.3	0 -
食物学・栄養学関係	229 4.3	50 2.1	177 6.3	2 5.1
医学・歯学・薬学関係	323 6.1	121 5.0	201 7.2	1 2.6
看護・リハビリテーション学関係	691 13.1	147 6.0	538 19.2	6 15.4
体育学・スポーツ関係	185 3.5	130 5.3	54 1.9	1 2.6
その他	328 6.2	98 4.0	225 8.1	5 12.8
不明	104 2.0	48 2.0	56 2.0	0 -

※色のついている部分は回答者全体及び各性別の上位3つ

問5 あなたが進学したいと考えている分野は何ですか。(第2希望)

- ・第2希望においては「理学関係（生物、化学、地学、物理等）」405人（7.7%）が最も多く、次いで「教育学・保育学関係」367人（7.0%）、「経営学関係」363人（6.9%）と続いている。「情報学関係」は230人（4.4%）となっている。



N=5, 268

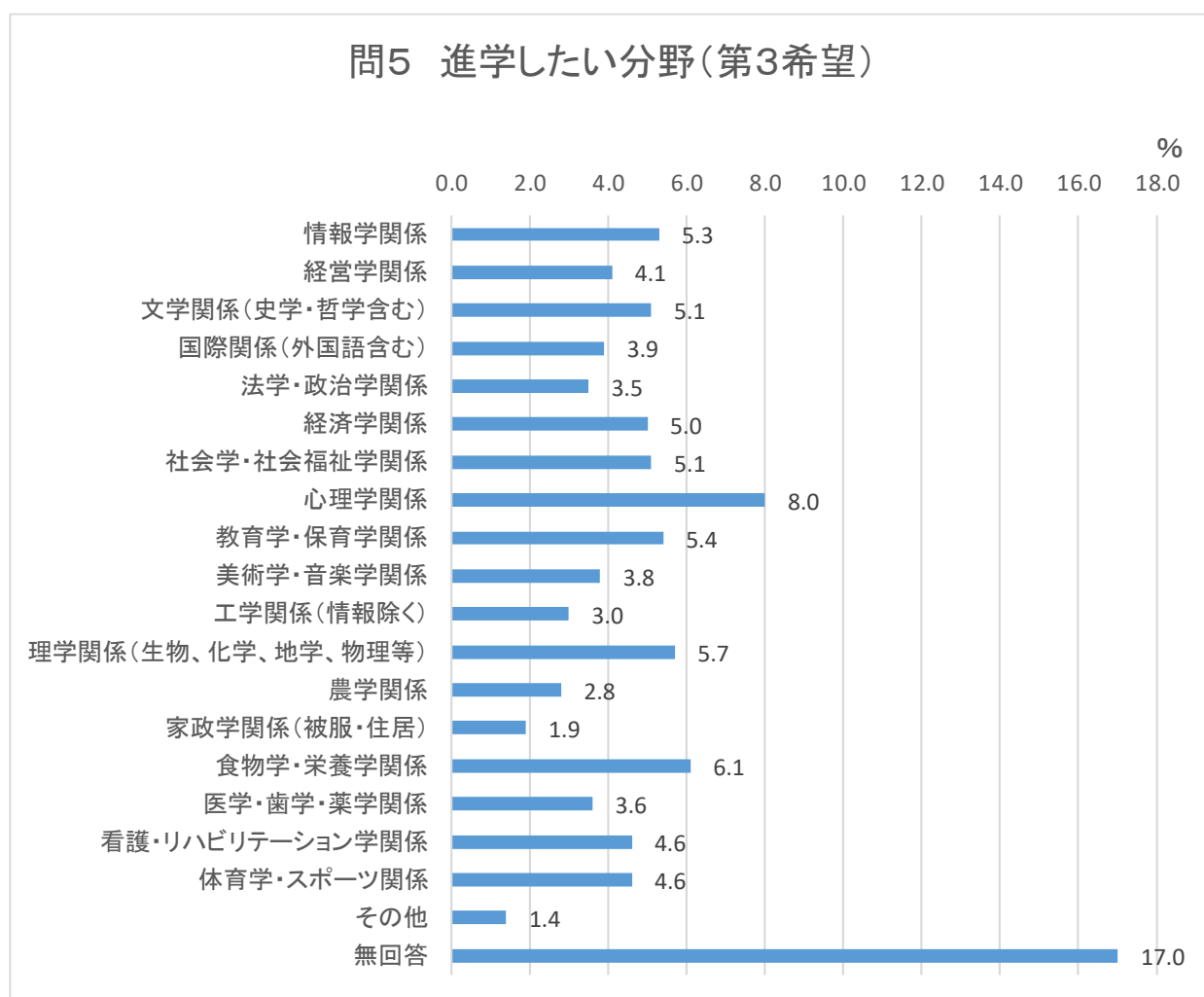
問5 進学したい分野（第2希望）

上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
全体	5,268 100.0	2,434 100.0	2,795 100.0	39 100.0
情報学関係	230 4.4	179 7.4	50 1.8	1 2.6
経営学関係	363 6.9	251 10.3	109 3.9	3 7.7
文学関係（史学・哲学含む）	294 5.6	100 4.1	194 6.9	0 -
国際関係（外国語含む）	230 4.4	77 3.2	150 5.4	3 7.7
法学・政治学関係	110 2.1	68 2.8	40 1.4	2 5.1
経済学関係	326 6.2	217 8.9	105 3.8	4 10.3
社会学・社会福祉学関係	239 4.5	78 3.2	158 5.7	3 7.7
心理学関係	294 5.6	83 3.4	210 7.5	1 2.6
教育学・保育学関係	367 7.0	105 4.3	262 9.4	0 -
美術学・音楽学関係	150 2.8	41 1.7	108 3.9	1 2.6
工学関係（情報除く）	283 5.4	250 10.3	31 1.1	2 5.1
理学関係（生物、化学、地学、物理等）	405 7.7	307 12.6	95 3.4	3 7.7
農学関係	133 2.5	80 3.3	52 1.9	1 2.6
家政学関係（被服・住居）	87 1.7	6 0.2	81 2.9	0 -
食物学・栄養学関係	240 4.6	34 1.4	202 7.2	4 10.3
医学・歯学・薬学関係	250 4.7	66 2.7	183 6.5	1 2.6
看護・リハビリテーション学関係	349 6.6	110 4.5	238 8.5	1 2.6
体育学・スポーツ関係	251 4.8	141 5.8	108 3.9	2 5.1
その他	76 1.4	18 0.7	56 2.0	2 5.1
不明	591 11.2	223 9.2	363 13.0	5 12.8

※色のついている部分は回答者全体及び各性別の上位3つ

問5 あなたが進学したいと考えている分野は何ですか。(第3希望)

- ・第3希望においては「心理学関係」422人(8.0%)が最も多く、次いで「食物学・栄養学関係」320人(6.1%)、「理学関係(生物、化学、地学、物理等)」301人(5.7%)と続いている。「情報学関係」は281人(5.3%)となっている。



N=5,268

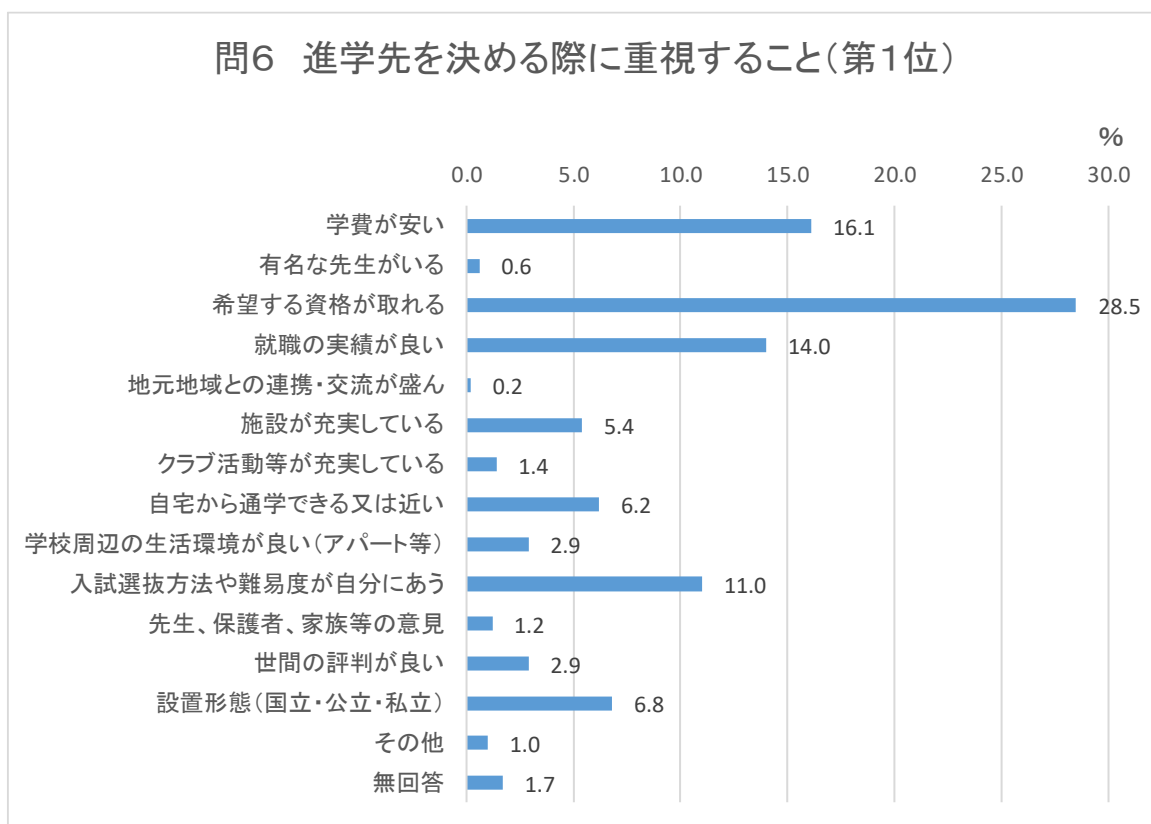
問5 進学したい分野（第3希望）

上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
全体	5,268 100.0	2,434 100.0	2,795 100.0	39 100.0
情報学関係	281 5.3	201 8.3	79 2.8	1 2.6
経営学関係	217 4.1	131 5.4	85 3.0	1 2.6
文学関係（史学・哲学含む）	270 5.1	131 5.4	135 4.8	4 10.3
国際関係（外国語含む）	205 3.9	88 3.6	116 4.2	1 2.6
法学・政治学関係	187 3.5	127 5.2	58 2.1	2 5.1
経済学関係	264 5.0	161 6.6	100 3.6	3 7.7
社会学・社会福祉学関係	270 5.1	117 4.8	153 5.5	0 -
心理学関係	422 8.0	123 5.1	296 10.6	3 7.7
教育学・保育学関係	287 5.4	91 3.7	194 6.9	2 5.1
美術学・音楽学関係	198 3.8	51 2.1	145 5.2	2 5.1
工学関係（情報除く）	159 3.0	127 5.2	30 1.1	2 5.1
理学関係（生物、化学、地学、物理等）	301 5.7	230 9.4	70 2.5	1 2.6
農学関係	147 2.8	103 4.2	43 1.5	1 2.6
家政学関係（被服・住居）	100 1.9	11 0.5	89 3.2	0 -
食物学・栄養学関係	320 6.1	82 3.4	235 8.4	3 7.7
医学・歯学・薬学関係	189 3.6	87 3.6	101 3.6	1 2.6
看護・リハビリテーション学関係	242 4.6	76 3.1	165 5.9	1 2.6
体育学・スポーツ関係	241 4.6	131 5.4	108 3.9	2 5.1
その他	72 1.4	26 1.1	46 1.6	0 -
不明	896 17.0	340 14.0	547 19.6	9 23.1

※色のついている部分は回答者全体及び各性別の上位3つ

問6 あなたが進学先を決める場合に、学部・学科（内容）以外に重視するものを、次の中から優先順位第3位まで選んでください。（第1位）

- ・「希望する資格が取れる」1,503人（28.5%）が最も多く、次いで「学費が安い」849人（16.1%）、
「就職の実績が良い」738人（14.0%）となっている。



N=5,268

- ・男女別に見ると、男性回答者においては女性回答者と比較して「就職の実績が良い」（男性：16.9%、女性：11.5%）の回答率が高い。
- ・他方、女性回答者においては男性回答者と比較して「希望する資格が取れる」（女性：35.6%、男性：20.3%）の回答率が高い。

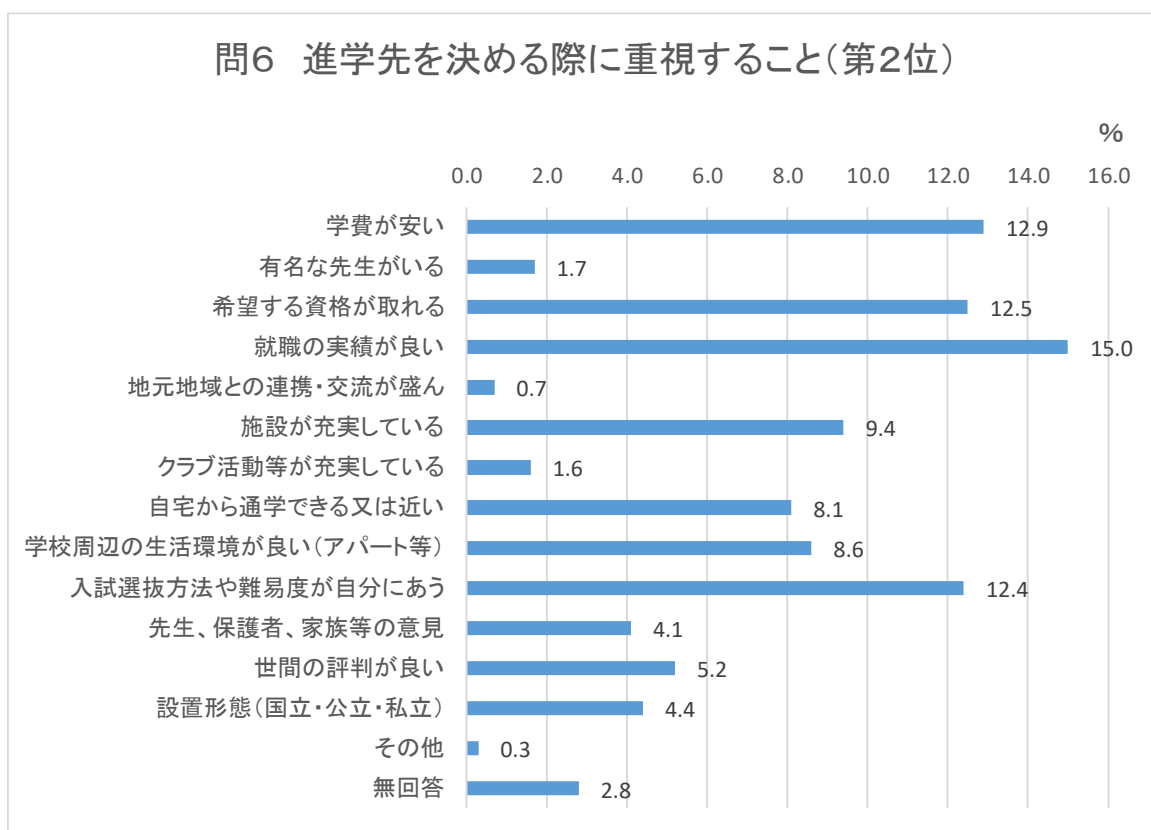
問6 進学先を決める際に重視すること（第1位）

上段：件数 下段：%	合計	男性	女性	不明
全体	5,268 100.0	2,434 100.0	2,795 100.0	39 100.0
学費が安い	849 16.1	443 18.2	396 14.2	10 25.6
有名な先生がいる	34 0.6	21 0.9	13 0.5	0 -
希望する資格が取れる	1,503 28.5	495 20.3	995 35.6	13 33.3
就職の実績が良い	738 14.0	411 16.9	322 11.5	5 12.8
地元地域との連携・交流が盛ん	12 0.2	7 0.3	5 0.2	0 -
施設が充実している	283 5.4	160 6.6	120 4.3	3 7.7
クラブ活動等が充実している	75 1.4	59 2.4	16 0.6	0 -
0	325 6.2	147 6.0	177 6.3	1 2.6
学校周辺の生活環境が良い （アパート等）	154 2.9	77 3.2	75 2.7	2 5.1
入試選抜方法や難易度が自分 にあう	582 11.0	268 11.0	312 11.2	2 5.1
先生、保護者、家族等の意見	64 1.2	20 0.8	44 1.6	0 -
世間の評判が良い	153 2.9	85 3.5	66 2.4	2 5.1
設置形態（国立・公立・私 立）	358 6.8	186 7.6	172 6.2	0 -
その他	51 1.0	18 0.7	32 1.1	1 2.6
不明	87 1.7	37 1.5	50 1.8	0 -

※ 色のついている部分は回答者全体及び各性別の上位3つ

問6 あなたが進学先を決める場合に、学部・学科（内容）以外に重視するものを、次の中から優先順位第3位まで選んでください。（第2位）

- ・「就職の実績が良い」791人（15.0%）が最も多く、次いで「学費が安い」682人（12.9%）、「希望する資格が取れる」660人（12.5%）となっている。



N=5,268

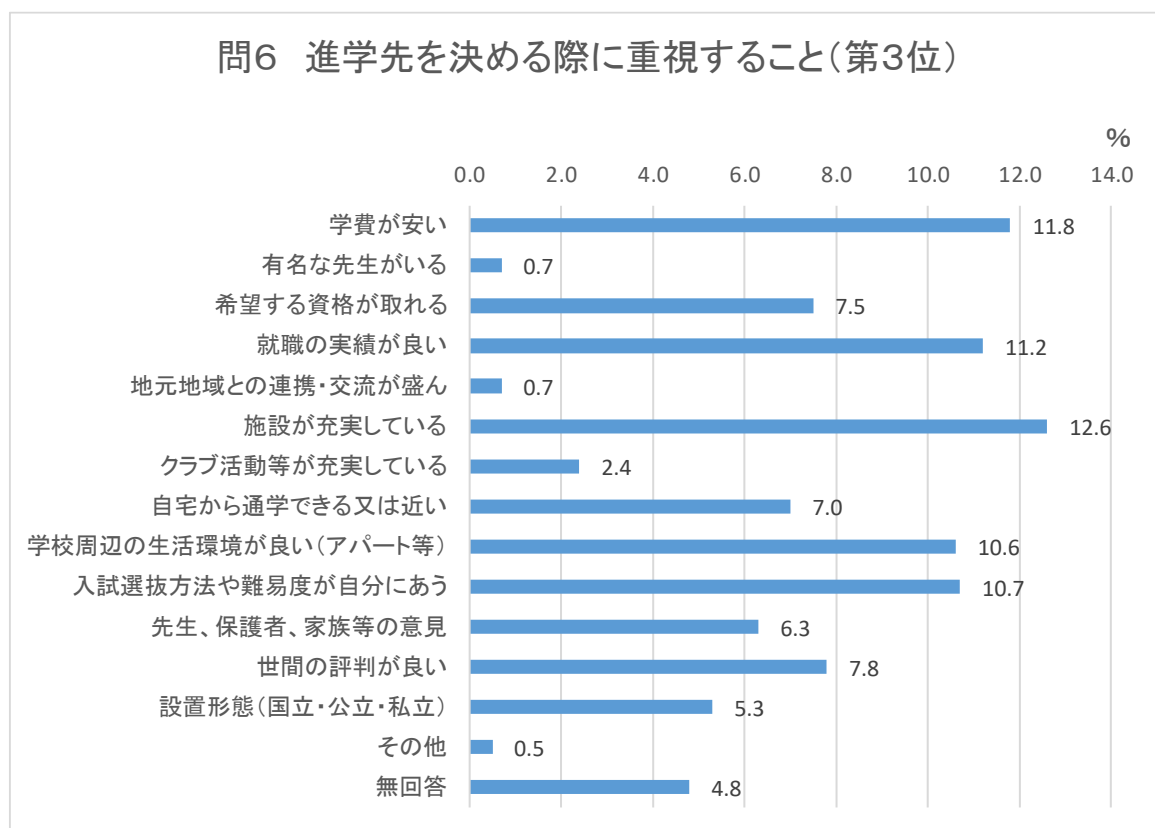
問6 進学先を決める際に重視すること（第2位）

上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
全体	5,268 100.0	2,434 100.0	2,795 100.0	39 100.0
学費が安い	682 12.9	312 12.8	365 13.1	5 12.8
有名な先生がいる	88 1.7	61 2.5	26 0.9	1 2.6
希望する資格が取れる	660 12.5	273 11.2	383 13.7	4 10.3
就職の実績が良い	791 15.0	359 14.7	425 15.2	7 17.9
地元地域との連携・交流が盛ん	38 0.7	12 0.5	26 0.9	0 -
施設が充実している	497 9.4	236 9.7	258 9.2	3 7.7
クラブ活動等が充実している	85 1.6	51 2.1	33 1.2	1 2.6
自宅から通学できる又は近い	429 8.1	193 7.9	233 8.3	3 7.7
学校周辺の生活環境が良い (アパート等)	453 8.6	223 9.2	226 8.1	4 10.3
入試選抜方法や難易度が自分 にあう	654 12.4	291 12.0	359 12.8	4 10.3
先生、保護者、家族等の意見	216 4.1	81 3.3	133 4.8	2 5.1
世間の評判が良い	275 5.2	158 6.5	115 4.1	2 5.1
設置形態(国立・公立・私立)	234 4.4	107 4.4	127 4.5	0 -
その他	16 0.3	7 0.3	9 0.3	0 -
不明	150 2.8	70 2.9	77 2.8	3 7.7

※ 色のついている部分は回答者全体及び各性別の上位3つ

問6 あなたが進学先を決める場合に、学部・学科（内容）以外に重視するものを、次の中から優先順位第3位まで選んでください。（第3位）

- ・「施設が充実している」666人（12.6%）が最も多く、次いで「学費が安い」624人（11.8%）、「就職の実績が良い」589人（11.2%）となっている。



N=5,268

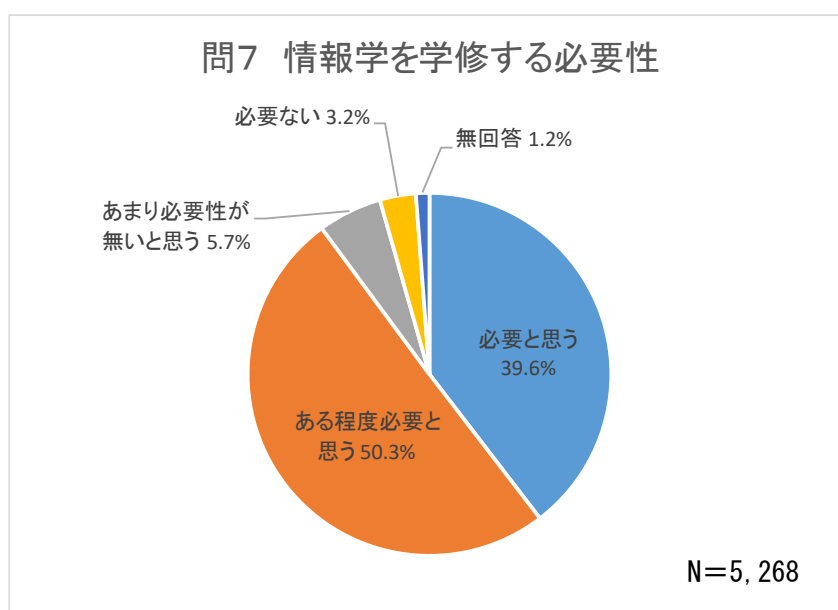
問6 進学先を決める際に重視すること（第3位）

上段:件数 下段:%	合計	男性	女性	不明
全体	5,268 100.0	2,434 100.0	2,795 100.0	39 100.0
学費が安い	624 11.8	280 11.5	339 12.1	5 12.8
有名な先生がいる	38 0.7	18 0.7	19 0.7	1 2.6
希望する資格が取れる	397 7.5	191 7.8	203 7.3	3 7.7
就職の実績が良い	589 11.2	263 10.8	324 11.6	2 5.1
地元地域との連携・交流が盛ん	37 0.7	14 0.6	23 0.8	0 -
施設が充実している	666 12.6	308 12.7	354 12.7	4 10.3
クラブ活動等が充実している	126 2.4	63 2.6	63 2.3	0 -
自宅から通学できる又は近い	368 7.0	154 6.3	213 7.6	1 2.6
学校周辺の生活環境が良い (アパート等)	557 10.6	277 11.4	275 9.8	5 12.8
入試選抜方法や難易度が自分 にあう	565 10.7	247 10.1	316 11.3	2 5.1
先生、保護者、家族等の意見	332 6.3	136 5.6	192 6.9	4 10.3
世間の評判が良い	413 7.8	200 8.2	207 7.4	6 15.4
設置形態(国立・公立・私 立)	278 5.3	144 5.9	132 4.7	2 5.1
その他	27 0.5	11 0.5	16 0.6	0 -
不明	251 4.8	128 5.3	119 4.3	4 10.3

※ 色のついている部分は回答者全体及び各性別の上位3つ

問7 情報学分野に関する質問です。今後の経済社会では、行政、医療、金融、観光、ものづくりなどあらゆる分野で情報技術やデータサイエンス、AI（人工知能）の活用が必要とされています。将来社会で活躍するために情報学を学修する必要があると思いますか。

- ・「必要と思う」2,088人（39.6%）、「ある程度必要と思う」2,648人（50.3%）となっている。
- ・「必要と思う」「ある程度必要と思う」を合計すると89.9%の回答者が情報学を学修する必要性を感じている。また、男女ともに必要性を感じている回答者が多い。

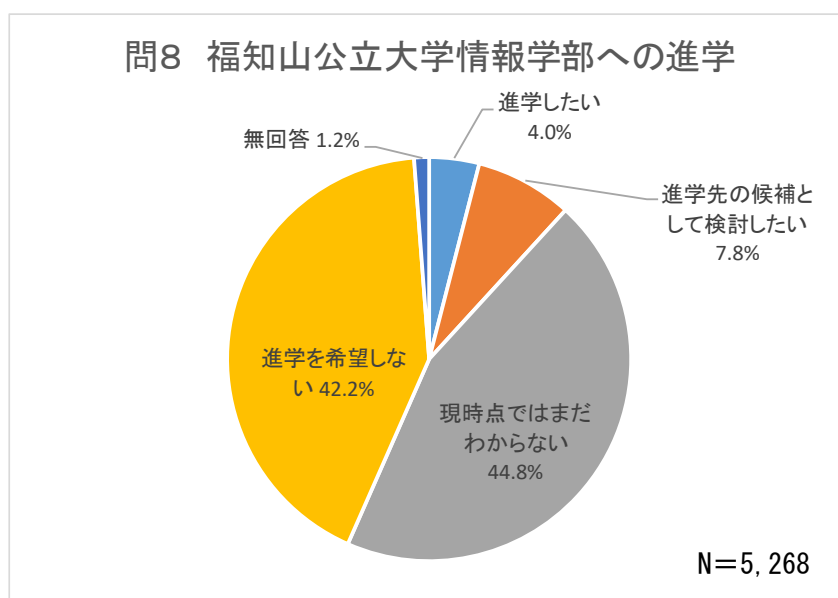


問7 情報学を学修する必要性

上段:件数 下段:%	合計	必要と思う	ある程度必要と思う	あまり必要性が無いと思う	必要ない	不明
全体	5,268 100.0	2,088 39.6	2,648 50.3	299 5.7	168 3.2	65 1.2
男性	2,434 100.0	1,114 45.8	1,072 44.0	131 5.4	88 3.6	29 1.2
女性	2,795 100.0	955 34.2	1,560 55.8	164 5.9	80 2.9	36 1.3
不明	39 100.0	19 48.7	16 41.0	4 10.3	0 -	0 -

問8 福知山公立大学情報学部は、文系・理系問わず、情報技術やデータサイエンスやAI（人工知能）に関する専門知識と、地域での現地調査等を通じて実践的な能力を身に付け、新しい価値を創造し地域に貢献する人材の育成を目指します。このような学部ができた場合、進学したいと思いますか。

- ・「進学したい」209人（4.0%）、「進学先の候補として検討したい」412人（7.8%）となっている。
- ・「進学したい」と回答した209名のみで本学情報学部の入学定員100名を大きく超える結果となった。

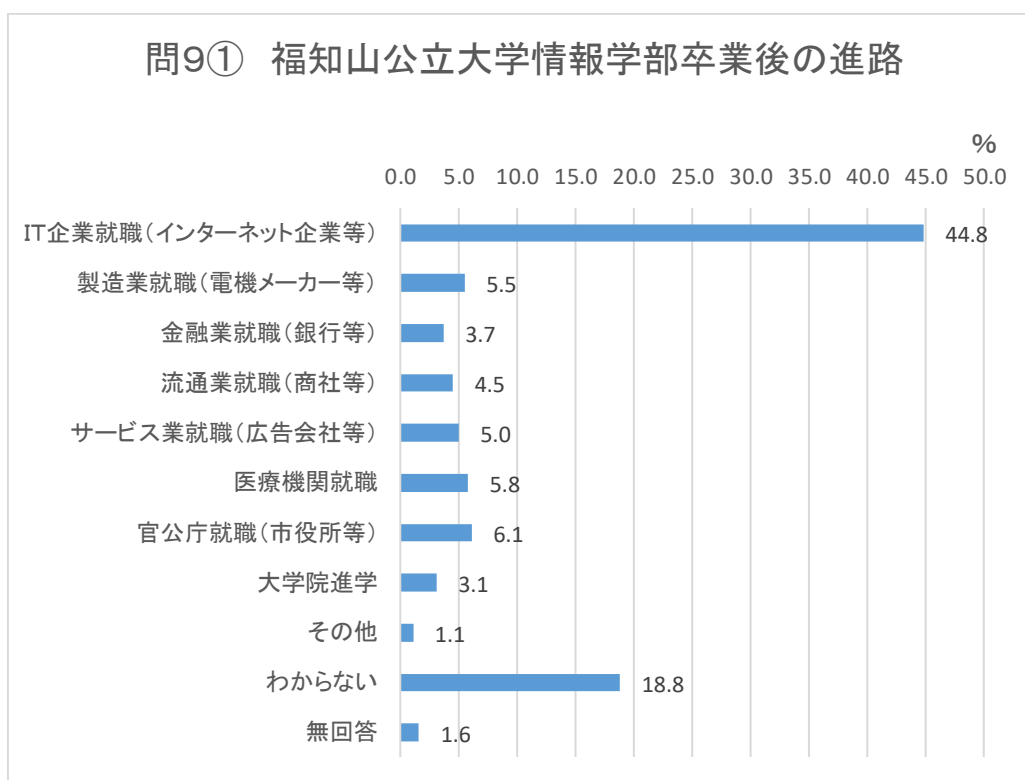


問8 福知山公立大学情報学部への進学

上段:件数 下段:%	合計	進学したい	進学先の候補として検討したい	現時点ではまだわからない	進学を希望しない	不明
全体	5,268	209	412	2,361	2,221	65
	100.0	4.0	7.8	44.8	42.2	1.2
男性	2,434	161	299	1,157	788	29
	100.0	6.6	12.3	47.5	32.4	1.2
女性	2,795	45	112	1,189	1,413	36
	100.0	1.6	4.0	42.5	50.6	1.3
不明	39	3	1	15	20	0
	100.0	7.7	2.6	38.5	51.3	-

問9① 問8において福知山公立大学情報学部を「1 進学したい」もしくは「2 進学先の候補として検討したい」を選んでいただいた方におたずねします。福知山公立大学情報学部を卒業後に①どのような進路を目指しますか。

- ・回答者のうち 278 人 (44.8%) が「IT企業就職 (インターネット企業等)」を選択している。特に男性回答者においては「IT企業就職 (インターネット企業等)」の回答率が5割を超えている (次頁参照)。



N=621

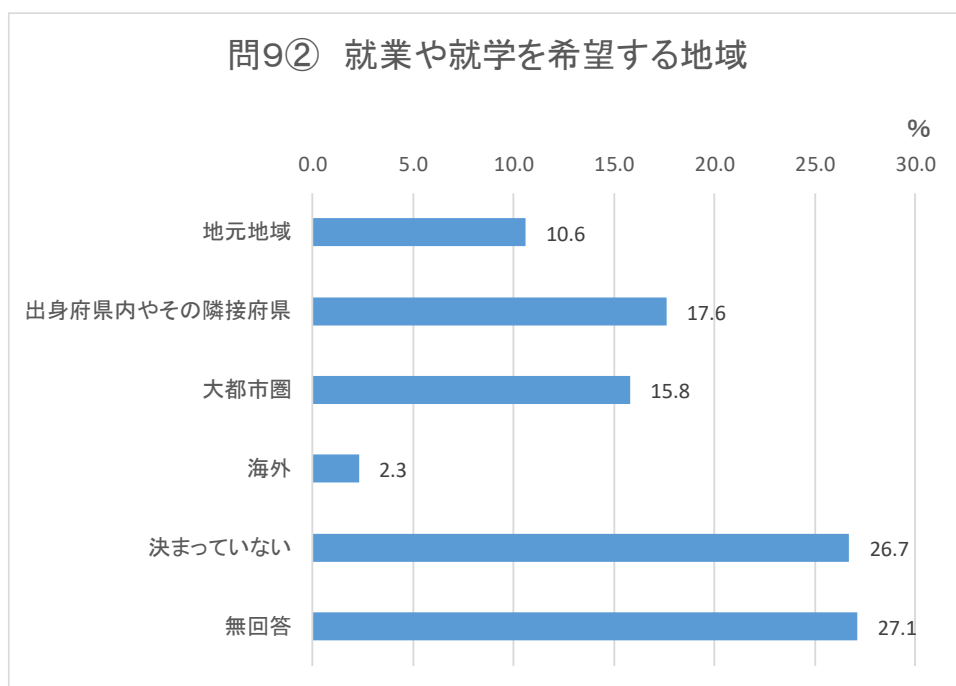
問9① 福知山公立大学情報学部卒業後の進路

上段:度数 下段:%	合計	男性	女性	不明
全体	621 100.0	460 100.0	157 100.0	4 100.0
I T企業就職（インターネット企業等）	278 44.8	233 50.7	43 27.4	2 50.0
製造業就職（電機メーカー等）	34 5.5	31 6.7	3 1.9	- -
金融業就職（銀行等）	23 3.7	18 3.9	5 3.2	- -
流通業就職（商社等）	28 4.5	22 4.8	6 3.8	- -
サービス業就職（広告会社等）	31 5.0	12 2.6	19 12.1	- -
医療機関就職	36 5.8	19 4.1	16 10.2	1 25.0
官公庁就職（市役所等）	38 6.1	25 5.4	13 8.3	- -
大学院進学	19 3.1	16 3.5	3 1.9	- -
その他	7 1.1	4 0.9	2 1.3	1 25.0
わからない	117 18.8	73 15.9	44 28.0	- -
不明	10 1.6	7 1.5	3 1.9	- -

※ 色のついている部分は回答者全体及び各性別の上位3つ

問9② 問8において福知山公立大学情報学部を「1 進学したい」もしくは「2 進学先の候補として検討したい」を選んでいただいた方におたずねします。福知山公立大学情報学部を卒業後に②どの地域での就業や就学を希望されますか。

- ・「決まっていない」166人（26.7%）が最も多く、次いで「出身府県内やその隣接府県」109人（17.6%）、「大都市圏」98人（15.8%）となっている。



N=621

問9② 就業や就学を希望する地域

上段:件数 下段:%	合計	地元地域	出身府県内やその隣接府県	大都市圏	海外	決まっていない	不明
全体	621 100.0	66 10.6	109 17.6	98 15.8	14 2.3	166 26.7	168 27.1
男性	460 100.0	51 11.1	75 16.3	72 15.7	12 2.6	127 27.6	123 26.7
女性	157 100.0	15 9.6	34 21.7	26 16.6	2 1.3	38 24.2	42 26.8
不明	4 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	1 25.0	3 75.0

※ 色のついている部分は回答者全体及び各性別の上位3つ

【参考】問7 情報学を学修する必要性 × 問8 福知山公立大学情報学部への進学

- ・問7において情報学の学修を「必要と思う」と回答した2,088人のうち、問8で福知山公立大学情報学部へ「進学したい」と回答した高校生は168人となっており、情報学の学修の必要性を強く感じている回答者に限定しても、本学情報学部への進学希望者は本学部入学定員100名を大きく超える結果となった。

問7 情報学を学修する必要性 × 問8 福知山公立大学情報学部への進学

上段:件数 下段:%		問8 福知山公立大学情報学部への進学					
		合計	進学したい	進学先の候補として検討したい	現時点ではまだわからない	進学を希望しない	不明
問7 情報学を学修する必要性	全体	5,268	209	412	2,361	2,221	65
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	必要と思う	2,088	168	255	951	708	6
		39.6	80.4	61.9	40.3	31.9	9.2
	ある程度必要と思う	2,648	30	141	1,294	1,179	4
		50.3	14.4	34.2	54.8	53.1	6.2
	あまり必要性が無いと思う	299	5	14	89	190	1
	5.7	2.4	3.4	3.8	8.6	1.5	
必要ない	168	5	2	22	138	1	
	3.2	2.4	0.5	0.9	6.2	1.5	
不明	65	1	0	5	6	53	
	1.2	0.5	-	0.2	0.3	81.5	

平成30年度実施した平成32年度設置構想中の
福知山公立大学情報学部情報学科に関する
高等学校教員へのアンケート調査結果

平成 31 年 1 月

〈アンケートの概要〉

1. アンケート調査の目的

福知山公立大学が平成 32 年度設置構想中の情報学部情報学科に関して、高等学校教員の意向を把握するために、北近畿地域をはじめ志願実績等を対象にアンケート調査を実施した。

2. 実施アンケート

「福知山公立大学情報学部情報学科（仮称）設置構想に関するアンケート調査」

3. 調査対象

以下の（1）～（4）の高等学校 1,043 校を対象とした。

- （1）北近畿地域（京都府北部および兵庫県北部）とその周辺地域（京都府中北部、兵庫県中部、福井県嶺南地方）に所在する 63 校
- （2）（1）を除く京都府内の全高等学校
- （3）過去 2 年間の本学の志願実績校
- （4）国公立大学で同系統の情報学部を設置する以下の 4 県にあり、その県内で四年制大学への進学実績の高い高等学校
 - ・ 静岡県（静岡大学 情報学部を設置）
 - ・ 滋賀県（滋賀大学 データサイエンス学部を設置）
 - ・ 兵庫県（兵庫県立大学 社会情報学部を設置予定）
 - ・ 広島県（広島大学 情報科学部を設置）

4. 調査時期

平成 30 年 11 月から 12 月にかけて実施した。

5. 調査方法

（1）に該当する高等学校に関しては訪問を中心として依頼し、他の高等学校については郵送にて依頼を行った。アンケート調査票の回収および集計については福知山公立大学事務局で行った。

6. 回収状況

対象校 1,043 校のうち 332 校からの回答を得た。（回収率 31.8%）

問1 普通科の高等学校のみ回答してください。2018年5月現在の2年生の生徒数、文系と理系の人数を記入してください。(概数でも結構です)

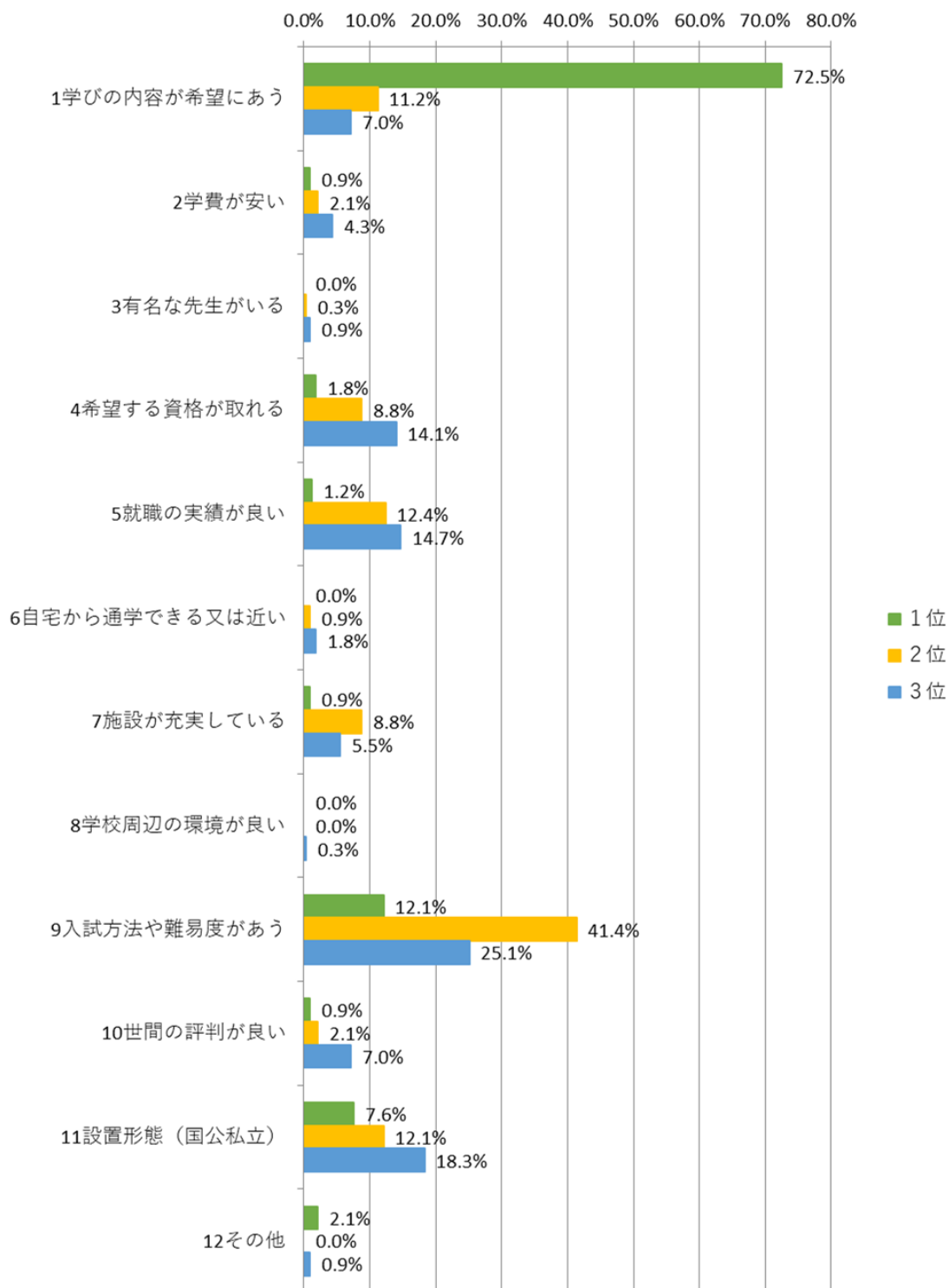
高校の個別情報につき省略する。

問2 2017年度卒業生の大学進学実績数等について伺います。国公立大学進学者および私立大学進学者（短期大学は除く）の卒業生数に対する比率もしくは実数を記入してください。

高校の個別情報につき省略する。

問3 進路を指導・選択される際に、①先生が重視する事項、②生徒が重視する（と考えられる）事項、③保護者が重視する（と考えられる）事項を、次の中から各優先順位第3位まで選んでください。

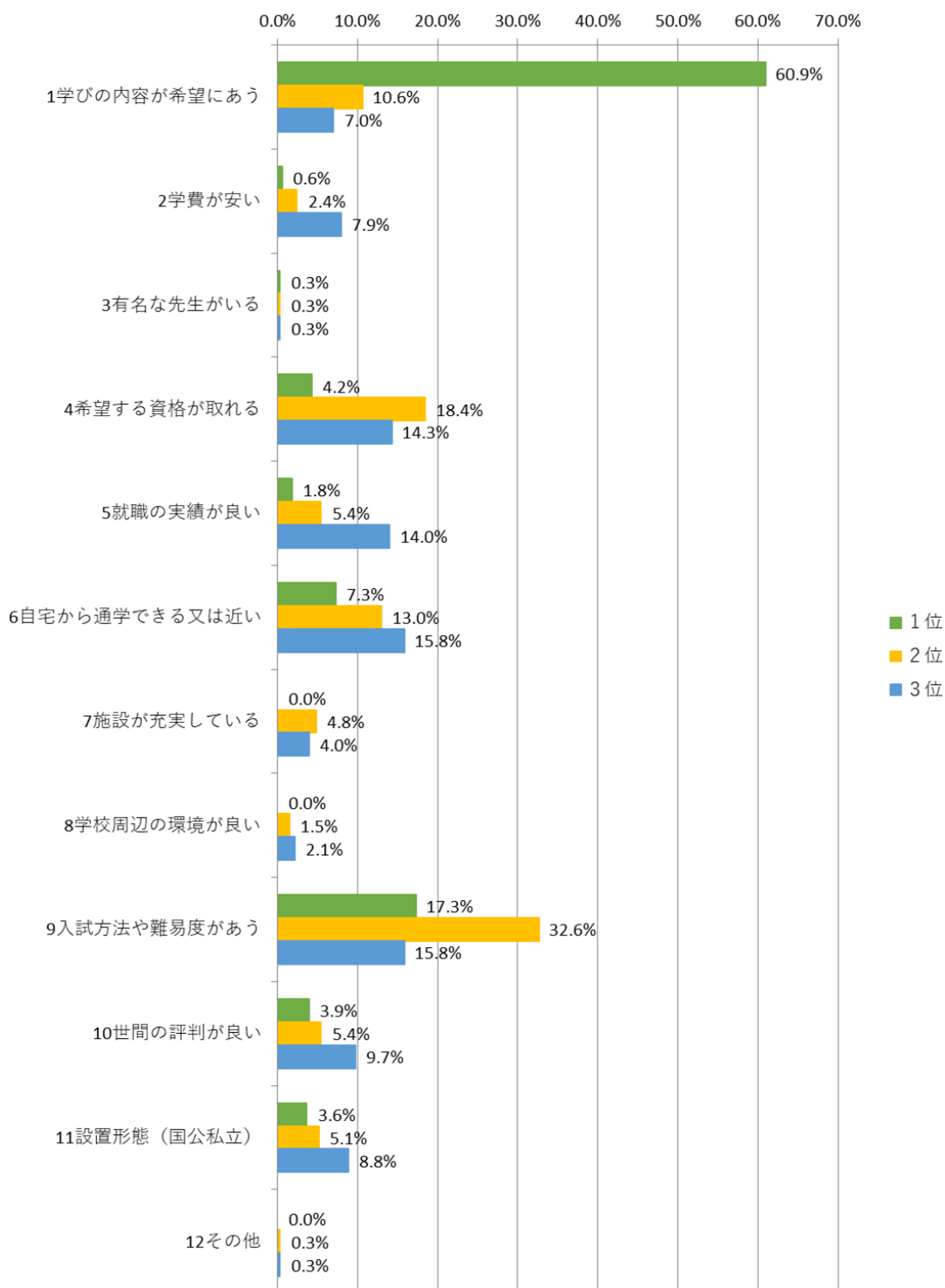
■①先生が重視する事項



事項	1位		2位		3位	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
1 学びの内容が希望にあう	240名	72.5%	37名	11.2%	23名	7.0%
2 学費が安い	3名	0.9%	7名	2.1%	14名	4.3%
3 有名な先生がいる	0名	0.0%	1名	0.3%	3名	0.9%
4 希望する資格が取れる	6名	1.8%	29名	8.8%	46名	14.1%
5 就職の実績が良い	4名	1.2%	41名	12.4%	48名	14.7%
6 自宅から通学できる又は近い	0名	0.0%	3名	0.9%	6名	1.8%
7 施設が充実している	3名	0.9%	29名	8.8%	18名	5.5%
8 学校周辺の環境が良い	0名	0.0%	0名	0.0%	1名	0.3%
9 入試方法や難易度があう	40名	12.1%	137名	41.4%	82名	25.1%
10 世間の評判が良い	3名	0.9%	7名	2.1%	23名	7.0%
11 設置形態（国公立）	25名	7.6%	40名	12.1%	60名	18.3%
12 その他	7名	2.1%	0名	0.0%	3名	0.9%
全体	331名	100.0%	331名	100.0%	327名	100.0%

問3 進路を指導・選択される際に、①先生が重視する事項、②生徒が重視する（と考えられる）事項、③保護者が重視する（と考えられる）事項を、次の中から各優先順位第3位まで選んでください。

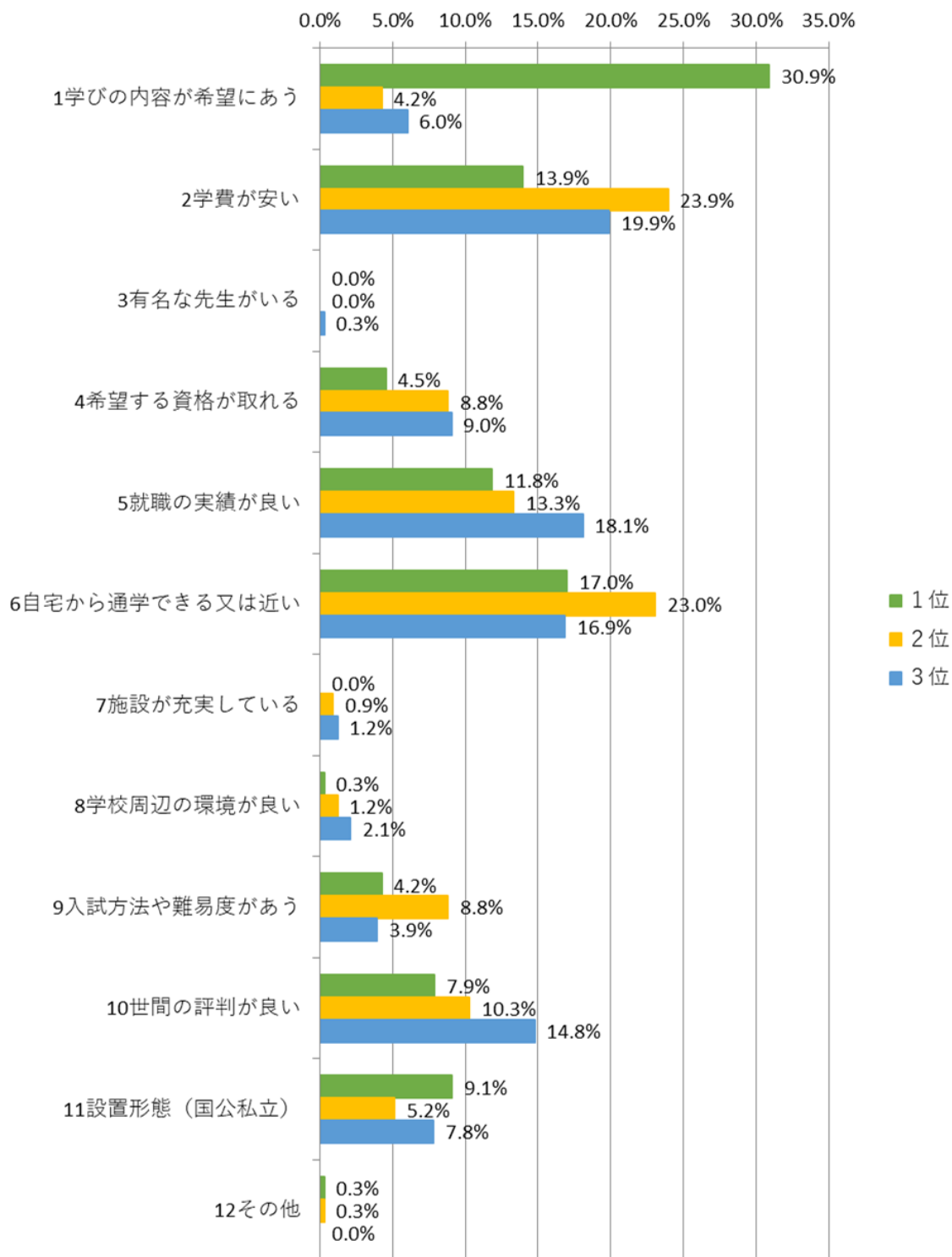
■②生徒が重視する（と考えられる）事項



事項	1位		2位		3位	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
1 学びの内容が希望にあう	201名	60.9%	35名	10.6%	23名	7.0%
2 学費が安い	2名	0.6%	8名	2.4%	26名	7.9%
3 有名な先生がいる	1名	0.3%	1名	0.3%	1名	0.3%
4 希望する資格が取れる	14名	4.2%	61名	18.4%	47名	14.3%
5 就職の実績が良い	6名	1.8%	18名	5.4%	46名	14.0%
6 自宅から通学できる又は近い	24名	7.3%	43名	13.0%	52名	15.8%
7 施設が充実している	0名	0.0%	16名	4.8%	13名	4.0%
8 学校周辺の環境が良い	0名	0.0%	5名	1.5%	7名	2.1%
9 入試方法や難易度があう	57名	17.3%	108名	32.6%	52名	15.8%
10 世間の評判が良い	13名	3.9%	18名	5.4%	32名	9.7%
11 設置形態（国公立）	12名	3.6%	17名	5.1%	29名	8.8%
12 その他	0名	0.0%	1名	0.3%	1名	0.3%
全体	330名	100.0%	331名	100.0%	329名	100.0%

問3 進路を指導・選択される際に、①先生が重視する事項、②生徒が重視する（と考えられる）事項、③保護者が重視する（と考えられる）事項を、次の中から各優先順位第3位まで選んでください。

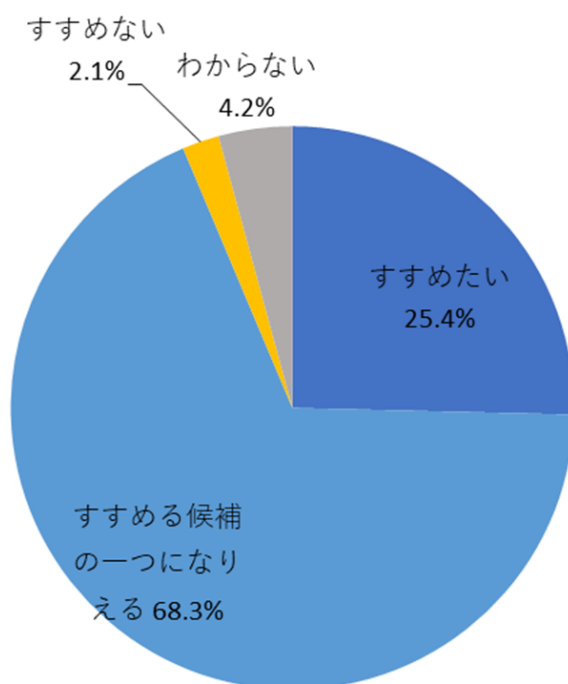
■③保護者が重視する（と考えられる）事項



事項	1位		2位		3位	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
1 学びの内容が希望にあう	102名	30.9%	14名	4.2%	20名	6.0%
2 学費が安い	46名	13.9%	79名	23.9%	66名	19.9%
3 有名な先生がいる	0名	0.0%	0名	0.0%	1名	0.3%
4 希望する資格が取れる	15名	4.5%	29名	8.8%	30名	9.0%
5 就職の実績が良い	39名	11.8%	44名	13.3%	60名	18.1%
6 自宅から通学できる又は近い	56名	17.0%	76名	23.0%	56名	16.9%
7 施設が充実している	0名	0.0%	3名	0.9%	4名	1.2%
8 学校周辺の環境が良い	1名	0.3%	4名	1.2%	7名	2.1%
9 入試方法や難易度があう	14名	4.2%	29名	8.8%	13名	3.9%
10 世間の評判が良い	26名	7.9%	34名	10.3%	49名	14.8%
11 設置形態（国公立）	30名	9.1%	17名	5.2%	26名	7.8%
12 その他	1名	0.3%	1名	0.3%	0名	0.0%
全体	330名	100.0%	330名	100.0%	332名	100.0%

問4 近年は医療、金融、観光、ものづくりなどあらゆる分野で情報技術やデータサイエンス、AI（人工知能）の活用が進んでいると言われています。こういった情報活用の人材を育成するような学修について、他大学を含めて、①生徒に対して進学をすすめますか、また②生徒は興味を持つと考えられますか、次の中から各1つだけ選んでください。

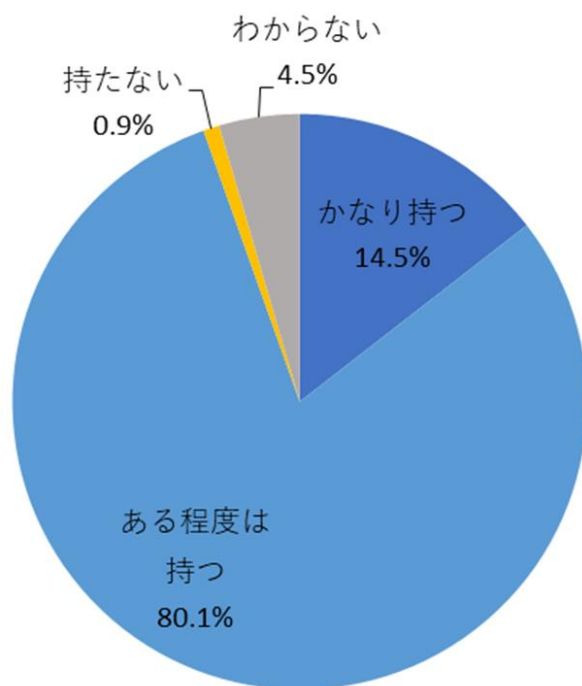
■①生徒に対して進学を



事項	回答者	割合
1 すすめたい	84名	25.4%
2 すすめる候補の一つになりえる	226名	68.3%
3 すすめない	7名	2.1%
4 わからない	14名	4.2%
総計	331名	100.0%

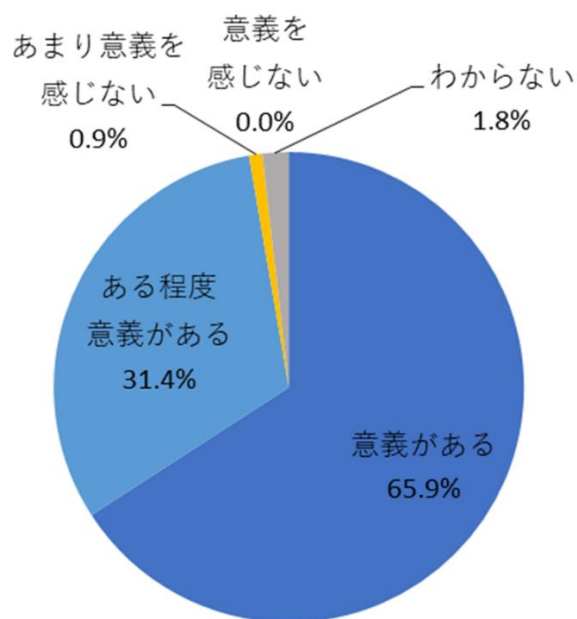
問4 近年は医療、金融、観光、ものづくりなどあらゆる分野で情報技術やデータサイエンス、AI（人工知能）の活用が進んでいると言われます。こういった情報活用の人材を育成するような学修について、他大学を含めて、①生徒に対して進学をすすめますか、また②生徒は興味を持つと考えられますか、次の中から各1つだけ選んでください。

■②生徒は興味を



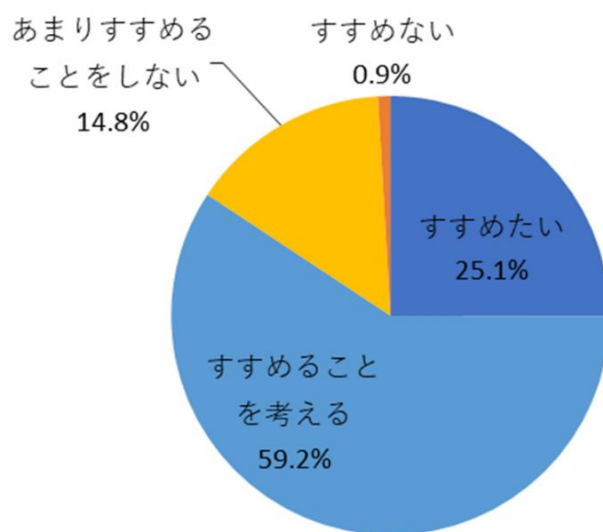
事項	回答者数	割合
1 かなり持つ	48名	14.5%
2 ある程度は持つ	265名	80.1%
3 持たない	3名	0.9%
4 わからない	15名	4.5%
総計	331名	100.0%

問5 福知山公立大学情報学部は、文系・理系を問わず、情報技術を用いて地域社会で新しい価値を創造できる人材の育成を目指しています。そのために情報に関する専門知識や技術の修得に加え、地域社会への現地調査等を通じて、地域課題の解決プロセスと理論を理解する実践的な教育手法を導入します。このような教育手法は意義のあることだと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。



事項	回答者数	割合
1 意義がある	218 名	65.9%
2 ある程度意義がある	104 名	31.4%
3 あまり意義を感じない	3 名	0.9%
4 意義を感じない	0 名	0.0%
5 わからない	6 名	1.8%
総計	331 名	100.0%

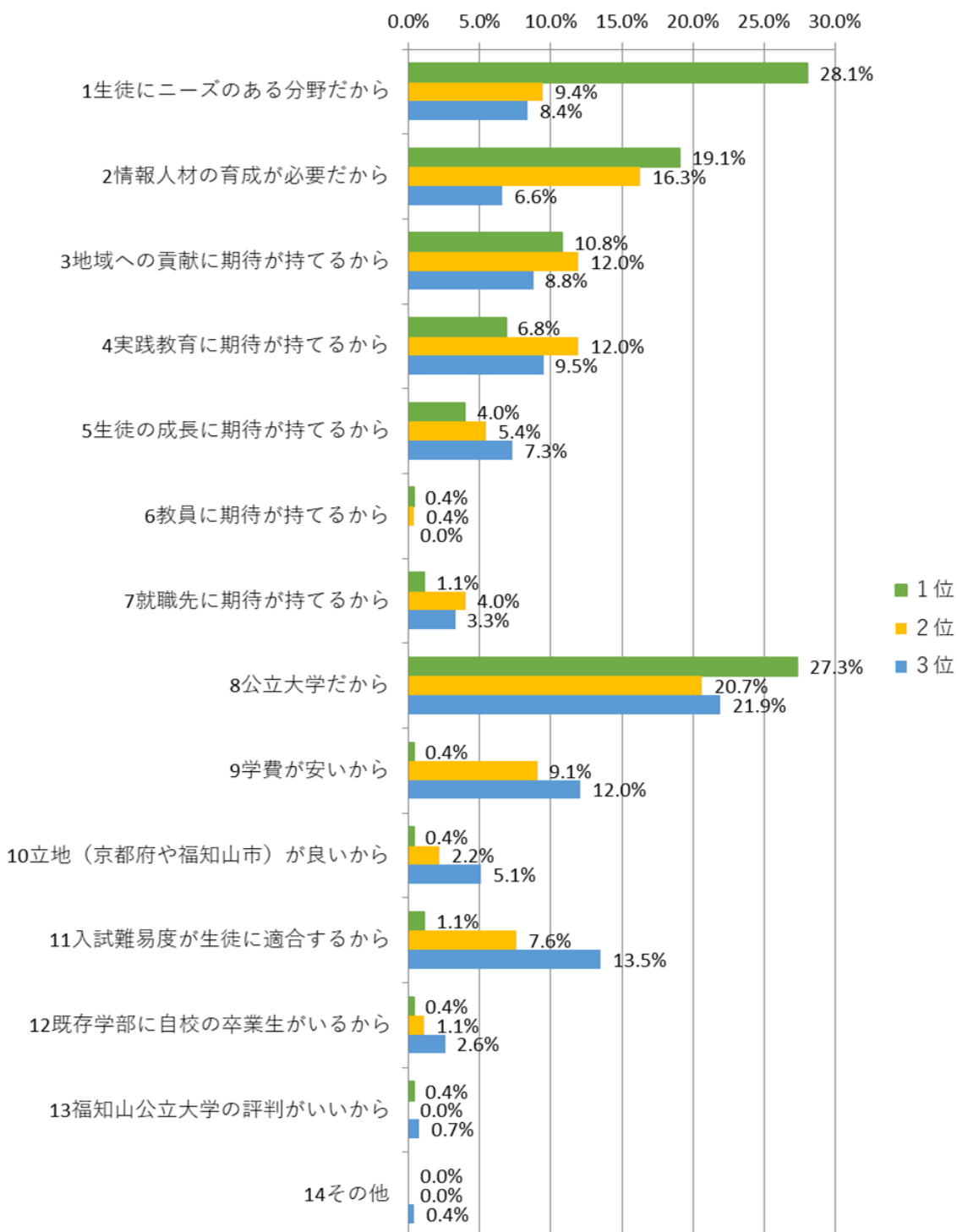
問6 生徒に福知山公立大学情報学部を進学先の候補の一つとしてすすめたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。



事項	回答者数	割合
1 すすめたい	83 名	25.1%
2 すすめることを考える	196 名	59.2%
3 あまりすすめることをしない	49 名	14.8%
4 すすめない	3 名	0.9%
総計	331 名	100.0%

問7 問6において「1 すすめたい」もしくは「2 すずめることを考える」と記入していただいた方は、①～③について回答をお願い致します。

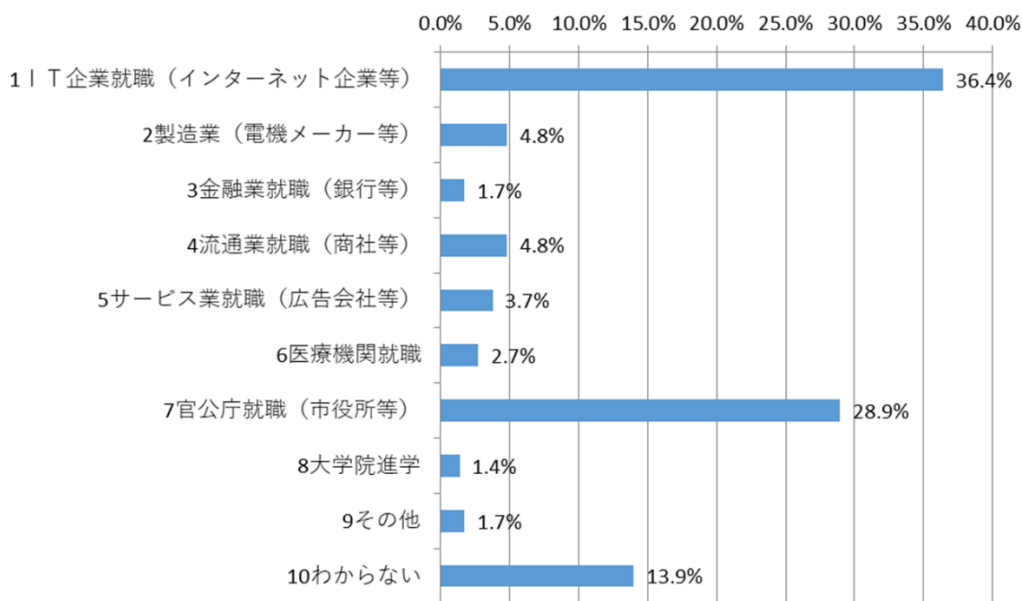
■①福知山公立大学情報学部をすすめていただける理由について、次の中から、上位3位までを記入してください。



事項	1位		2位		3位	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
1 生徒にニーズのある分野だから	78名	28.1%	26名	9.4%	23名	8.4%
2 情報人材の育成が必要だから	53名	19.1%	45名	16.3%	18名	6.6%
3 地域への貢献に期待が持てるから	30名	10.8%	33名	12.0%	24名	8.8%
4 実践教育に期待が持てるから	19名	6.8%	33名	12.0%	26名	9.5%
5 生徒の成長に期待が持てるから	11名	4.0%	15名	5.4%	20名	7.3%
6 教員に期待が持てるから	1名	0.4%	1名	0.4%	0名	0.0%
7 就職先に期待が持てるから	3名	1.1%	11名	4.0%	9名	3.3%
8 公立大学だから	76名	27.3%	57名	20.7%	60名	21.9%
9 学費が安いから	1名	0.4%	25名	9.1%	33名	12.0%
10 立地（京都府や福知山市）が良いから	1名	0.4%	6名	2.2%	14名	5.1%
11 入試難易度が生徒に適合するから	3名	1.1%	21名	7.6%	37名	13.5%
12 既存学部で自校の卒業生がいるから	1名	0.4%	3名	1.1%	7名	2.6%
13 福知山公立大学の評判が良いから	1名	0.4%	0名	0.0%	2名	0.7%
14 その他	0名	0.0%	0名	0.0%	1名	0.4%
全体	278名	100.0%	276名	100.0%	274名	100.0%

問7 問6において「1 すすめたい」もしくは「2 すずめることを考える」と記入していただいた方は、①～③について回答をお願い致します。

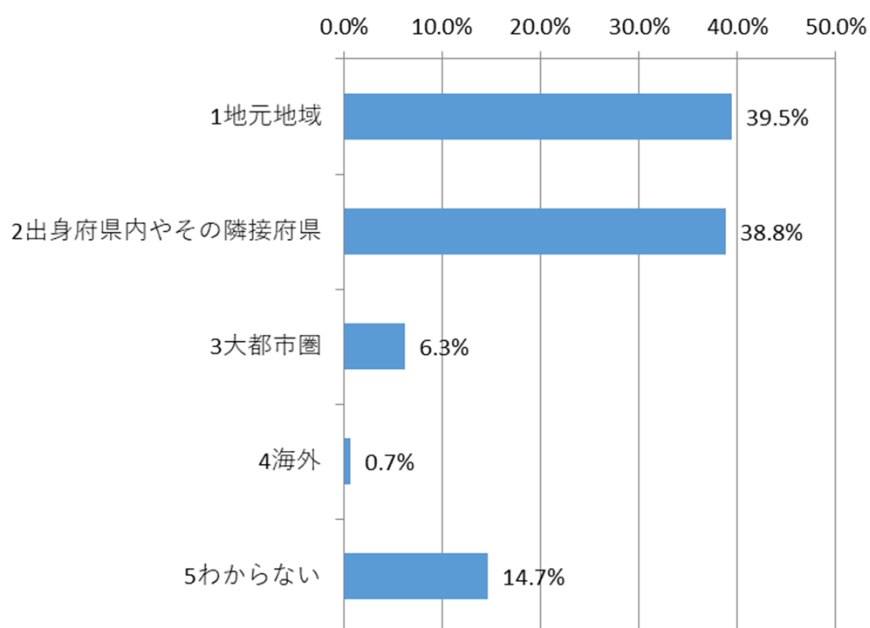
■②福知山公立大学情報学部の卒業生がどのような進路を選択すると期待しますか。次の中から1つだけ選んでください。



事項	回答者数	割合
1 IT企業就職 (インターネット企業等)	107名	36.4%
2 製造業 (電機メーカー等)	14名	4.8%
3 金融業就職 (銀行等)	5名	1.7%
4 流通業就職 (商社等)	14名	4.8%
5 サービス業就職 (広告会社等)	11名	3.7%
6 医療機関就職	8名	2.7%
7 官公庁就職 (市役所等)	85名	28.9%
8 大学院進学	4名	1.4%
9 その他	5名	1.7%
10 わからない	41名	13.9%
全体	294名	100.0%

問7 問6において「1 すすめたい」もしくは「2 すずめることを考える」と記入していただいた方は、①～③について回答をお願い致します。

■③ ②について、どの地域での就業や就学を期待しますか。次の中から1つだけ選んでください。



事項	回答者数	割合
1地元地域	113名	39.5%
2出身府県内やその隣接府県	111名	38.8%
3大都市圏	18名	6.3%
4海外	2名	0.7%
5わからない	42名	14.7%
全体	286名	100.0%

北近畿地域15歳～19歳の人口

平成30年1月1日（単位：人）

市区町村名	都道府県名	15歳～19歳
福知山市	京都府	3,932
舞鶴市	京都府	4,561
綾部市	京都府	1,634
宮津市	京都府	773
京丹後市	京都府	2,928
与謝郡伊根町	京都府	75
与謝郡与謝野町	京都府	1,172
京都府北部の15歳～19歳の人口		15,075
豊岡市	兵庫県	4,203
篠山市	兵庫県	1,936
丹波市	兵庫県	3,383
養父市	兵庫県	1,155
朝来市	兵庫県	1,528
美方郡香美町	兵庫県	902
美方郡香美町	兵庫県	479
美方郡香美町	兵庫県	423
美方郡新温泉町	兵庫県	655
兵庫県北部の15歳～19歳の人口		14,664
北近畿地域の15歳～19歳の人口		29,739
本学情報学部情報学科の初年度入学者対象学年の推測人数*		5,948

*北近畿地域の15歳～19歳の人口を5で割った人数（内訳、京都府北部3,015人、兵庫県北部2,933人）

※北近畿地域とは、本学の地元でもある京都府北部（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）と兵庫県北部地域（豊岡市、篠山市、丹波市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町）の総称である。

（総務省ホームページより）

京都府高等学校卒業者の進路状況

平成30年3月 (単位：人、%)

区 分	卒業者総数			大学等 進 学 者		大学等進学率		
	計	男子	女子	男子	女子	計	男子	女子
京都府全体	23,074	11,416	11,658	7,154	8,047	65.9%	62.7%	69.0%
福 知 山 市	1,198	686	512	314	252	47.2%	45.8%	49.2%
舞 鶴 市	544	250	294	140	175	57.9%	56.0%	59.5%
綾 部 市	302	131	171	59	77	45.0%	45.0%	45.0%
宮 津 市	359	202	157	105	103	57.9%	52.0%	65.6%
京 丹 後 市	492	250	242	132	134	54.1%	52.8%	55.4%
与 謝 郡	伊 根 町	4	3	1	-	-	-	-
	与 謝 野 町	119	62	57	18	20	31.9%	29.0%
京都府北部	3,018	1,584	1,434	768	761	50.7%	48.5%	53.1%

大学等進学者とは、大学・短期大学(通信教育部を含む)及び高等学校専攻科等への進学者(就職進学者を含む)をいう。

(平成30年度学校基本調査より)

兵庫県高等学校(全日制・定時制)の地域別・状況別卒業生数(平成30年3月)

	卒業生数			大学等進学者 (A)				大学等 進学率 (%)
	計	男	女	男	女			
				大学学部	大学学部	大学学部		
兵庫県全体	46,333	22,915	23,418	12,951	12,713	15,135	13,243	56.0%
但馬地域	1,539	791	748	370	358	454	339	45.3%
丹波地域	796	379	417	172	164	196	156	40.2%
兵庫県北部地域	2,335	1,170	1,165	542	522	650	495	43.6%

- 1 「大学等進学者」とは、大学の学部・通信教育部・別科、短期大学の本科・通信教育部・別科、高等学校の専攻科又は特別支援学校高等部の専攻科へ進学した者である。なお、進学しかつ就職した者を含む。
- 2 但馬地域は、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町である。
丹波地域は、篠山市、丹波市である。

(平成30年度学校基本調査より)

情報系学部の入学志願動向

資料 7

他の国公立大学（情報系統）の過去3年間の前期日程入試実施状況

大学名	学部	2016				2017				2018			
		募集人員	志願者	合格者	倍率	募集人員	志願者	合格者	倍率	募集人員	志願者	合格者	倍率
筑波	情報	60	151	67	2.3	60	209	68	3.1	50	165	57	2.9
群馬	社会情報	56	170	66	2.6	56	182	69	2.6	56	199	67	3
静岡	情報	155	365	162	2.3	145	636	164	3.9	140	387	151	2.6
名古屋	情報	-	-	-	-	113	359	124	2.9	113	390	120	3.3
滋賀	データサイエンス	-	-	-	-	60	203	91	2.2	50	156	75	2.1
広島	情報科学	-	-	-	-	-	-	-	-	72	224	77	2.9
横浜市立	データサイエンス	-	-	-	-	-	-	-	-	40	295	48	6.1
愛知県立	情報科学	54	213	54	3.9	54	196	54	3.6	54	193	54	3.6
大阪府立	現代システム科学	30	168	33	5.1	30	144	33	4.4	30	130	33	3.9
高知工科	情報	50	250	51	4.9	50	156	53	2.9	50	265	55	4.8
長崎県立	情報システム	40	155	52	3	40	124	50	2.5	40	153	43	3.6
平均					3.44				3.12				3.53

関西地区の私立大学（情報系統）の過去3年間の入試実施状況

大学名	学部	2016			2017			2018		
		志願者	合格者	倍率	志願者	合格者	倍率	志願者	合格者	倍率
同志社	文化情報	1,684	628	2.7	1,798	603	3	2,246	469	4.8
大阪学院	情報	127	87	1.5	169	82	2.1	233	128	1.8
大阪電気通信	総合情報	253	113	2.2	273	130	2.1	357	53	6.7
関西	総合情報	5,563	873	6.4	5,273	772	6.8	5,334	688	7.8
計		7,627			7,513			8,170		

世界中でAI人材の争奪戦。
 一方、我が国企業は、AIを理解し、戦略的に活用するための人材が決定的に不足。

《世界》

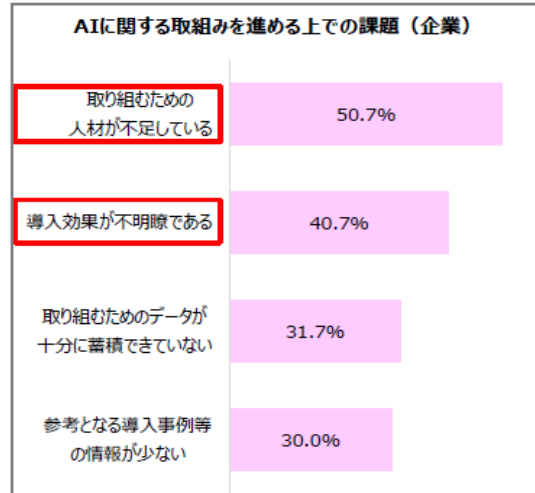
○Fordはシリコンバレーに新たに開発拠点を設置し、260名の人材を確保・採用
 ((独) 情報処理推進機構「AI白書」p.215)

○Uberは、カーネギーメロン大学から40人の研究者や科学者を引き抜き、自動走行を研究する部門を立ち上げ。
 (The Wall Street Journal 2015 年6月1日)

○米国の求人情報全体に占めるAI・機械学習の割合が2017年1月には2014年1月の2倍近くに達している。
 (Machine Learning Job trends, "Indeed Website")

(出典) AI白書2017 (独立行政法人情報処理推進機構) より作成

《日本》



6. 大学等におけるAI分野等の人材育成の質・量が十分ではない。

(1) AIやデータサイエンスを体系的に学べる大学が少ない

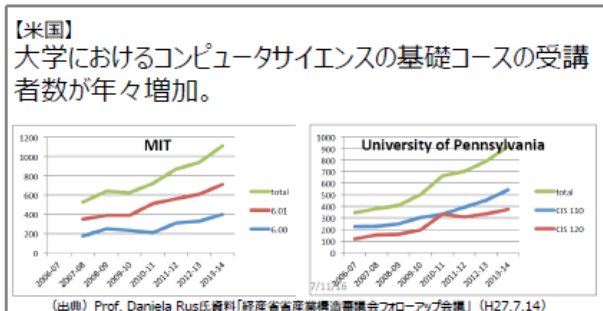
(例) データサイエンスに係る学位・学部のある大学

【米国】
 カーネギーメロン大学 (Department of Statistics and Data Science)
 マサチューセッツ工科大学 (MIT's Minor in Statistics and Data Science)
 * どの学部からもマイナーとしてDS教育が可能
 スタンフォード大学 (Mathematical and Computational Science)
 * Mathematical and Computational Science. のマイナーとしてDS教育が可能
 カリフォルニア大学バークレー校 (Division of Data Sciences)
 ハーバード大学 (Department of Statistics)
 イェール大学 (Department of Statistics and Data Science) など多数

VS

【日本】* DSに特化した学部
 滋賀大学 (データサイエンス学部)
 横浜国立大学 (データサイエンス学部)

(2) 外国では、文理を問わずにデータサイエンスを学んでいる



VS

【日本】
 数学や統計科目を一般教養等で行う大学もあるが、
 ・多くの場合は自由選択
 ・理系しか選択できない場合もある
 ・実践的に教えられる教員も少ない
 という状況。
 (出典) 数理及びデータサイエンス教育の強化に関する懇談会「大学の数理・データサイエンス教育強化方策について」(平成28年12月) より作成

IT人材の“量”と“質”の経年変化

資料 9

III. 調査結果のポイント

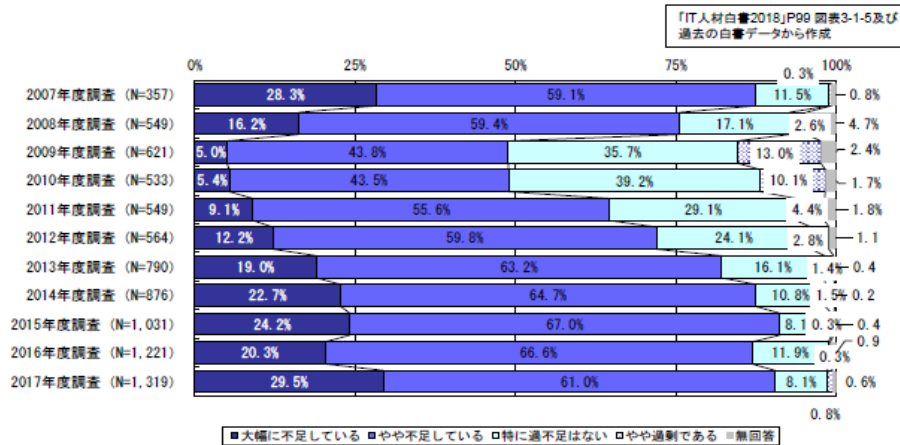
IPA

IT人材の“量”に対する過不足感【過去11年の変化】

IT企業

- IT企業におけるIT人材の“量”に対する過不足感について11年間の変化を示したものである。
- IT企業では、2015年度まで高まり続けていたIT人材の“量”に対する不足感の高まりが2016年度やや緩和したが、2017年度では過去11年で一番「大幅に不足している」割合が高い。

IT企業のIT人材の“量”に対する過不足感【過去11年の変化】



III. 調査結果のポイント

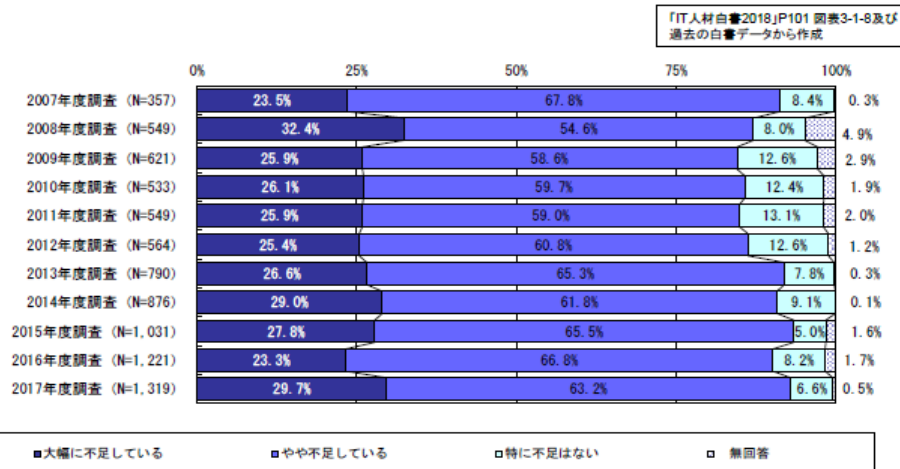
IPA

IT人材の“質”に対する不足感【過去11年の変化】

IT企業

- IT企業におけるIT人材の“質”に対する不足感について11年間の変化を示したものである。
- IT企業では、「大幅に不足している」が2008年度で3割強が最も高い割合であった。IT人材の“質”に対する不足感は2016年度やや緩和したが、2017年度ではやや高まった。

IT企業のIT人材の“質”に対する不足感【過去11年の変化】



IT人材の“量”と“質”の経年変化（「IT人材白書2018」概要より）

福知山公立大学新学部設置構想に関するアンケート調査
(事業所)

報 告 書

平成 29 年 12 月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

<アンケート調査概要>

1. アンケート調査の目的

福知山公立大学では、現代社会のニーズに即した学部を設置を目指しており、「情報科学部」(仮称)卒業者の採用意向など人材需要の見通しについて、事業所等にアンケート調査を実施した。

2. 実施アンケート

「福知山公立大学新学部設置構想に関するアンケート調査」

3. 調査対象

5 都道府県 595 事業所を選定。

4. 調査実施

平成 29 年 11 月～12 月に調査を実施

5. 調査方法

アンケート調査票の配布、回収、集計につき、一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

6. 回収状況

有効回答票 205 票 回収率 34.5% (有効回答票 205 票 ÷ 依頼票数 595 票 × 100)

<アンケート調査票>

福知山公立大学新学部設置構想に関するアンケート調査票

福知山公立大学は、豊かな教養と幅広い人間性を身につけ地域と世界で活躍する人材を育成することを目的として、平成 28 年度に地域経営学部を有する大学として開学しました。

このアンケート調査は、貴事業所の人材採用意向、構想中の新学部へのご意見等についてお聞きし、設置計画の基礎資料とするものです。お手数をおかけしますがご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの回答はコンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せることはありません。率直なご意見をおたずねします。

回答は設問の順に該当する番号等を回答欄に直接記入してください。

【構想中の学部・学科】

◆学部・学科名： 情報科学部（仮称）

◆設置目的： 情報技術・通信等の基本的な知識並びに実践的な情報処理技術を身につけるとともに、情報社会の課題を自ら発見し解決する能力を持つ人材を育成する。

◆設置時期： 平成 33 年度開学予定

◆場所： 京都府福知山市字堀 3370

※上記の名称、内容は予定であり変更する場合があります。

問 1 貴事業所の業種は何ですか。次の中から該当する番号を **1 つだけ** 選んでください。

【回答欄】

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 農業、林業 | 11 不動産業、物品賃貸業 |
| 2 漁業 | 12 学術研究、専門・技術サービス業 |
| 3 鉱業、採石業、砂利採取業 | 13 宿泊業、飲食サービス業 |
| 4 建設業 | 14 生活関連サービス業、娯楽業 |
| 5 製造業 | 15 教育、学習支援業 |
| 6 電気・ガス・熱供給・水道業 | 16 医療、福祉 |
| 7 情報通信業 | 17 複合サービス業 |
| 8 運輸業、郵便業 | 18 サービス業（他に分類されないもの） |
| 9 卸売業・小売業 | 19 公務（他に分類されるものを除く） |
| 10 金融業・保険業 | 20 その他（具体的に） |

問 2 今後採用したい職種は何ですか。次の中から該当する番号を **1 つだけ** 選んでください。

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 管理的職業 | 7 農林漁業の職業 |
| 2 専門的・技術的職業 | 8 生産工程の職業 |
| 3 事務的職業 | 9 輸送・機械運転の職業 |
| 4 販売の職業 | 10 建設・採掘の職業 |
| 5 サービスの職業 | 11 運搬・清掃・包装等の職業 |
| 6 保安の職業 | 12 その他（具体的に） |

問 3 貴事業所の所在地についてお聞きします。次の中から該当する番号を **1 つだけ** 選んでください。

- | | |
|-------|----------|
| 1 京都府 | 3 その他（ ） |
| 2 兵庫県 | |

問 4 貴事業所の現在の職員数についてお聞きします。

①正規職員数、②非正規職員数（臨時採用、嘱託、派遣、アルバイト等）についてご記入ください。

① 正規職員数 人 ② 非正規職員数 人

（裏面に続く）

問5 貴事業所における過去3年間（平成27～29年度）の**正規職員の新卒採用者数**についてご記入ください。

① 平成27年度 人 ②平成28年度 人 ③平成29年度 人

問6 貴事業所または貴事業所の関連業界において、特に必要とされているのは、どのような能力を持った人材だと思いますか。該当する番号を**3つまで**選んでください。

- 1 コンピュータに関する基本的な技術・専門知識をもっている
- 2 コンピュータに関する技術開発等に必要の高度な知識をもっている
- 3 必要な資格を有している（自動車免許を除く）
- 4 主体性がある
- 5 協働性がある
- 6 その他（ ）

問7 貴事業所または貴事業所の関連業界において、必要とされるコンピュータに関する知識の分野を次の中から**2つまで**選んでください。

- 1 情報通信（ICT・IoT等）
- 2 情報システム・ソフトウェア開発（SE）
- 3 データ分析・解析
- 4 人工知能（AI）
- 5 情報セキュリティ
- 6 ウェブデザイン
（ウェブサイトの作成・設計）
- 7 情報処理全般

※ICTとは、「Information and Communication Technology」の略称で、「情報伝達技術」と訳されます。ITとはほぼ同義ですが、ICTでは情報・知識の共有に焦点を当てています。

※IoTとは「Internet of Things」の略称で、「モノのインターネット」と訳されます。IoTは、PCやスマートフォンなどの従来型の通信機器を除いた、ありとあらゆる「モノ」がインターネットとつながる仕組みや技術のことを指します。

問8 構想中の学部では、コンピュータの知識を身に付けた技術者の輩出を目指しています。従来の機械技術に加え、こうした知識を学んだ人材の必要性を感じますか。該当する番号を**1つだけ**選んでください。

- 1 必要性を感じる
- 2 少し必要性を感じる
- 3 どちらとも言えない
- 4 必要性を感じない
- 5 わからない
- 6 その他（ ）

問9 貴事業所では、福知山公立大学「情報科学部（仮称）」の卒業生の採用について、どのようにお考えですか。該当する番号を**1つだけ**選んでください。

- 1 採用したい
- 2 採用を検討する
- 3 採用は考えない
- 4 わからない

問11へお進みください

問10 問9で、「採用したい」「採用を検討する」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、毎年何人程度の採用を想定されますか。該当する番号を**1つだけ**選んでください。

- 1 1人
- 2 2人
- 3 3人
- 4 4人
- 5 5～6人
- 6 7～9人
- 7 10人以上
- 8 その他（ ）

問11 構想中の福知山公立大学「情報科学部（仮称）」について、ご意見等がありましたら、ぜひお聞かせください。

*** これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 ***

<アンケート集計結果>

■ 回収状況 送付 595 票

日付	回収数	累計数	回収率
11.20	11 票	11 票	1.8%
11.21	54 票	65 票	10.9%
11.22	7 票	72 票	12.1%
11.24	36 票	108 票	18.2%
11.27	38 票	146 票	24.5%
11.28	12 票	158 票	26.6%
11.30	6 票	164 票	27.6%
12.01	11 票	175 票	29.4%
12.04	7 票	182 票	30.6%
12.05	7 票	189 票	31.8%
12.06	1 票	190 票	31.9%
12.08	4 票	194 票	32.6%
12.11	3 票	197 票	33.1%
12.12	2 票	199 票	33.4%
12.14	2 票	201 票	33.8%
12.18	1 票	202 票	33.9%
12.19	2 票	204 票	34.3%
12.26	1 票	205 票	34.5%

[有効回答票：205 票]

問1 貴事業所の業種は何ですか。次の中から該当する番号を1つだけ選んでください。

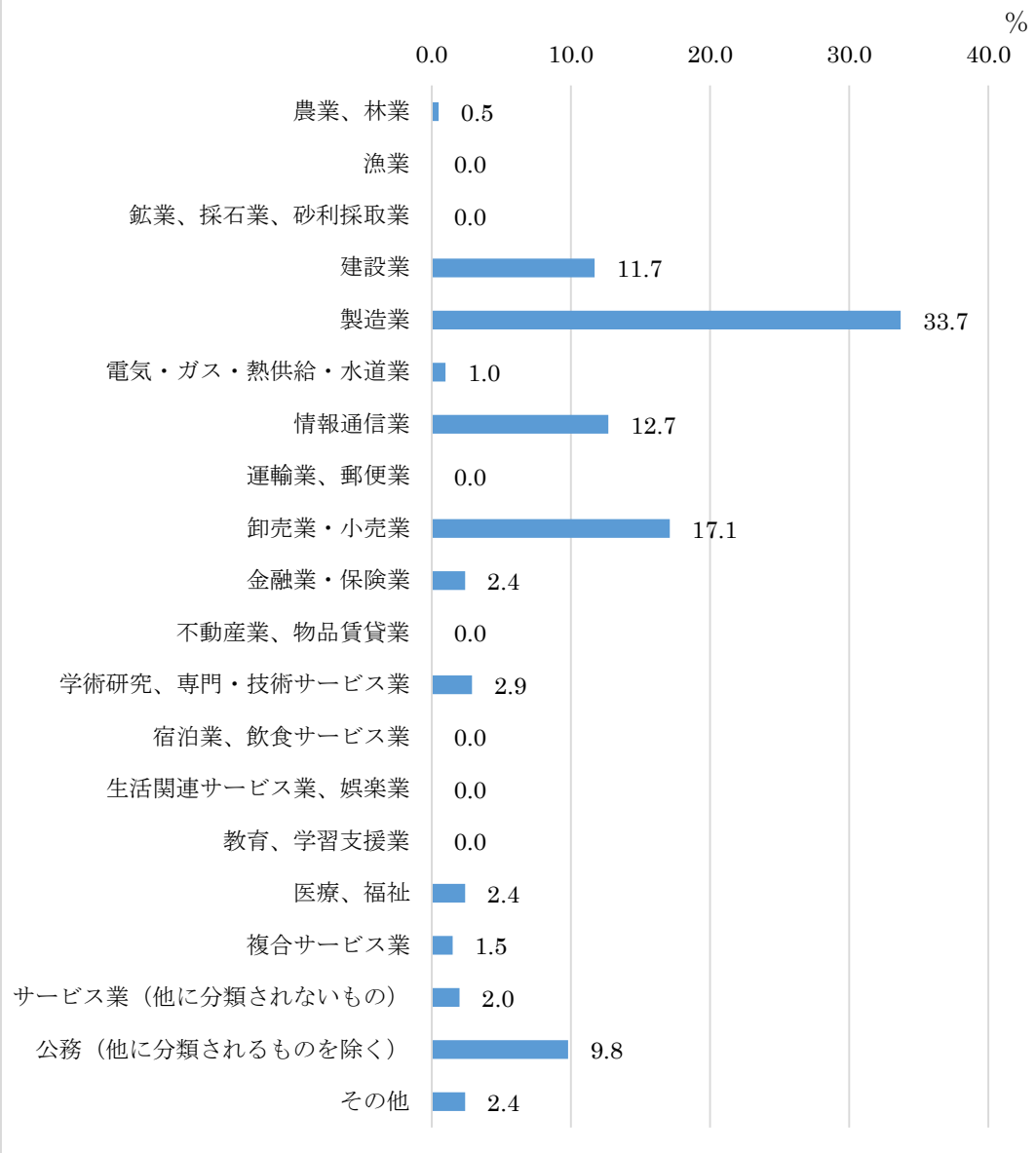
「製造業」が69件(33.7%)と最も多く、次いで「卸売業・小売業」35件(17.1%)、「情報通信業」26件(12.7%)、「建設業」24件(11.7%)、「公務（他に分類されるものを除く）」20件(9.8%)の順に続いている。

問1 業種

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農業、林業	1	0.5
2	漁業	0	0.0
3	鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0
4	建設業	24	11.7
5	製造業	69	33.7
6	電気・ガス・熱供給・水道業	2	1.0
7	情報通信業	26	12.7
8	運輸業、郵便業	0	0.0
9	卸売業・小売業	35	17.1
10	金融業・保険業	5	2.4
11	不動産業、物品賃貸業	0	0.0
12	学術研究、専門・技術サービス業	6	2.9
13	宿泊業、飲食サービス業	0	0.0
14	生活関連サービス業、娯楽業	0	0.0
15	教育、学習支援業	0	0.0
16	医療、福祉	5	2.4
17	複合サービス業	3	1.5
18	サービス業（他に分類されないもの）	4	2.0
19	公務（他に分類されるものを除く）	20	9.8
20	その他	5	2.4
	無回答	0	0.0
	N（%ベース）	205	100

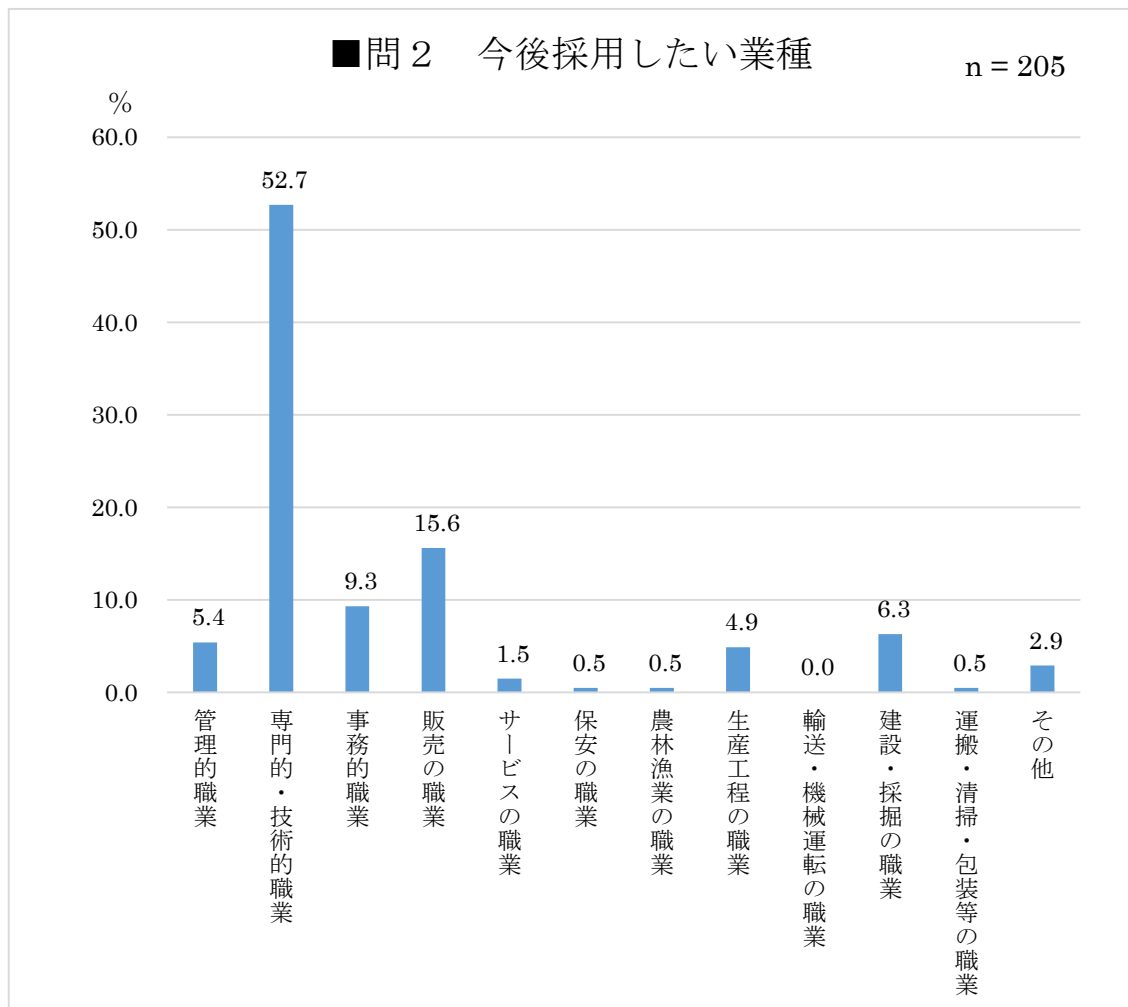
■問1 業種

n = 205



問2 今後採用したい職種は何ですか。次の中から該当する番号を1つだけ選んでください。

「専門的・技術的職業」108件(52.7%)が最も多く、次いで「販売の職業」32件(15.6%)、「事務的職業」19件(9.3%)、「建設・採掘の職業」13件(6.3%)、「管理的職業」11件(5.4%)の順が続いている。

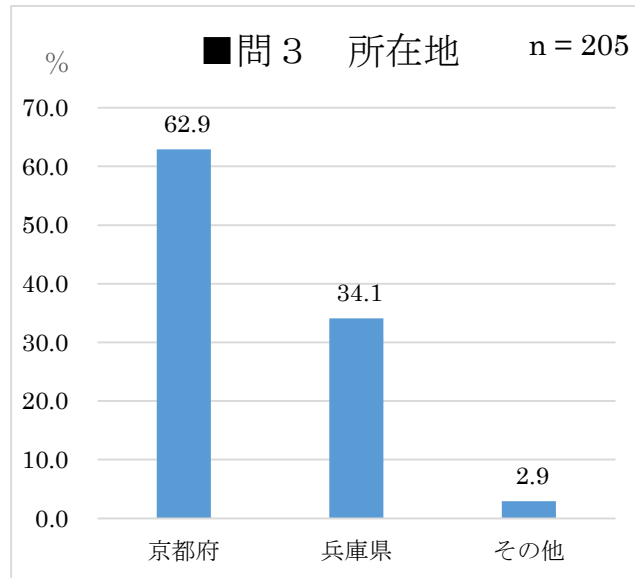


問2 今後採用したい業種

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	管理的職業	11	5.4
2	専門的・技術的職業	108	52.7
3	事務的職業	19	9.3
4	販売の職業	32	15.6
5	サービスの職業	3	1.5
6	保安の職業	1	0.5
7	農林漁業の職業	1	0.5
8	生産工程の職業	10	4.9
9	輸送・機械運転の職業	0	0.0
10	建設・採掘の職業	13	6.3
11	運搬・清掃・包装等の職業	1	0.5
12	その他	6	2.9
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	205	100

問3 貴事業所の所在地についてお聞きします。次の中から該当する番号を1つだけ選んでください。

「京都府」129件(62.9%)、「兵庫県」70件(34.1%)、「その他」6件(2.9%)となっている。

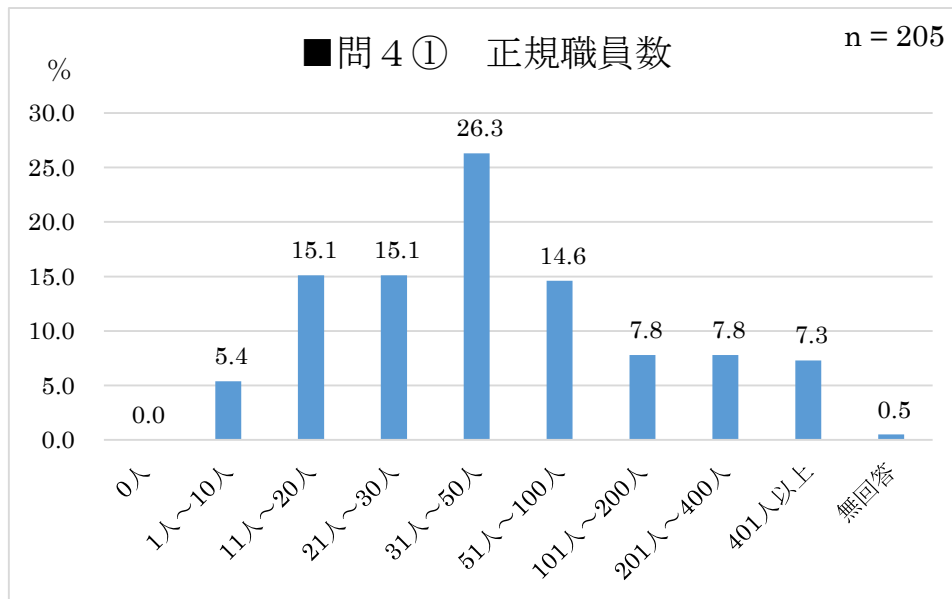


問3 事業所の所在地

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	京都府	129	62.9
2	兵庫県	70	34.1
3	その他	6	2.9
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	205	100

問4 貴事業所の現在の職員数についてお聞きします。①正規職員数についてご記入ください。

「31人～50人」54件(26.3%)が最も多く、次いで「21人～30人」31件(15.1%)、「11人～20人」31件(15.1%)、「51人～100人」30件(14.6%)の順に続いている。

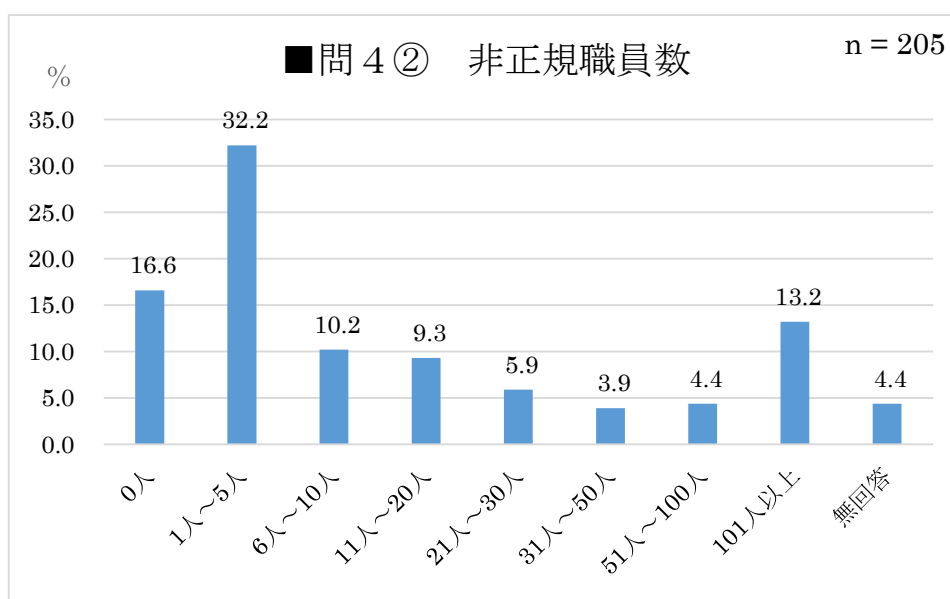


問4① 事業所の正規職員数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0人	0	0.0
2	1人～10人	11	5.4
3	11人～20人	31	15.1
4	21人～30人	31	15.1
5	31人～50人	54	26.3
6	51人～100人	30	14.6
7	101人～200人	16	7.8
8	201人～400人	16	7.8
9	401人以上	15	7.3
	無回答	1	0.5
	N (%ベース)	205	100

問 4 貴事業所の現在の職員数についてお聞きします。②非正規職員数
(臨時採用、嘱託、派遣、アルバイト等)についてご記入ください。

「1人～5人」66件(32.2%)が最も多く、次いで「0人」34件(16.6%)、「101人以上」27件(13.2%)、「6人～10人」21件(10.2%)、「11人～20人」19件(9.3%)となっている。



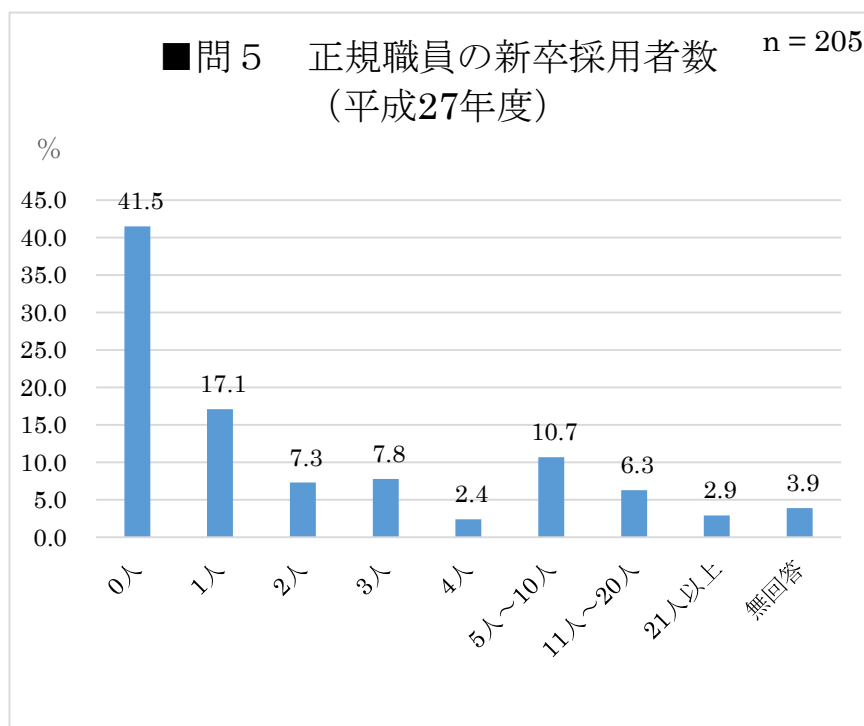
問 4 ② 事業所の非正規職員数

No.	カテゴリー	件数	(全体)%
1	0人	34	16.6
2	1人～5人	66	32.2
3	6人～10人	21	10.2
4	11人～20人	19	9.3
5	21人～30人	12	5.9
6	31人～50人	8	3.9
7	51人～100人	9	4.4
8	101人以上	27	13.2
	無回答	9	4.4
	N (%ベース)	205	100

問5 貴事業所における過去3年間（平成27～29年度）の正規職員の新卒採用者数についてご記入ください。

<正規職員の新卒採用者数（平成27年度）>

選択数の多いものから順に「0人」85件(41.5%)、「1人」35件(17.1%)、「5人～10人」22件(10.7%)、「3人」16件(7.8%)、「2人」15件(7.3%)となっている。

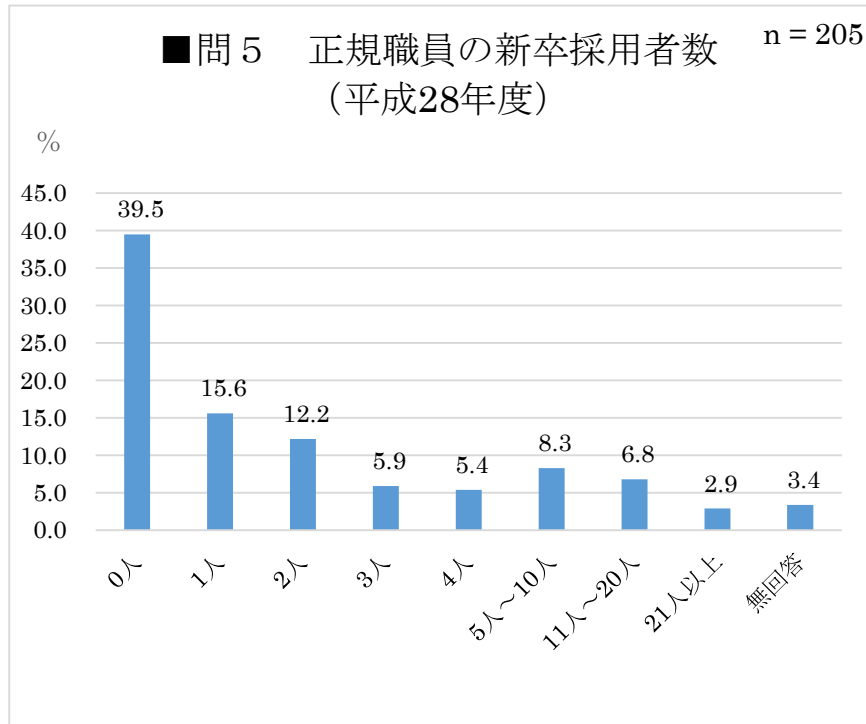


問5 正規職員の新卒採用者数（平成27年度）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0人	85	41.5
2	1人	35	17.1
3	2人	15	7.3
4	3人	16	7.8
5	4人	5	2.4
6	5人～10人	22	10.7
7	11人～20人	13	6.3
8	21人以上	6	2.9
	無回答	8	3.9
	N (%ベース)	205	100

<正規職員の新卒採用者数（平成 28 年度）>

選択数の多いものから順に「0人」81件(39.5%)、「1人」32件(15.6%)、「2人」25件(12.2%)、「5人～10人」17件(8.3%)となっている。



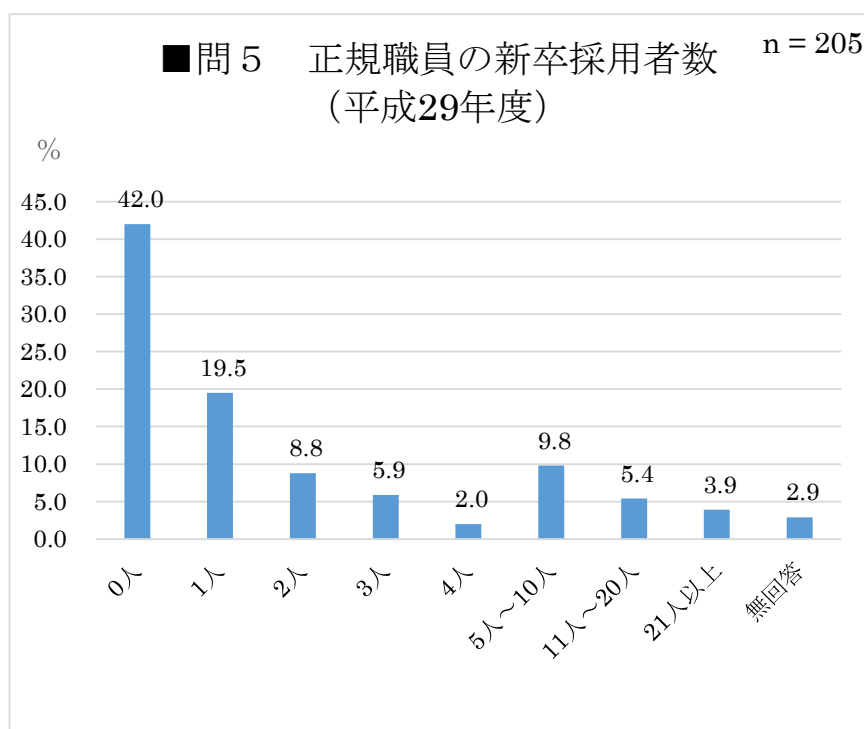
問5 正規職員の新卒採用者数（平成 28 年度）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0人	81	39.5
2	1人	32	15.6
3	2人	25	12.2
4	3人	12	5.9
5	4人	11	5.4
6	5人～10人	17	8.3
7	11人～20人	14	6.8
8	21人以上	6	2.9
	無回答	7	3.4
	N (%ベース)	205	100

<正規職員の新卒採用者数（平成 29 年度）>

選択数の多いものから順に「0 人」86 件(42.0%)、「1 人」40 件(19.5%)、「5 人～10 人」20 件(9.8%)、「2 人」18 件(8.8%)となっている。

平成 27～29 年にかけて採用数 0 人の事業所が多いものの、毎年、回答事業所の 5～6 割程度が新卒者を採用している。



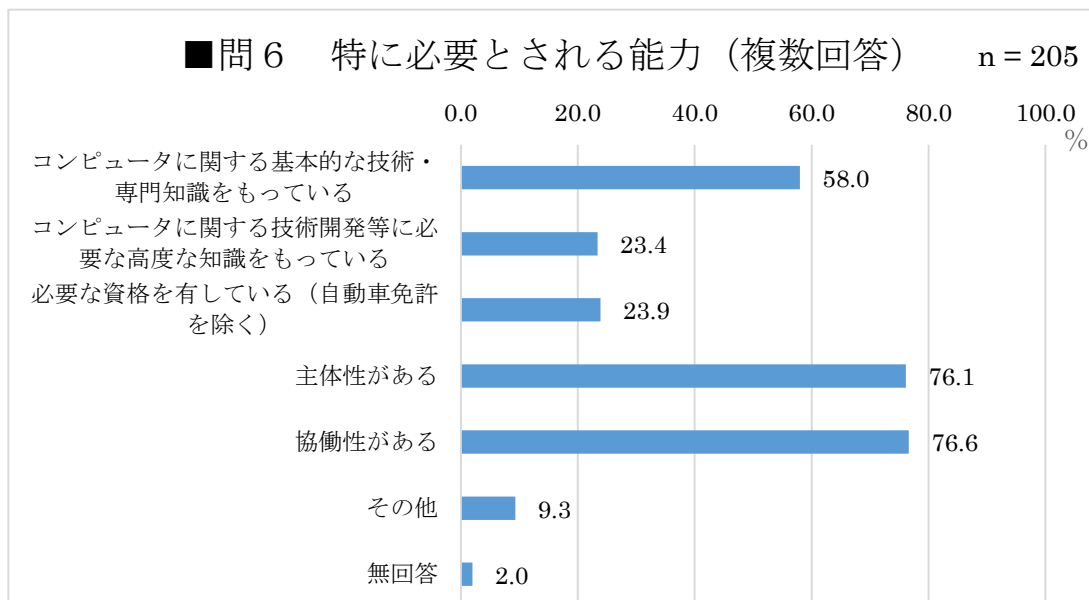
問 5 正規職員の新卒採用者数（平成 29 年度）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0 人	86	42.0
2	1 人	40	19.5
3	2 人	18	8.8
4	3 人	12	5.9
5	4 人	4	2.0
6	5 人～10 人	20	9.8
7	11 人～20 人	11	5.4
8	21 人以上	8	3.9
	無回答	6	2.9
	N (%ベース)	205	100

問6 貴事業所または貴事業所の関連業界において、特に必要とされているのは、どのような能力を持った人材だと思われますか。該当する番号を3つまで選んでください。(複数回答)

「協働性がある」157件(76.6%)が最も多く、次いで「主体性がある」156件(76.1%)、「コンピュータに関する基本的な技術・専門知識をもっている」119件(58.0%)、「必要な資格を有している(自動車免許を除く)」49件(23.9%)、「コンピュータに関する技術開発等に必要の高度な知識をもっている」48件(23.4%)となっている。

コンピュータに関する高度な知識よりも協働性等の一般的能力及びコンピュータに関する基本的な技術・知識を求める傾向が強いと言える。

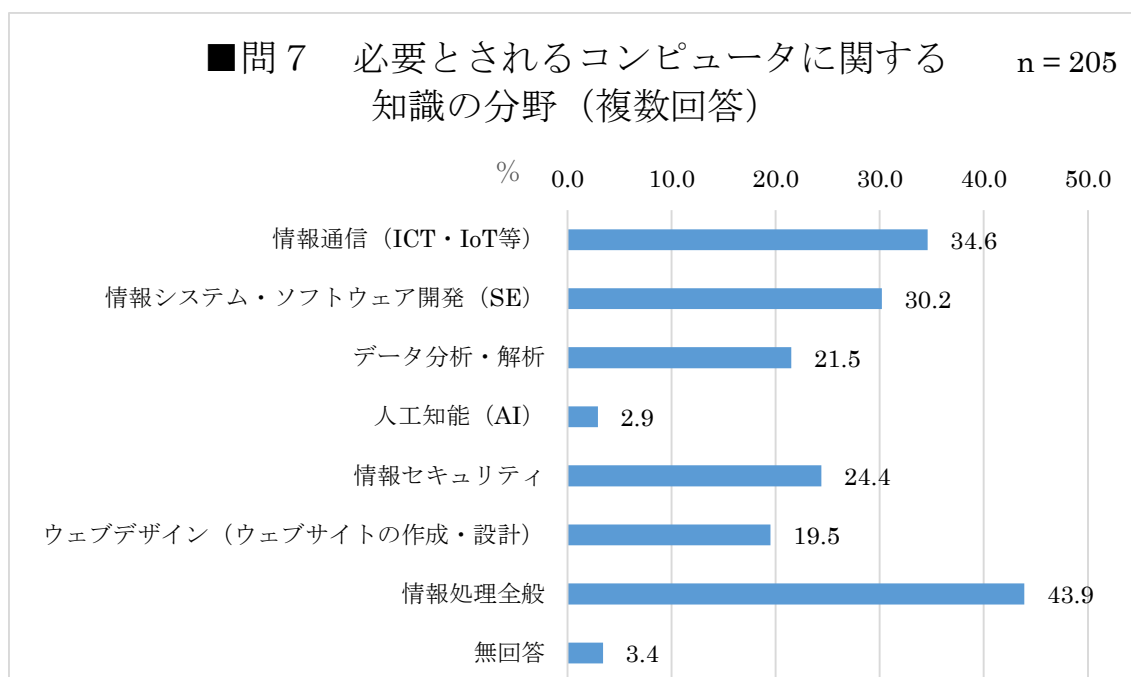


問6 特に必要とされる能力 (複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	コンピュータに関する基本的な技術・専門知識をもっている	119	58.0
2	コンピュータに関する技術開発等に必要の高度な知識をもっている	48	23.4
3	必要な資格を有している(自動車免許を除く)	49	23.9
4	主体性がある	156	76.1
5	協働性がある	157	76.6
6	その他	19	9.3
	無回答	4	2.0
	N (%ベース)	205	100

問7 貴事業所または貴事業所の関連業界において、必要とされるコンピュータに関する知識の分野を次の中から2つまで選んでください。(複数回答)

「情報処理全般」90件(43.9%)が最も多く、次いで「情報通信 (ICT・IoT等)」71件(34.6%)、「情報システム・ソフトウェア開発 (SE)」62件(30.2%)、「情報セキュリティ」50件(24.4%)、「データ分析・解析」44件(21.5%)、「ウェブデザイン (ウェブサイトの作成・設計)」40件(19.5%)となっている。

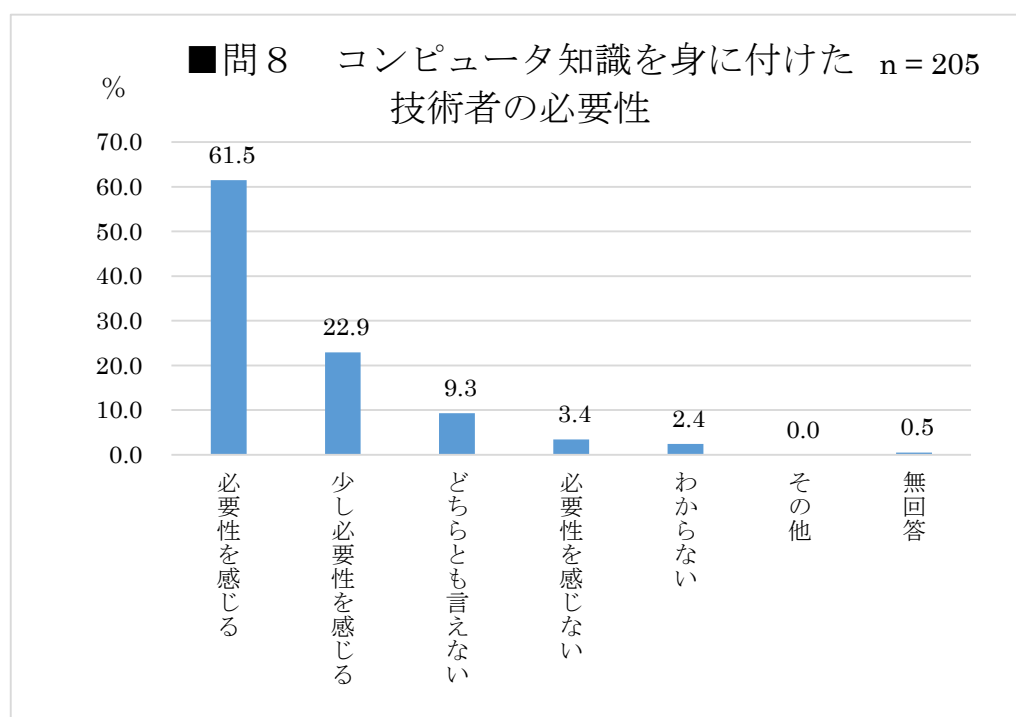


問7 必要とされるコンピュータに関する知識の分野 (複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	情報通信 (ICT・IoT等)	71	34.6
2	情報システム・ソフトウェア開発 (SE)	62	30.2
3	データ分析・解析	44	21.5
4	人工知能 (AI)	6	2.9
5	情報セキュリティ	50	24.4
6	ウェブデザイン (ウェブサイトの作成・設計)	40	19.5
7	情報処理全般	90	43.9
	無回答	7	3.4
	N (%ベース)	205	100

問8 構想中の学部では、コンピュータの知識を身に付けた技術者の輩出を目指しています。従来の機械技術に加え、こうした知識を学んだ人材の必要性を感じますか。該当する番号を1つだけ選んでください。

「必要性を感じる」126件(61.5%)、「少し必要性を感じる」47件(22.9%)、「どちらとも言えない」19件(9.3%)、「必要性を感じない」7件(3.4%)、「わからない」5件(2.4%)となっている。回答者の8割以上がコンピュータの知識を身に付けた技術者の必要性を感じているといえる。

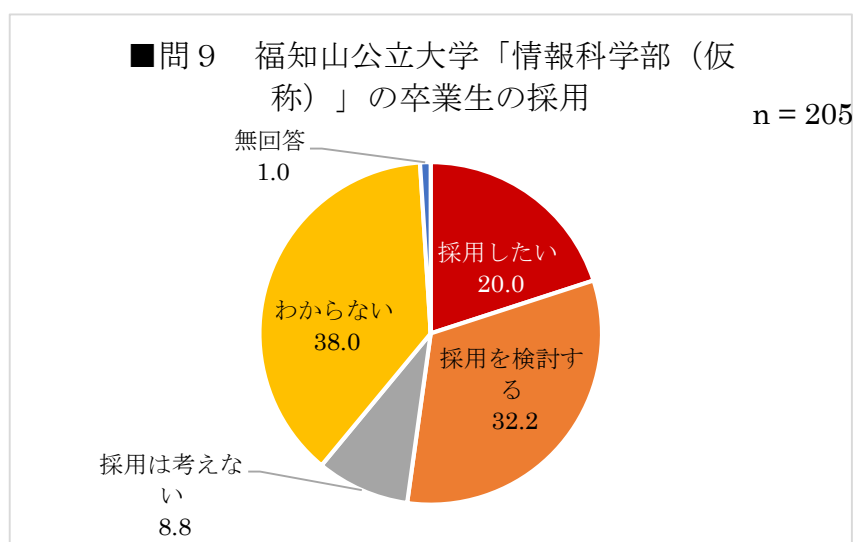


■ 問8 コンピュータの知識を身につけた技術者の必要性

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	必要性を感じる	126	61.5
2	少し必要性を感じる	47	22.9
3	どちらとも言えない	19	9.3
4	必要性を感じない	7	3.4
5	わからない	5	2.4
6	その他	0	0.0
	無回答	1	0.5
	N (%ベース)	205	100

問9 貴事業所では、福知山公立大学「情報科学部（仮称）」の卒業生の採用について、どのようにお考えですか。該当する番号を1つだけ選んでください。

- ・「採用したい」41件(20.0%)、「採用を検討する」66件(32.2%)、「採用は考えない」18件(8.8%)、「わからない」78件(38.0%)となっている。
- ・「採用したい」を選択した41事業所のみでは実数において想定する入学定員100名を満たさないものの、「採用を検討する」66事業所を合計すると107事業所（入学定員の1.07倍）が新学部卒業生の採用に前向きな姿勢をとっている。
- ・また、今回の調査結果は福知山市ほか北近畿を中心とした595事業所等に調査票を配布し、そのうち205事業所等からの回答をもとにした結果であるが、回答事業所の52.2%が「採用したい」（20.0%） 「採用を検討する」（32.2%）のいずれかを選択していることを考えると、今回、調査対象とならなかった北近畿及び北近畿以外に所在する事業所からの相当程度の採用意向も見込まれる。

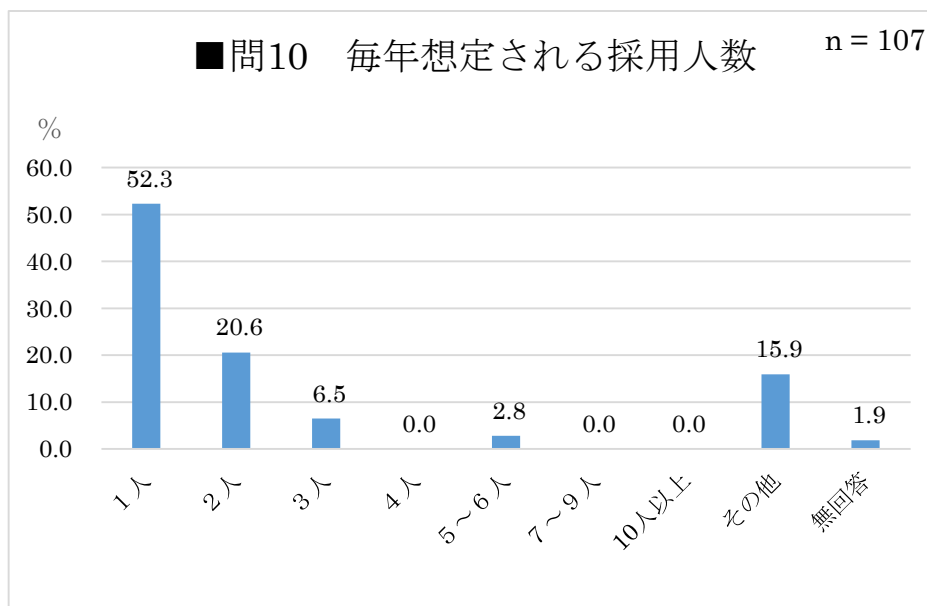


問9 福知山公立大学「情報科学部（仮称）」の卒業生の採用

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	41	20.0
2	採用を検討する	66	32.2
3	採用は考えない	18	8.8
4	わからない	78	38.0
	無回答	2	1.0
	N (%ベース)	205	100

問 10 問9で、「採用したい」「採用を検討する」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、毎年何人程度の採用を想定されますか。該当する番号を1つだけ選んでください。

「1人」56件(52.3%)が最も多く、次いで「2人」22件(20.6%)、「その他」17件(15.9%)、「3人」7件(6.5%)、「5～6人」3件(2.8%)となっている。



問 10 毎年想定される採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	56	52.3
2	2人	22	20.6
3	3人	7	6.5
4	4人	0	0.0
5	5～6人	3	2.8
6	7～9人	0	0.0
7	10人以上	0	0.0
8	その他	17	15.9
	無回答	2	1.9
	N (%ベース)	107	100